

種類	總量目		量目公差		品位	品位公差		直徑
	規定	備考	規定	備考		規定	備考	
一〇〇法金貨	三二・二五八〇六	此點總ア	〇〇・一	變更ナシ	九〇〇	此點總ア	〇〇・二	三五
五〇法金貨	一六・二九〇三	變更ナシ	〇〇・二	少セリ	九〇〇	變更ナシ	〇〇・二	二八
二〇法金貨	六四・五一六一	變更ナシ	〇〇・二	變更ナシ	九〇〇	變更ナシ	〇〇・二	二一
一〇法金貨	三二・二五八〇	變更ナシ	〇〇・二	減少	九〇〇	變更ナシ	〇〇・二	一九
五法金貨	一六・二九〇	變更ナシ	〇〇・三	變更ナシ	九〇〇	變更ナシ	〇〇・二	一七

備考

\* 印五〇法金貨直徑ノ變更ハ前後兩條約ニ對比シテ疑義ナキニ非レトモ暫ク原書ノ示ス所ニ從フ

(ハ) 一八八五年條約第二條即現行條約

種類	總量目		量目公差		品位	品位公差		直徑
	規定	備考	規定	備考		規定	備考	
一〇〇法金貨	三二・二五八〇六	此點一八	〇〇・一	一八七八	九〇〇	此點一八	〇〇・一	三五
五〇法金貨	一六・二九〇三	六五年條約以降變更	〇〇・一	同條	九〇〇	六五年條約以降變更	〇〇・一	二八
二〇法金貨	六四・五一六一	變更ナシ	〇〇・二	同條	九〇〇	變更ナシ	〇〇・一	二一
一〇法金貨	三二・二五八〇	變更ナシ	〇〇・二	同條	九〇〇	變更ナシ	〇〇・一	一九
五法金貨	一六・二九〇	變更ナシ	〇〇・三	同條	九〇〇	變更ナシ	〇〇・一	一七

第二銀貨 一八六五年一八七八年、一八八五年條約各第三條

種類	總量目	量目公差	品位	品位公差	直徑
五法銀貨	二五	三%	九〇〇	二%	三七

- (3) 五法金貨ノ鑄造停止 五法金貨ハ一八七八年條約第九條ヲ以テ初メテ一時鑄造ヲ停止シ一八八五年條約第八條第一項亦之ヲ襲踏ス
- (4) 五法銀貨ノ鑄造制限竝ニ停止 五法本位銀貨ニ關シテハ本同盟ノ中樞ヲ構成スヘキ重要ナル變遷ヲ經タリ

(第二) 鑄造ノ制限

- (1) 一八七三年頃佛蘭西白耳義ハ銀ノ流入夥多ナルニ苦ミ佛蘭西ハ一八七三年九月六日初メテ鑄造高ヲ制限シ日々二十五万法ト定メ其他ノ締盟國ニ於テモ此點ニ就キ專ラ考慮

ヲ廻ラレツ、アリシカ遂ニ翌一八七四年一月三十一日ノ追加條約ニヨリ一時其鑄造ヲ制限シ同一八七四年中ニ於ケル鑄造額ヲ次ノ如ク一二〇、〇〇〇、〇〇〇法ト定メタリ「一ノ一」之レ一八七二年以來ノ銀價低落ニ刺戟セラレシ結果トス

- 佛蘭西 六〇、〇〇〇、〇〇〇法
- 白耳義 一二、〇〇〇、〇〇〇法
- 伊太利 四〇、〇〇〇、〇〇〇法
- 瑞 西 八、〇〇〇、〇〇〇法

（外ニ二千万利ハ發券銀行準備金トシテ鑄造シ之ヲ伊太利銀行ニ預入スヘシ、一八七四年條約第二條但次年ノ宣言第四條ニ依リ同國ハ之ヲ流通セシムルヲ得タリ）

但シ此内ヨリ佛蘭西ハ三四、九六八、〇〇〇法、白耳義ハ五、〇〇〇、〇〇〇法、伊太利ハ九、〇〇〇、〇〇〇法ノ既鑄高ヲ控除スヘシ「一」ノ二

（ロ）次テ一八七五年二月五日ノ宣言ニヨリ前年ノ鑄造制限ノ協約ハ本年モ繼續スヘキモ伊太利ノ請求ニヨリ各國ハ同年ニ於テ制限額以外其四分ノ一ノ増鑄ヲナスヘシ右ニヨリ銀貨鑄造制限總額ハ一五五、〇〇〇、〇〇〇法トナレリ

（ハ）然ルニ一八七六年二月三日ノ宣言ハ依然其制限鑄造額ヲ一八七四年追加條約第一條ノ額タル一二〇、〇〇〇、〇〇〇法ニ止メ且締盟國配分高ヲ次ノ如クセリ「第一、二條」

- 佛蘭西 五四、〇〇〇、〇〇〇法
- 白耳義 一〇、八〇〇、〇〇〇法
- 伊太利 三六、〇〇〇、〇〇〇法

瑞 西 七二、〇〇〇、〇〇〇法

希臘

三、六〇〇、〇〇〇法  
八、四〇〇、〇〇〇法（之ハ流通各種ノ貨幣ヲ回收スル爲メニ使用スルニアリキ）

（第二）五法銀貨鑄造ノ停止

（イ）次テ佛ハ一八七六年八月五日ノ法律ヲ以テ五法銀貨ノ鑄造停止權ヲ命令ニ委任シ其翌日ノ命令ハ自由鑄造ヲ禁シ白耳義亦一八七三年十二月十八日ノ制限的法律ヲ其滿期ニ先テ一八七五年四月二十七日迄延期シ次テ一八七六年十二月二十一日法律ヲ以テ之ヲ停止シ、カクテ佛蘭西ハ一八七七年中二七、〇〇〇、〇〇〇法即制限額ニ對スル半額ノミヲ鑄造シ白耳義ハ其權利ヲ拋棄シ瑞西亦一八七五年ニ於テ之ヲ鑄造セス獨リ伊太利ノミ鑄造ヲ續行セリ

（ロ）一八七八年十一月五日ノ改訂條約第九條ニヨレハ五法銀貨ノ鑄造ハ一時之ヲ停止シ唯締盟國總テノ同意アル場合ニ限り再鑄ヲ開始スルヲ得トセリ亞テ一八七九年宣言第一條ニヨルモ亦同シ但此際伊太利ハ一八七九年中ニ於テ尙二〇、〇〇〇、〇〇〇利ノ鑄造權ヲ保有セリ

（ハ）亞テ一八八五年條約八ノ二、三ニヨルモ五法銀貨ノ鑄造ハ一時之ヲ停止シ締盟國總テノ同意アルトキニ限り再鑄ヲ開始スルモノトセリ但若シ締盟一國ニシテ之ヲ開始セル場合ニハ各他國ハ之ニ其國鑄造五法銀貨ヲ金貨ニテ即時ノ兌換ヲ求メ且爾後再ヒ國庫ニ

テ之ヲ受領セサルヘシ加之瑞西ハカ、ル場合ニハ同盟期間ノ滿了前脱退スルヲ得ルモ  
ノトス條約八ノ四―五

尙瑞西ハ舊五法銀貨ヲ一〇、〇〇〇、〇〇〇法鑄造シ舊貨ノ回收ニ用ユルヲ得一八八五ノ  
八ノ六

(第三)五法銀貨ノ相互清算

(イ) 一八七八年十一月五日ノ改訂條約ノ際締盟各國ハ同盟ノ解散ヲ豫期シ佛蘭西、白耳義殊  
ニ後者ハ伊國ノ不換紙幣經濟ノ實況ヲ目撃シ清算約款ノ議定ヲ提議セシモ伊太利ノ反  
對ニヨリ成立セザリキ

(ロ) 然ルニ佛蘭西、瑞西ニ於テハ他國殊ニ白耳義鑄造五法銀貨ノ流通額ノ大ナルニ苦ミ殊ニ  
瑞西ハ之ヲ憂慮スルコト甚シク遂ニ一八八四年ニ於テ條約改訂ノ提議ヲナセリ仍テ一  
八八五年七月二十日―十一月六日巴里ニ於テ集會シ清算約款ニ付テ協議スル所アリキ  
此際佛國ハ提案シテ曰ク各國ハ自由鑄造ノ銀貨ヲ回收シ其債務額ハ金貨又ハ債權國拂  
爲替手形ニテ決済スヘシトノ說ヲ稱セシカ白國ハ之ニ反シ鑄造國ハ銀貨低落ニ依テ生  
セル損失ヲ負擔スルノ法律上及德義上ノ義務ナシ唯鑄造國ハ其檢印ニヨリ重量及品位  
ヲ保證スルノミナリ云々ト抗議シ八月一日脱盟スルニ到レリ仍テ他ノ四國ハ佛國ノ主  
張ヲ容レテ條約破棄ノ場合ニ於ケル清算手續ハ別約ニヨルコト、レ條約第十四條十一

月六日條約ニ記名調印セリ但白耳義ハ其後同年十二月十二日ノ追加條約ニヨリ又同盟  
ニ加入スルニ到レリ左ニ兩者ノ要領ヲ摘記スヘシ

甲 締盟國ハ條約滿了後一箇年以内ニ各他國鑄造ノ五法銀貨ニシテ自國內ニ流通セルモ  
ノ、交換ヲ行フヘク其引渡場所ハ佛蘭西ハ巴里、里昂、リール及馬耳塞、希臘ハ雅典、伊太  
利ハ羅馬、ジエノア、ミラン、チユリン、瑞西ハベルン、パッスル、ジエチヴア及チュウリッヒ、白耳義ハブラッ  
セル、アンヴェルス(別約第一、二條追加條約第七條)トス

乙 締盟各國ハ本條約滿期ノ翌年十月一日迄ニ他國鑄造銀貨ヲ流通場裡ヨリ回收スヘシ  
爾來銀貨ハ鑄造國以外ノ國庫ニ於テハ受領セラレサルヘシ但シ自己ノ計算ニ於テ(即  
鑄造國ノ計算ニ基カスシテ)之ヲ受領スルハ此限ニ在ラス  
其翌年一月十五日ニ於テ各國ハ差引計算ヲナシタル後回收銀貨勘定ヲ確定シ相互ニ  
之ヲ通告スヘシ其際存在スル差額ハ鑄造國ノ負擔ニシテ國庫ハ之ヲ回收シ同額ノ補  
償ヲ支拂フヘシ(別約第三條)追加條約第四條第二及六項

丙 補償ハ金貨債權國ノ五法銀貨又ハ債權國支拂ノ爲替手形ニシテ同國貨幣又ハ法貨タ  
ル銀行券ニテ誌サレタルモノヲ以テ之ヲ支拂フヘシ

支拂ハ條約滿了後五箇年以内ヲ限り三箇月毎ノ分割拂ヲ以テ之ヲナスコトヲ得尙支  
拂額ニ對シ上記一月十五日以降第二、第三、第四年ニハ一分、第五年ニハ一分半ノ年利ヲ  
支拂フヘシ(別約第四條)

丁、總テノ遞送費ハ各國其國境迄之ヲ負擔ス(別約第五條)  
戊、締盟各國ニ關スル特別規定ハ次ノ如シ

(い) 佛蘭西、瑞西間ニ於テ佛國ハ瑞國ニ對シ、瑞國鑄造五法銀貨及金貨ヲ以テ其債務額ヲ支辨スヘシ、但シ金貨支拂額ハ六〇、〇〇〇、〇〇〇法以下トス(別約第六條ノ(1))

(ろ) 伊太利、瑞西間ニ於テ伊國ハ瑞國ニ對シ、原則トシテ債務額ノ三分ノ二ハ金貨又ハ瑞國ノ五法銀貨ヲ以テ餘ハ爲替手形ニテ支拂フヘシ、但シ伊國ハ金貨又ハ瑞國銀貨支拂額ヲ二〇、〇〇〇、〇〇〇法トシ、且總支拂額ヲ五〇、〇〇〇、〇〇〇法以下ニ止ムルコトヲ得(別約第六條ノ(2))

(は) 白耳義、瑞西間ニ於テ白國ハ瑞國ニ對シ、六〇、〇〇〇、〇〇〇法ハ之ヲ金貨又ハ瑞國銀貨ヲ以テ支拂フヘシ、若シ差額カ前記ノ金額以上ナル場合ニハ之ヲ貿易ニテ決済スヘク、從テ白國ハ次段所載佛國トノ契約ノ如ク自國ノ幣制ヲ變更スルコトナカルヘシ(追加第六條)

(に) 佛蘭西、白耳義間ニ於テ佛國カ債權國トナルヘキ場合ニ差額ハ之ヲ二分シ、其一半ハ丙段記載ト同一ノ方法ニテ之ヲ支拂フヘシ(追加第四條第三項)  
他ノ一半ハ貿易ノ手段ニヨリ之ヲ決済スヘク、從テ白國ハ銀貨ノ歸來ヲ妨クヘキ幣制ノ變更(但シ佛國ニナサレハ此限ニ在ラズ)ヲナサ、ルコトヲ約ス、本契約ハ本條約滿

了後五年間繼續スヘク、唯白國ハ他ノ一半ヲ別約第四條規定ニ從ヒ支拂フノ義務ヲ負擔シテ、此契約ヲ解除スルヲ得(追加第四條第四項)

尙白國ハ對佛國債務額ノ二〇、〇〇〇、〇〇〇法以下ナルヘキヲ保證シ、之ヲ超過スルトキハ別約第四條ニヨリ之ヲ支拂フヘシ(同條第五項)

右契約ハ白國債權國トナル場合亦之ト同シ(同條第六項)

(ほ) 佛蘭西、伊太利兩國間ニ於テモ同上ノ規定ヲ適用スヘク、差額ノ最低額ヲ二〇、〇〇〇、〇〇〇法ト定ム(追加第五條)

(第四)五法銀貨ノ改鑄

一八九七年十月二十九日條約第二條ハ補助銀貨ヲ鑄造スルニ當リ、其一部ハ各自國ノ五法銀貨ヲ其材料トシテ用ユヘシトセリ

四、補助貨幣

(1) 種類其他 此亦佛國貨幣法ノ規定ヲ適用シ、二、一、三及五法貨ノ四種トス、此等ハ公差以下量目

五分(一八七五年條約及) 現行條約ヲル一八八五年條約ニヨレハ五厘又ハ其以上磨減シ又ハ鑄造模樣磨損セルトキハ鑄造國ニ於テ之ヲ改鑄スヘシ、各條約第四條

一八六五年條約、一八七八年條約、一八八五年條約各第四條ニヨルニ量目、量目公差、品位、品位公差、直徑ハ左ノ如シ



之ノ返還ヲ請求スルヲ得一六

(ハ) 各國政府ハ伊國補助銀貨受領ノ義務ヲ免レタル後其輸入ヲ禁スルコトヲ得伊國ハ其ノ輸出ヲ禁スルコトヲ得一四、一五

(5) 鑄造材料 一八九七年十月二十九日ノ條約ニヨレハ補助貨幣ハ自國五法銀貨ヲ鑄毀シテ之ヲ鑄造スヘシ但三百萬法以下ハ地銀ヲ以テ鑄造スルコトヲ得此場合ニハ因テ生スル利益ヲ以テ金銀貨整理準備金ヲ積立ツヘシトス

五、補助貨幣ノ鑄造分頭高

(1) 鑄造額分頭六法 一八六五年條約第九條ハ補助貨幣ノ鑄造分頭額ヲ確定セリ之レ本條約ニ於テハ補助銀貨ノ品位ヲ下シ名價ヲ實價ヨリ大ナラシメ且鑄造權ヲ各國ニ留保セシニ職由スルモノトス

而シテ鑄造分頭額ハ之ヲ六法トシ且最近ノ人口調査及本條約解消ニ到ル迄ノ人口増加ヲ見越シテ次ノ額ト定ム

- 佛蘭西 二三九、〇〇〇、〇〇〇法
- 白耳義 三二、〇〇〇、〇〇〇法
- 伊太利 一四一、〇〇〇、〇〇〇法
- 瑞 西 一七、〇〇〇、〇〇〇法

但上記ノ額ヨリ各國ニ於ケル既鑄高ヲ控除スヘシ即

佛蘭西ニ對シ一八六四年五月二十五日ノ法律ニヨル五〇、二〇〇山貨鑄造高一六、〇〇〇、〇〇〇法

〇〇法

伊太利ニ對シ一八六二年八月二十四日法律ニヨル二、一法、五〇、二〇〇山貨鑄造高一〇〇、〇〇〇、〇〇〇法

〇〇、〇〇〇法

瑞西ニ對シ一八六〇年一月三十一日法律ニヨル二、一法貨鑄造高一〇、五〇〇、〇〇〇法

何レモ控除スヘキモノトス

一八七八年ノ條約亦之ヲ留保シ

- 佛蘭西 二四〇、〇〇〇、〇〇〇法
- 白耳義 三三、〇〇〇、〇〇〇法
- 伊太利 一七〇、〇〇〇、〇〇〇法
- 希臘 一〇、五〇〇、〇〇〇法
- 瑞 西 八、〇〇〇、〇〇〇法
- トス但シ既鑄高ヲ控除スヘキハ前ト同シ
- 亞テ一八八五年條約第九條、同追加條約第三條亦之ノ主義ヲ改メス國別額ヲ次ノ如ク定メタリ
- 佛蘭西アルジール及殖民地 二五六、〇〇〇、〇〇〇法
- 白耳義 三五、八〇〇、〇〇〇法

伊太利 一八二、四〇〇、〇〇〇法  
 瑞 西 一九〇〇、〇〇〇法  
 希臘 一五〇〇、〇〇〇法

此他伊太利ハ二千万利瑞西ハ六百万法佛蘭西ハ八百万法白耳義ハ五百万法ヲ例外的ニ鑄造スルコトヲ得

(2) 鑄造分頭額七法 次テ一八九七年十月二十九日ノ協約ニ於テハ鑄造分頭額ハ之ヲ一法増加シテ七法トセリ國別額ハ次ノ如シ尙鑄造餘力ハ上記數額ヨリ現今ニ到ル既鑄高ヲ控除セル殘額ナリトス

佛蘭西、アルジール及殖民地 三八六、〇〇〇、〇〇〇法即一三〇、〇〇〇、〇〇〇法増加  
 白耳義 四六八、〇〇〇、〇〇〇法即 六〇〇、〇〇〇、〇〇〇法増加  
 伊太利 二二二、四〇〇、〇〇〇法即 三〇、〇〇〇、〇〇〇法増加  
 瑞 西 四〇〇、〇〇〇、〇〇〇法(二)即一九〇二年十一月十五日協約ニヨリ追加

但シ希臘ハ伊太利カ締盟各國トナシタル補助銀貨回收條約ト同様ノ義務ヲ負擔スルニ到ル迄新鑄權ヲ拋棄セリ(四)而シテ其鑄造ハ第一年ニハ制限額ノ四割以下、次年以降二割以下トセリ(五)

(3) 鑄造分頭額十六法 一九〇八年十一月四日ノ協約ニ於テハ分頭額ヲ一六法トセリ而シテ國別額ハ次ノ如シ  
 佛蘭西及殖民地 九四八、八〇〇、〇〇〇法

白耳義及公果國 二七六、八〇〇、〇〇〇法  
 伊太利 五四〇、八〇〇、〇〇〇利  
 瑞 西 五七六、〇〇〇、〇〇〇法  
 希臘 四二、四〇〇、〇〇〇ドラクマ  
 トナシタリ

六條約ノ繼續期間

- (1) 一八六五年條約ハ一八八〇年一月一日迄存續スヘク若シ滿期一年前ニ解除ノ通告ナキ場合ニハ更ニ十五年間默示ノマ、繼續スルモノトス(一四條)
  - (2) 然ルニ一八七八年十一月五日ノ條約ニヨレハ本條約ハ一八八〇年一月一日以降六年即一八八六年一月一日迄存續スヘシ但其後ハ一年宛默示ノ儘繼續スヘシ(一五)
  - (3) 一八八五年十一月六日ノ條約ニヨレハ一八八六年一月一日以降一八九一年一月一日迄存續スヘク爾後默示ノマ、解除通告ニ續ク一月一日以後一年間存續スヘシ(條約一三)
- 右存續期間中默示的延長期間ニ付テハ多少效力ニ異同アリキ例ヘハ佛蘭西銀行カ國庫ノ名ニ於テ五法銀貨ヲ受領スルノ義務ハ默示的存續期間ニ存在セサルカ如シ(條約三ノ四及五)
- (4) 前記ノ方法ニヨル默示的延期主義ハ一八九七年十月二十九日協約ノ認ムル所ナリ此レ即現行法トス

### 附說第一、白耳義

#### 第一、硬貨

一、現行法 白耳義ハ一八六五年以降羅甸同盟ニ屬ス從テ以下特說セサルモノニ就キテハ羅甸同盟ノ部分ヲ參照スヘシ加之一八三一年和蘭ヨリ獨立シ翌一八三二年六月五日其幣制ヲ樹立スルニ當リ佛蘭西ノ幣制ヲ模倣シ全ク佛蘭西ノ從者タルノ觀アルヲ以テ同國開國以來ノ幣制ニ關シ亦絮說スルヲ要セス但是ニハ貨幣流通ノ實況ヲ示スニ止ムヘシ

(1) 一八三二年—一八四七年 ニテハ事實上銀本位時代ニシテ當時法律上貨幣ト見ルヘキハ次ノ數種トス

1. 白耳義國鑄造銀貨
2. 白耳義國鑄造二十法及四十法金貨(事實上鑄造セス)
3. 和蘭國鑄造十富金貨(換算率ハ銀貨トス)  
流通高大ナラス
4. 佛蘭西國鑄造二十法及四十法金貨
5. 佛蘭西國鑄造五法銀貨

次テ一八四七年三月三十一日ノ法律ハ十法及二十五法金貨ノ鑄造ヲ定ム、二十五法金貨ハ品位九〇〇位、七九一五五六瓦ヲ有スヘシ從テ金銀法定比價ハ金一對銀一五八三トナリテ而シテ本法ニテハ金貨ノ自由鑄造ハ之ヲ許サス且其額ヲ二千万法ニ限レリ、而モ舊法一

八三二年)ニヨル金一對銀一五五〇ノ比價ヲ有スルニ〇法金貨ノ鑄造ハ之ヲ禁止セサリシナリ然ルニ一八四八年三月四日ノ法律ハ英國ノソヴエレン貨ヲ法貨トシ、ソヴエレン貨ノ市價二五法二二之山ナル場合ニ二五法五〇山ニ換算スルモノトシテ約一分一厘ノ「ブレミヤム」ヲ附セリ而シテソヴエレン貨ハ重量七九八一瓦品位九一六位ナルヲ以テ法定比價ハ金一對銀一五六九六六ナリト云フヘシ

(2) 一八四七年—一八五〇年 此期間ハ事實上ノ金本位時代ト見テ可、初メ一八四七年和蘭ハ十富金貨ノ通用力ヲ失ハシメ且佛蘭西ハ多額ノ金貨ヲ鑄造セシヲ以テ勢ヒ白耳義ニ輸入スルコト大トナリ從テ白耳義ニ於テ次ノ數種法定比價ノ異ナル金貨ノ流通ヲ見ルニ到レリ

1. 佛蘭西國鑄造二〇及四〇法金貨(法定比價金一對銀一五・五)
2. 英吉利國(ソヴエレン)貨(法定比價金一對銀一五六九六六)
3. 和蘭國鑄造十富金貨(確定換算率二一法一六山)
4. 白耳義國鑄造一〇及二五法金貨(法定比價金一對銀一五・八三)

然ルニ一八四九年九月二十八日ノ法律ハソヴエレン貨ノ強制通用ヲ禁シ一八五〇年六月十四日ノ法律ハ和蘭十富金貨ノ強制通用ヲ禁シ唯數日間確定換算率二〇法九〇山ニテ國庫ニテ受領スルコト、セリ(市場換算率ハ二一法二二之山ニシテ前)之ニ亞テ一八五〇年十二月二十八日ノ法律ハ亦佛蘭西金貨ノ強制通用ヲ禁シタリ但シ當時金貨(白國及佛)ハ流通セ



サリシヲ以テ此最後ノ法律ハ全ク形式上ノ手續ニ過キサリキ  
 茲ニ於テカ又モヤ事實上銀本位制時代トナレリ一八五四年八月十一日ノ勅令ニヨリ一八  
 四七年三月三十一日ノ法律ニヨル金貨鑄造ヲ禁シテ此時代ハ完全ニ現出スルニ到レリ  
 (3) 一八五一—一八六五年 此期間ハ佛國鑄造磨損銀貨ニヨリテ大ナル困難ヲ受ケシ時代ト  
 ス、一八四七年頃露國金貨カ佛蘭西ニ流入シ之ノ對價トシテ佛國銀貨ヲ持チ去リタル結果  
 白耳義ハ佛國鑄造銀貨ニ依頼スルコト能ハス仍テ自ラ多額ノ銀貨ヲ鑄造セリ(一八四七年  
 間ニ)然ルニ此銀貨ハ佛國ノ磨損銀貨ト交代シ一八五九年代ノ調査ニヨレハ佛國鑄造磨損  
 銀貨ニヨル損失ハ一〇〇〇法ニツキ三法七七山乃至八法四〇山ニ達セリ而シテ流通總高  
 ニ對シ佛國鑄造貨幣七割ニ對シ白國鑄造貨幣三割ヲ占ムルノミナリキ然ルニ當時銀貨ニ  
 對スル打歩増大セシカハ磨損銀貨モ市場ヨリ消滅シ依テ其代リニ佛國金貨ヲ以テ代用セ  
 シモ此ハ(1)法貨ニ非ス(2)其名價ハ金銀比價トノ關係上ノ市價ト一致セス(3)金貨ノ價額ハ  
 大ニシテ小取引ニ適セサルトニヨリ取引場裡ノ不便甚シカリシカハ一八六一年六月四日  
 ノ法律ヲ以テ佛國金貨ニ強制通用力ヲ與ヘ且佛國貨幣法ニ一致シテ金貨ヲ鑄造スヘキモ  
 ノトセリ然レトモ未タ幣制ノ安固ヲ確保スルヲ得ス金銀投機ノ行ハル、コト甚シク白耳  
 義國立銀行ノ準備ハ動搖シテ此時期ヲ終了セシナリ  
 尙白耳義ハ補助貨幣ニ就テモ異ナル品位ノモノ流通シ例ヘハ自國鑄造ノモノハ九〇〇位  
 ナルニ佛國鑄造ノモノハ八三五位又ハ九〇〇位ノモノナリシカハ金銀投機ヲ助長スルコ

ト甚シク遂ニ白耳義ハ佛蘭西ニ對シ羅匈同盟會議ノ提議ヲ爲スニ到リシナリ  
 二貨幣ノ種類 次掲數種ノ貨幣ヲ鑄造ス  
 金貨 二〇法貨即條約列記中ヨリ一〇〇、五〇、一〇及五法貨ヲ缺ク  
 銀貨 五、二、一及法貨即條約列記中ヨリ二〇山貨ヲ缺ク  
 白銅貨 二〇、一〇及五サンチーム貨ノ三種  
 銅貨 二及一サンチーム貨ノ二種  
 白銅貨以下ノ量目其他ハ次ノ如シ

種	類	總量目	品	位	量目公差	直徑	法	貨
白銅貨	一〇サンチーム貨	六・五	七五%銅、二五%白銅	一〇%	二六・〇	個人間ニ於テハ五法迄法貨トシテ通用ス (一八六〇年十二月二十日法律)		
	一〇サンチーム貨	四・〇		一三%	二二・〇			
	五サンチーム貨	二・五		一五%	一九・〇			
	二サンチーム貨	四・〇		減量 二%	二二・五			
	一サンチーム貨	二・〇			一六・五			
銅貨	二サンチーム貨	四・〇	純銅	減量 二%	二二・五	個人間ニ於テハ二法迄法貨トシテ通用ス (同上ノ法律ニヨル)		
	一サンチーム貨	二・〇			一六・五			

三、自由鑄造 總量目一疋ノ地金ニ對シ六七〇法即純量目一疋ノ地金ニ對シ七、四四法ノ鑄造料ヲ徵シテ個人ノ爲メニ鑄造ス、尙造幣局ハ佛國造幣局ト同様ニ純金一疋三四三七法ノ割合ヲ



(3) 第八條佛國貨幣法ト同様ニ鑄造セラレタル外國銀貨ハ國內ニテ法貨トシテ通用スルモ  
 ノトシ之ヲ受ケテ一八五二年六月十二日ノ法律ハ佛蘭西白耳義「サルヂニア」「バルマ」シサ  
 ルビン共和國及伊太利國鑄造貨幣ノ換算率ヲ確定セリ  
 然ルニ佛國銀貨ハ法貨タルヲ以テ佛國金貨モ漸次流通スルニ到リ遂ニ總テノ商取引界ニテ  
 ハ暗黙ノ儘佛蘭西ノ法貨即金貨ヲ以テ決済手段トスルニ到リ一八五九年頃ニハ聯邦政府亦  
 現時ハ事實上金本位ニシテ銀本位ハ紙上ノ制タルニ過キス從テ取引決済ハ其九割迄金貨殊  
 ニ二〇法貨ヲ以テ行ハル、ヲ承認スルニ到リ遂ニ其翌一八六〇年一月三十一日ノ法律ヲ以  
 テ佛蘭西鑄造金貨ノ換算率ヲ確定シ二法以下ノ補助銀貨ハ其ノ品位ヲ八〇〇位ニ改ムルコ  
 トトシ亞テ同二月二日ノ命令ヲ以テ一法銀貨ヲ百万法、二法銀貨ヲ二百万法鑄造スルコトヲ  
 定メ羅甸同盟ニ一步ヲ近ツクニ到レリ而シテ遂ニ一八六五年十二月二十三日羅甸同盟ニ加  
 入スルニ到リシナリ從テ以下特說スル場合ノ外同盟ノ部ヲ參照スヘシ  
 二單位「フラン」(法[Franco])一法 $\parallel$ 一〇〇「サンチム」(山[Centimes])但「サンチム」ハ又「ラッペン」(Rap-  
 pen)トモ稱ス  
 三貨幣ノ種類 左記數種貨幣ヲ鑄造ス  
 金貨 二〇及一〇法貨即同盟條約列記中ヨリ一〇〇、五〇及五法貨ヲ缺ク  
 銀貨 五、二、一及 $\frac{1}{2}$ 法貨即條約列記中ヨリ二〇山貨ヲ缺ク  
 白銅貨 二〇、一〇及五サンチム貨

銅貨 二及一「サンチム」貨  
 白銅貨以下ノ量目其他ハ次ノ如シ

種類	總量目	品	位	量目公差	直徑	法貨
白銅貨		純白銅				
二〇「サンチム」貨	四 <sup>五</sup> 〇		一二%		二 <sup>一</sup>	個人間ニ於テ一〇法迄法貨トシテ通用ス(一八七九年三月二十九日法律)
一〇「サンチム」貨	三〇〇		一五%		一九	
五「サンチム」貨	二〇〇	七五%銅及二五%白銅	一八%		一七	
青銅貨						
二「サンチム」貨	二五	九五%銅、四%錫、一%亞鉛			二〇	個人間ニ於テ二法迄法貨トシテ通用ス(一八五〇年五月七日法律)
一「サンチム」貨	一五		一五%		一六	

四、自由鑄造 「ベルン」造幣局ニテハ之ヲ認メス

五、外國貨幣 佛蘭西、白耳義及希臘(伊太利ハ)鑄造ノ補助銀貨(二、一及 $\frac{1}{2}$ 法貨)ハ流通ス但シ官公署

カ一口ノ支拂額一〇〇法迄之ヲ受領スル義務アル外一般ニハ受領スルノ義務ナシ  
 又官署ニ於テハ次掲外國貨幣ヲ法定換算率ニテ受領ス

- 「ツヴェレン」貨 七九八三瓦以上ノモノニ限リ 二五<sup>二</sup>〇法ノ割合ニテ
- 二〇麻金貨 七九二六瓦以上ノモノニ限リ 二四<sup>七</sup>〇法ノ割合ニテ
- 北米合衆國五弗金貨 八三一〇瓦以上ノモノニ限リ 二五<sup>九</sup>〇法ノ割合ニテ



收シ同額ノ二五センチシミ白銅貨ヲ發行セリ  
 青銅貨 一〇、五、二センチシミ及一センチシモ貨ノ四種  
 白銅貨以下 量目其他ハ次ノ如シ

種類	總量目	品	位	量目公差	直徑	法	貨
白銅貨	四〇〇〇〇	七五%銅、二五%白銅		一五%	二一	五利迄法貨トシテ通用ス 一八九四年二月二十一日、同年 七月二十二日及一九〇二年二月 十三日ノ法律	
青銅貨	一〇〇〇〇〇	九六%銅、四%錫		一〇%	二五	一利ヲ限リ法貨トシテ通用 ス (一八六二年八月二十日法律)	
一〇センチシミ貨	一〇〇〇〇〇			一五%	一五		
五センチシミ貨	五〇〇〇〇				二〇		
二センチシミ貨	二〇〇〇〇				二五		
一センチシモ貨	一〇〇〇〇				三〇		

而シテ補助銀貨(二)及(三)利貨ノ輸出ハ一切之ヲ禁ス但シ旅人カ十利以下ニ限リ自ラ携帯ス  
 ルハ此限ニ在ラス(羅甸同盟第四段(4))  
 四、自由鑄造 伊太利銀行ニ於テ地金竝ニ金貨ヲ購入スルモ自由鑄造ハ之ヲ認メス  
 五、外國貨幣 一九〇七年三月七日法律ニ基キ強制通用力ヲ有スル外國金貨ハ次掲ノ八種ナリ  
 トス  
 (1) 白耳義佛蘭西希臘及瑞西 一〇〇、五〇、二〇、一〇及五法金貨但シ同盟條約ノ存在スル

以上當然ナリトス

- (2) 埃太利 八及四(グルデン)金貨(法定換算率二〇及一〇利)
- (3) モナコ 一〇〇及二〇法金貨
- (4) ルメニーン 二〇及一〇(ライ)金貨
- (5) 露西亞 舊五留及新七(留)金貨(法定換算率二〇利)
- (6) セルヴィーン 二〇及一〇(ティナル)金貨
- (7) 西班牙 一〇〇、二〇及一〇(ペヒタス)金貨
- (8) チュニス 二〇及一〇法金貨

而シテ(1)段記載ノ白佛希及瑞鑄造ノ五、二、一及(法)銀貨亦流通ス但伊國鑄造銀貨ハ前記諸國  
 ニテ流通スルヲ得サルモノトス

第二、政府紙幣

政府紙幣ノ發行總額ハ四六七五〇〇、〇〇〇利ニシテ強制通用力ヲ有ス其種類ハ二五、一〇及五  
 利券ノ三種トス而シテ二五利券以上ノ分ハ回收ヲ了シタリ

第三、銀行券

伊太利銀行、ナポリ銀行及シ、リア銀行ノ三者發券銀行トシテ一〇〇、五〇〇、一〇〇及五〇利  
 券ノ四種ヲ發行ス其詳細ハ第二項發券銀行第一章第八節伊太利銀行ノ部ヲ見ルヘシ(本參考書  
 及一〇五、四一頁參照)

附說第四、希臘

第一、硬貨

一、現行法及本位 一八六八年十二月二十六日羅甸貨幣同盟ニ加入ス從テ以下ニ特說ナキ部分ニ就テハ羅甸同盟ヲ見ルヘシ而シテ金貨ノ支拂ハ一九一〇年金紙間ノ打歩消滅ト共ニ實施シタリ

二、單位 「ドラクマ」(Drachmen)、「レプト」(Lepta) (但單數ハ「レプト」)、「ドラクマ」

|| 一法、「レプトン」|| 一山

三、貨幣ノ種類 次掲數種ノ貨幣ヲ鑄造ス

金貨 一〇〇、五〇、二〇及一〇「ドラクマ」貨即條約列記中ヨリ五「ドラクマ」貨ヲ缺ク

銀貨 五、二、一「ドラクマ」貨並ニ五〇及二〇「レプト」貨即條約列記ノ全部ヲ含ム

白銅貨 二〇、一〇及五「レプト」貨ノ三種之ハ最初銅貨ナリシヲ改メタルナリ

其鑄造制限額ハ二〇及一〇「レプト」貨ニテ三、〇〇〇、〇〇〇「ドラクマ」、五「レプト」貨ニテ一、

八五〇、〇〇〇「ドラクマ」トス、新貨幣ハ中央ニ穿孔ヲ有ス

青銅貨 一〇、五、二「レプト」及一「レプトン」貨ノ四種

白銅貨以下ノ量目其他ハ次ノ如シ

種類	類	總量目	品	位	品公	位量	差目	直徑	法	貨
白銅貨	二〇「レプト」貨	四、〇〇〇〇	七五%銅、二五%白銅 ヨリ成立ス	五%	一八%	二一	一七	一五	五「ドラクマ」迄法貨トシテ通用ス	
	一〇「レプト」貨	三、〇〇〇〇								
	五「レプト」貨	二、〇〇〇〇								
	一〇「レプト」貨	一〇、〇〇〇〇								
	五「レプト」貨	五、〇〇〇〇								
青銅貨	九五%銅、四%錫、一%亞鉛ヨリ成立ス									
	一〇「レプト」貨	一〇、〇〇〇〇	銅 一〇%	錫 五%	亞鉛 五%	一八%	三〇	二五	二〇	一五
	五「レプト」貨	五、〇〇〇〇								

第二、政府紙幣 ナシ但次掲政府ノ計算ニ於テ發行スル銀行券ハ政府紙幣ニ同視スルコトヲ得

第三、銀行券 發券銀行トシテハ希臘國立銀行及「ヨニオン」銀行ノ二アリ、之ニ關シテハ第二項發券銀行篇ニ於テ詳說セサルヲ以テ左ニ其大要ヲ示スヘシ

(1) 希臘國立銀行(Banque Nationale de Grèce)ハ一八四一年三月三十日及八月十九日ノ法律ニ基キ設立セラレタル株式會社ニシテ一八四二年一月二十二日ヨリ其營業ヲ開始ス、特權繼續期間ハ一九〇三年更新セラレ一九三〇年末迄延期セラレタリ

希臘ニ於ケル發券銀行トシテ外ニ「ヨニオン」銀行(Ionian Bank)アリ、然レトモ一九〇三年ノ法律

ヲ以テ其特權期間ハ一九二〇年四月二十六日迄トシ同日ニ於テ同銀行ハ解散スルカ又ハ希臘國立銀行ニ合併セラル、モノトス、尙一八九九年迄ハ「エピロ、テッサリ」銀行(Banque privilégiée d'Épire-Thessalie)アリタリ

(2) 希臘國立銀行ハ資本金二〇、〇〇〇、〇〇〇「ドラクマ」、ニ「ヨニ」銀行ハ資本金四八五、〇〇〇磅、一、二、一、二、五、〇〇〇「ドラクマ」ニシテ七、〇〇〇、〇〇〇「ドラクマ」ノ銀行券ヲ發行スルヲ得、而シテ兩銀行發行ノ兌換券ニハ一八八五年強制通用力ヲ附與シ且之ト共ニ政府ニ對シテ貸上ヲ爲スヘキモノトス

加之希臘國立銀行ハ一九一〇年三月十九日ノ法律ニ基キ自行ノ計算ニ於テ六五、〇九六、三八〇「ドラクマ」ノ銀行券ヲ發行スルヲ得、但シ之ニ對シテハ金ヲ購入シ及爲替相場カ法定平價ニ達スル迄歐羅巴諸銀行宛手形ヲ買入レ且平價ニテ金ヲ及一〇〇%ニテ手形ヲ賣却スルヲ要ス

銀行券發行ニ關スル要件ハ次ノ如シ

(イ) 銀行券流通高及即時拂債務高ニ對シテハ硬貨及第一級外國銀行宛手形ヨリ成立スル正貨ヲ以テ三分ノ一以上ノ準備ヲ備フルコトヲ要ス、而シテ正貨準備ト銀行券流通高トノ差額ハ資本金ヲ超過スルヲ得ス

(ロ) 正貨ヲ以テ準備セラレサル銀行券流通高借方交互計算及其他ノ債務高ハ資本金ノ二倍以下ナルヲ要ス但シ不動産擔保貸付高ハ此限ニ在ラス、而シテ上記債務ノ正貨準備ヲ超過ス

ル高ニ對シテハ大藏省手形(三箇月以内ニ)手形(三箇月以内ニ)及國債ヲ以テ準備スヘシ

(ハ) 但シ上記ノ準備要件ハ銀行券カ強制通用力ヲ有スル限り共施行ヲ停止ス

(3) 銀行券ハ一八八五年以降強制通用力ヲ有ス、且之ト同時ニ政府ニ對シテ貸上ヲナスヘシ之レ政府計算ニヨル銀行券トス、此種銀行券流通高ハ一九〇一年ニハ其流通高九一、七七八、五七五「ドラクマ」アリタリ、然ルニ一九〇一年ニ設ケラレタル國際監督委員會ハ政府計算ニ於テ發行スル銀行券ヲ毎年二百万「ドラクマ」宛回收スヘキモノトシテ著々其效ヲ奏セリ、加之一九一一年ニハ二及二「ドラクマ」券ノ回收ヲ企圖シ回收期間ハ滿了セサレトモ回收ハ之ヲ完了セリ

第七節 上記以外ノ歐羅巴諸國

序説 本節ニ於テハ既敘英吉利佛蘭西獨逸露西亞埃太利匈牙利羅匈貨幣同盟及之ニ屬スル伊太利白耳義瑞西希臘ノ外ノ歐羅巴各國ニ就キテ説明セントス即チ次ノ如シ

(甲)	和蘭	次
(乙)	スカンディナヴィア貨幣同盟諸國 瑞典、丁抹諾威	二二一頁
(丙)	葡萄牙	二二二頁
(丁)	準羅匈貨幣同盟諸國 西班牙、ブルガリア、ルーマニア、セルヅィア、モナコ	二二七頁
(戊)	土耳其	二四三頁
(己)	ルクセンブルヒ及モンテネグロ	二四九頁

甲、和蘭

第一、硬貨

一、現行法 一九〇一年五月二十八日、一九〇六年十二月三十一日、一九〇九年七月一日及一九一二年十月三十一日貨幣法

二、本位 金本位制一八七五年六月六日以降

蓋シ一八七五年六月六日ノ法律ヲ以テ銀貨ノ自由鑄造ヲ禁シ且本位金貨タル一〇「グルデン」金貨ノ鑄造ヲ開始シテ以降金本位制ニ屬スルモノトス、但シ二 $\frac{1}{2}$ 及一「グルデン」銀貨及ヒ五〇



「セント銀貨ハ其額ニ制限ナク法貨トシテ通用スルヲ以テ跛行本位制ト解スルモ可ナリ  
 三單位 「グルデン」(Gulden, Guilder or Florin) 富ヲ以テ其略稱トス 「富」  
 一〇〇「セント」(Cent)  
 而シテ純金一疋ヨリ一六五三・四四富ヲ鑄造シ得ルヲ以テ一富ノ純量目ハ〇・六〇四八瓦トス、  
 故ニ其邦貨換算價格ハ八〇錢六厘四〇三・二二五・六一・二・九〇二トス。  
 四、金貨 一〇富金貨又ハ「ウヰレムスドル」(Willemsdor) 及五富金貨ヲ鑄造ス、外ニ貿易金貨トシ  
 テ一「ツウカーテン」貨及二「ツウカーテン」貨アリ併記スヘシ

種	目	一〇富金貨	五富金貨	一ツウカーテン貨	二ツウカーテン貨
邦貨換算價格	位	八〇六四〇三二二六四	四〇三二〇一六一三〇	四・五七九四八四九六四	九・二五八九九九七四
品	位	九〇〇位	九〇〇位	九八三位	九八三位
造幣金一疋ヨリ鑄造シ得ル箇數	位	一四八八〇九五箇	二九七六一九〇箇	二八六七一六三箇	一四三・一〇二四箇
千箇ノ總量目	目	六・七二	三・三二六	三・四九四〇	六・九八八
純金一疋ヨリ鑄造シ得ル箇數	目	一六五・三四四箇	三三〇・六八八箇	二九〇・九六三八箇	一四五・五五六箇
千箇ノ純量目	目	六・〇四八	三・〇二四	三・四三四六	六・八六九二
千箇ノ平均總量目	目	六・七二	三・三二六	三・四六八	六・七二
平均品位	位	八九九・五	八九〇	九八〇	九七八
公差	分	一・二%	二・二%	二・二%	一・二%

通用最輕量目	割合	直徑	直徑
六・六八六四五	二・二五%	一八・〇	二一・〇

五、自由鑄造 「ウトレヒト」造幣局ハ政府勘定ニ依ル鑄造ニ差支ヘナキ限り自由鑄造ヲ許ス、而シテ純金一疋ヨリ一六五三・四四富ノ金貨ヲ鑄造シ得ルモ鑄造料トシテ品位九〇〇位ノ金塊總量目一疋ニツキ五富即純金一疋ニ付五五五五富即三・三三〇此點ニ關シ鑄造料ヲ純金一疋ニツキ依レハ正貨輸送點ニシテ微セラル、ヲ以テ結局純金一疋ニツキ一六四七八五富ヲ得ルモノトス、而シテ和蘭銀行ハ自由鑄造ニ關シテ一ノ特權ヲ有ス、蓋シ銀行ニ對シテハ一口ニ付キ三、〇〇〇疋ノ鑄造ヲ許スモ個人ニ對シテハ一、五〇〇疋ノ鑄造ヲ許スノミナレハナリ又總量目一〇〇疋以下ノ輸納者ニ對シテハ之ヲ受理スルノ義務ナシ

六、補助貨幣 銀貨及銅貨トシテ次ノ數種アリ

種	類	品	品位	公差	總量目	量目公差	直徑
(1) 銀貨	二ノ富貨 (Rijksdaaler)	一富貨	九四五位	一・二/100	二五・〇〇〇	二/100	三八・〇
		五〇セント貨	六四〇位	四/100	一〇〇・〇〇〇	三/100	二八・〇
		二五セント貨	六四〇位	四/100	五〇〇・〇〇〇	五/100	二二・〇
		一富貨	六四〇位	四/100	三・五七五	六/100	一九・〇



(3) 獨逸トノ關係  
 法定平價ハ 一〇〇麻<sub>二</sub>五九<sub>二</sub>六富ナルヲ以テ  
 正貨輸出點 和蘭ニ於ケル伯林宛爲替相場カ  
 正貨輸入點 同上  
 五九・五三富ナルトキ  
 五八・九六富ナルトキ

次ニ和蘭銀行ニ於ケル金塊及金貨賣買條件ヲ見ルニ

(1) 買入價格ハ次ノ如シ

種 類	純量目一庇ニ付キ	品 位
地 金	一六四八富 <sub>フロン</sub>	
獨逸二〇麻貨		八九九 <sub>三</sub> 位
「ナポレオン」貨 <sub>希臘以外ノ羅同盟國鑄造ノ貨ハ之ニ準ス</sub>		八九九 <sub>三</sub> 位
「イーグル」貨	一六五〇富	八九九 <sub>三</sub> 位
「ツヴェレン」貨		九一六 <sub>三</sub> 位
新舊イムペリアル貨	一六四八富	八九九 <sub>三</sub> 位
埃太利八「ドル」貨	一六四八富	八九九 <sub>三</sub> 位
「スカンディナヴィア」冠貨		八九九 <sub>三</sub> 位

而シテ地金ハ品位八九八位以上ニシテ且銀行ノ公認セル鑄金商ノ檢印ヲ有スルコトヲ要ス然ラサレハ一庇ニ就キ一富ノ檢査料ヲ徴シ尙品位ハ銀行ノ試金師ノ檢定ヲ經ヘシ其手數料ハ六庇及其以下ノ金塊ニ在リテハ二富六庇以上一二庇迄ハ四富トス而シテ一二六庇

以上ノ金塊ハ之ヲ買入ルルコトナシ

(2) 賣却價格ハ不動ニシテ最高一九〇六年八月一六五八富ナリキ

第二、政府紙幣 ナシ

第三、銀行券 和蘭銀行發行ノ一〇、二五、四〇、六〇、八〇、一〇〇、二〇〇、三〇〇、五〇〇及一〇〇〇富券

ノ十種アリ詳細ハ第二項發券銀行ノ部ヲ參照スヘシ(本參考書第二卷第二〇一頁ヲ參照スヘシ)

乙 スカンデナヴィア貨幣同盟諸國—瑞典、丁抹諾威

總說 瑞典國ハ一八七三年五月二十七日丁抹國ト共ニ貨幣條約ヲ締結シ次テ一八七五年十月十六日諾威國(ハ一八七二年十二月十)之ニ加盟シタリ、本同盟ハ金本位ヲ以テ貨幣ノ基礎トシ、純金一疋ヨリ二四八〇、クロノールヲ鑄造スルモノトシタリ而シテ各國鑄造ノ金銀貨幣ハ締盟各國ニ於テ流通スルモノトス、以下其規定其他ヲ分説スヘシ

尙上記三國ハ青銅貨及銀行券ニ關シテハ共通ノ制度ヲ採用スルモノニアラス、此點ノ注意ヲ要ス

### 第一、貨幣

一、現行法 締盟各國ハ何レモ同盟條約ヲ基礎トシ、各自其國法ニヨリ實施期ヲ定メタリ即

瑞典 一八七三年五月三十日

丁抹 一八七五年一月一日

諾威 一八七五年四月十七日

二、本位 金本位制

三、單位 「クロノール」(Kronor, Couronne od Krona)、「冠」ヲ以テ其略稱トス、一冠=一〇〇「オール」(Öre)

而シテ純金一疋ヨリ二四八〇冠ヲ鑄造シ得ルヲ以テ一冠ノ純量目ハ〇・四〇三二二五八瓦ナリトス、故ニ其邦貨換算價格ハ五三錢七厘六三六五五〇、五四六二〇二トス

四、金貨 二〇、一〇及五冠貨ノ三種、但シ五冠貨ハ一八八一年六月二十五日ノ追加條約ヲ以テ初



モ一冠迄法貨トシテ通用ス次ニ金貨ニシテ流通ノ爲メ $\frac{3}{4}$ 以上磨損セルモノハ國庫ニ對スル給付ニ限リ之ヲ受理シ且其磨損 $\frac{2}{4}$ 以下ニ止マル場合ニハ之ヲ完量ノモノト交換スルノ義務アリ

又三國ハ各自締盟國ノ金銀貨ハ之ヲ法貨トシテ通用セシム

八補助貨ノ鑄造制限額 此點ニ關スル規定ナシ

九貿易貨幣 總說第四段第三、四金銀貨(第七、四〇頁參照)ヲ見ルヘシ

一〇舊單位 瑞典ニ於ケル舊單位ハ「カロリン」(Carolin)ト稱シ佛國ノ貨幣制度ト同一ナリキ

一一法定平價 (貨幣單位ヲ冠ニテ示ス)

國名(單位)	「スカンディナヴィア」同盟金貨ニ對スル外國貨幣		外國金貨ニ對スル「スカンディナヴィア」同盟貨幣	
	一〇〇冠ニ對シ	一〇冠金貨ニ對シ	單位一〇〇ニ對シ	主タル金貨ニ對シ
日 本(圓)	五三・七三六五〇(圓) 六〇・〇三〇	五三・七三六五〇(圓) 六〇・〇三〇	一八五・九九九二五(圓) 一九八・八二二	二〇圓貨 一三七・九九八五八(圓) 二〇圓貨 一三七・九九八五八(圓)
英 吉 利(磅)	五五〇・六七五九六(圓) 六八・五五〇	〇・五五〇(圓) 六七・五九三六三(圓)	一〇磅 一八・五九九〇〇(圓) 一五・五〇〇	一磅貨 一八・五九九〇〇(圓) 一五・五〇〇
佛 蘭 西(法)	五五〇・一〇二一・六二二(圓) 四七・七〇〇	一一・二五二(圓) 一・二五二	一〇磅 一八・五九九〇〇(圓) 一五・五〇〇	二〇法貨 一四三・九九九三三(圓) 二〇法貨 一四三・九九九三三(圓)
獨 逸(馬)	一三八・八八八四九(圓) 六六・九八八	一三・八八八八八(圓) 四九・二二二	七一九九九九六(圓) 八七・九九九	二〇馬貨 一七七・七七七八〇(圓) 二〇馬貨 一七七・七七七八〇(圓)
露 西 亞(留)	一一・四九九九八(圓) 八八・九九九	一一・四九九九八(圓) 八八・九九九	八八八八八八八(圓) 九九・九九九	一馬貨 一七二・八八〇(圓) 一五・九九九
埃 太 利 匈 牙 利(冠)	五二・〇八〇(圓) 五八・四四七	五二・〇八〇(圓) 五八・四四七	一九二・〇一〇(圓) 三三・九九九	一冠貨 一五二・九九九(圓) 一冠貨 一五二・九九九(圓)
和 蘭(富)	一三二・二五八〇(圓) 八三・六三三	一三二・二五八〇(圓) 八三・六三三	七五・九九九(圓) 九九・九九九	一〇富貨 一四九・九九九(圓) 一〇富貨 一四九・九九九(圓)

土 耳 古(土耳其古) 六〇・九九七〇(圓) 二・九九八〇(圓) 六〇・九九七〇(圓) 二・九九八〇(圓)

北 米 合 衆 國(弗) 二六・七九三六六(圓) 二六・九九九 二六・七九三六六(圓) 二六・九九九

次ニ各發券銀行ニ於ケル金賣買條件ヲ示スヘシ

(1) 瑞典帝國銀行 地金購入ニ就テハ純金一冠ニ對シテ二四八〇冠ヨリ $\frac{1}{4}$ %ノ鑄造料ヲ控除シタル二四七三冠ヲ支拂フ但シ鑄造料ハ之ヲ輕減シ又ハ徵收セサルコトアリ又賣却ニ關シテハ各箇ノ場合ニ其價格ヲ協定ス

次ニ外國貨幣賣買價格ハ次ノ如シ

種 類	最 低 量 目	買 入 價 格	賣 却 價 格
英一「ソヴエレン」金貨	七・九四 <sup>五</sup>	一八・一六 <sup>五</sup>	一八・二三 <sup>五</sup>
獨 一 〇 麻 金 貨	三・九七	八・八九	八・九二〇
一 〇 法 金 貨(羅甸貨幣)	三・二一	七・二〇	七・二四〇
一 〇 和 蘭「フロリン」金貨	六・七〇	一四・九七	一五・〇七〇
和 蘭「ヅッカーテン」貨	三・四八	八・四〇	—
北 米 合 衆 國 一 〇 弗 金 貨	一六・六四	三七・二〇	三七・八〇
一 〇 芬 蘭 麻 金 貨	三・二一	七・一九	七・二三
露 一 〇 留 金 貨	八・五六	一九・一六	一九・四〇
一 〇 埃 太 利 冠 金 貨	三・三八	七・五三	七・六三

最低量目以下ニ下リタルモノハ地金トシテ之ヲ購入ス

(2) 諾威銀行 地金購入ニ就テハ純金一疋ニ付キ二四八〇冠ヨリ $\frac{1}{100}$ ノ鑄造料ヲ控除シタルモノヲ支拂フ、但シ支拂ハ官許試金商又ハ銀行ノ認許セル精練商ニ於テ品位ヲ確定シタル後ニ之ヲ行フ、此ニ關スル取扱所ハ本店及ベルゲン、ドロントハイム支店ノ三トス  
次ニ外國金貨ハ銀行ノ本支店ニ於テ次ノ公表セル價格ニヨリテ購入ス

種類	購入	價格
英ツツエレン貨	參着拂爲替相場ニ依リ	一磅  一八・一〇冠以下ニテ
法貨 <small>(國鑄貨幣同盟)</small>	同上	一〇〇法  七一・八〇冠以下ニテ
獨逸麻金貨	同上	一〇〇麻  八八・七〇冠以下ニテ
北米合衆國弗貨		一弗  三七・〇冠
露イムベリアル貨		一留  一九・〇冠
外國金貨賣却價格ハ次ノ如シ		
種類	賣却	價格
英ツツエレン貨	參着拂爲替手形ノ賣相場ニ依リ <small>(銀行ニ於ケル)</small>	一磅  一八・一八冠以上ニテ
法貨 <small>(國鑄貨幣同盟)</small>	同上	一〇〇法  七二・〇五冠以上ニテ
獨逸麻金貨	同上	一〇〇麻  八九・〇冠以上ニテ
北米合衆國弗貨	當分ノ内	一弗  三八・〇冠ニテ

(3) 丁抹國立銀行 地金買入條件ヲ見ルニ品位ハ九〇〇位以上ニテ純金一疋ニ對シ二四八〇冠ノ内ヨリ $\frac{1}{100}$ ノ鑄造料ヲ控除セル二四七・三八〇冠ヲ支拂フ、外國金貨ニ對シテモ此割合ニ準ス但其品位ハ佛國ナポレオン金貨、和蘭ウヰレムストール金貨、獨國クローネ金貨、米國イーグル金貨及露新留貨ハ之ヲ八九九 $\frac{1}{2}$ 位トシ、一八八六年以前鑄造ノ舊留貨ハ之ヲ九一六位トシ、最後ニ英國ツツエレン貨ハ九一六 $\frac{1}{2}$ 位ト定ム、尙上記確定購入價格タル二四七・三八〇冠ハ場合ニヨリ二四七・六九〇冠迄引上グルコトアリ

次ニ地金及外國金貨ノ賣却價格ハ各箇ノ場合ノ協定價格ニ依ル

第二、政府紙幣 三國トモ政府紙幣ヲ發行セス

第三、銀行券

(1) 瑞典 瑞典帝國銀行發行ノ五、一〇、五〇、一〇〇及一〇〇〇券ノ五種アリ、其詳細ハ第二項發券銀行ヲ見ルヘシ(本參考書第二卷第二八七、七、九、一〇七、九頁參照)

(2) 諾威 諾威銀行 (Norwegian Bank) ノ發行スル五、一〇、五〇、一〇〇、五〇〇及一〇〇〇冠券ノ六種アリ、強制通用力ヲ有ス、本銀行ニ關シテハ他ニ說明セル部分ナキヲ以テ茲ニ簡單ナル説明ヲ爲スヘシ(銀行券ノ種別ニ就キテハ本參考書第二卷第四五九頁ヲ見ルヘシ)

本銀行ハ一八一六年ニ創立セラレタル株式會社ニシテ資本金ハ一千九百萬冠トス、但シ代議會(諾威議會ノ選任スルニ七十五委員ヨリ組織ス、各員ノ及重役會(五委員ヨリ組織ス、其内正副議長ヲ各一人ハ以テ選任ス、餘ノ)ノ聯合決議ニ依リ之ヲ二千五百萬冠迄増加スルコトヲ得

準備金ハ資本金ノ四割ニ達スル迄之ヲ積立ツルコトヲ要ス、夙ニ此法定額ニ達シ一九一〇年十二月末現在九六三五、四一五七、六冠ニ達ス

本銀行ノ本店ハ「クリスチアニア」ニ在リ而シテ支店ハ十九箇所ニ在リ

銀行ハ四千萬五百冠ノ無準備發行額(此額トスルモノアリ)ヲ有ス此部分ニ對シテハ納税ノ義務ナシ、此ヲ超過スル部分ニ對シテハ第一月ニハ六分ノ發行税ヲ納メ、爾後毎月之ヲ宛其稅率ヲ增加ス、正貨準備トシテハ次ノ三者ヲ計上ス

- (一) 銀行庫中金在高
  - (二) 外國取引先預入正貨殘高但シ正貨準備總高ノ三分ノ一ヲ超過スルヲ得ス
  - (三) 瑞典帝國銀行及丁抹國立銀行預入殘高但シ三百万冠ニ限リ加算スルヲ得
- 銀行券ハ金貨ヲ以テ兌換ス、但シ法律上金貨ノ存在セサル部分ニ對シテハ銀貨ヲ以テ之ヲ行フ

(3) 丁抹 丁抹國立銀行 (Nationalbanken i Kjøbenhavn) ノ發行スル五、一〇、五〇、一〇〇及五〇〇冠券ノ五種アリ(流通高種別ニ就キテハ本參照)強制通用力ヲ有ス、本銀行ニ關シ又多少ノ説明ヲ爲サシニ、本銀行ハ一八一三年ニ創立セラレタル帝國銀行ニ其端ヲ發シ一八一八年其組織ヲ變更シテ株式會社トス、資本金ハ二千七百万冠、但シ重役會ハ勅許ヲ經テ之ヲ五千万冠迄増加スルコトヲ得

準備金ハ資本金ノ三割ニ達スル迄之ヲ組成スヘク、一九一〇年末ニテ其法定額八百十萬冠ニ

達セリ

本銀行ノ本店ハ「コーペンハーゲン」ニ在リ、七箇ノ支店ヲ有ス

銀行ハ取引界ノ需要ニ應ジ銀行券ヲ發行スルコトヲ要ス、但シ其二分ノ一ハ正貨ヲ以テ準備スルコトヲ要ス、正貨準備ハ次ノ數項ヨリ成立ス

- (一) 庫中貨幣在高即金、銀及銅貨但シ總在高ノ四分ノ一以上存在スルヲ要ス
- (二) 地金及外國金貨純金一冠ニテ二四八〇冠トシテ算入ス、但(一)及(二)ニヨル準備在高ハ總在高ノ六割ニ達スルコトヲ要ス

(三) 瑞典帝國銀行及諾威銀行預入無利息即時拂預金在高

(四) 獨逸帝國銀行ニ於ケル預金殘高

次ニ保證準備トシテハ次ノ證券ヨリ成立スルモノヲ保存シ且銀行券流通高ニ對シテ一二五%ノ割合ヲ保有セシムヘシ

- (イ) 擔保貸付高
  - (ロ) 內國及外國爲替手形
  - (ハ) 外國取引先ニ於ケル即時拂債權
  - (ニ) 取引所ニ於テ公定取引證券但シ取引相場ニテ
  - (ホ) 抵當證券但シ六百万冠以下ニ限ル
- 而シテ前記ノ規定ニ拘ラス五割ノ正貨準備割合ヲ失ハサル限リニ於テハ銀行券ヲ發行スル



コトヲ得、但シ非常ノ場合ニハ二年以内ニ限り勅令ヲ以テ非常發行ヲ爲スコトヲ得、此場合ニハ超過發行月平均額ニ對シテ年五分ノ租稅ヲ納ムヘシ

銀行券ハ金貨ヲ以テ兌換ス、瑞典帝國銀行及諾威銀行ニ於テモ亦丁抹國立銀行券ヲ兌換ス

銀行ハ一八一八年ニハ九十年間ノ特權ヲ賦與セラレ、其後一九〇七年ニ更ニ三十年間其特權期間ヲ延長セラレ、一九三八年七月末迄其權利ヲ有スルコトト成レリ

丙 葡萄牙

第一 硬貨

一、現行法 一九一二年新貨幣法

二、本位 一八五四年七月二十九日以降金本位制、但シ一八九一年七月葡萄牙銀行發行ノ銀行券ニ強制通用力ヲ賦與セシ以降ハ紙幣本位ノ實狀ヲ示シタリ、而シテ一八九一年三月金紙間ニ於テ一%ノ打歩ヲ生シタル以來其率大ニ上昇シ一八九七年五月ニハ最高五三%ニ達シ、一九〇三年初ニハ三八%、一九〇四年七月ニハ一五%ヲ示シ一九〇六年十月ニハ%ニ下降セシカ、政變ノ發生シタル時ヨリ再ヒ打歩ハ大トナリ一九〇八年二月ニハ一六九%ニ達シ、爾後一九一〇年十月ニハ二%ト成リシカ、一九一二年末ニハ再ヒ一二%ニ上騰セリ

三、單位 一九一三年一月以降「エスキュード」(Escudo)、「エスキュード」(Centavos)

但シ單位ノ名稱ハ一九一二年貨幣法ニ依リテ變更セラレタリシモノニテ素ハ「リアル」(Real)ノ複數「レイス」(Reis)ト稱シ「エスキュード」一〇〇〇「レイス」ノ割合ニシテ其他次ノ如キ呼稱ヲ有セリ

- 1'000'000レイス (Rs 1:000 \$ 000) = 1コント「デ」レイス (Conto de Reis)
- 10'000レイス (Rs 10 \$ 000) = 1コロア (Coroa)
- 1'000レイス (Rs 1 \$ 000) = 1ミレレイス (Milreis)

四〇〇レイス (Rs 400)      || クルツアードー (Cruzado)  
 一〇〇レイス (Rs 100)      || トスタオ (Tostao)  
 二〇レイス (Rs 20)      || ヴァンテム (Vintem)

右「リール」ハ舊稱ナレトモ取引界ニ於テハ依然使用セリ而シテ例ヘハ (Rs 0.1250000) ハ九コン  
 トス、七十二万八千二百二十レイスト稱ス  
 一「エスキュード」ハ純金一・六二五七瓦ニシテ品位九一六<sup>3</sup>/<sub>10</sub>位ナルヲ以テ其總量目ハ一・七七  
 三四九瓦トス而シテ其邦貨換算價格ハ二圓一六錢七厘六〇八・六七〇、四三四・六八二ナリ  
 四、金貨 一九一二年以降一〇、五、二及一「エスキュード」貨ノ四種アリ而シテ此ニ應當スル金貨  
 ニシテ一八五四年—一九一一年間鑄造ノ分ニハ次ニ併記セル名稱ヲ有シタリキ、但シ内國鑄  
 造ノ金貨ハ流通セス

種類	一九一二年以降ノ呼稱		一九一二年以前ノ呼稱	
	新	舊	新	舊
邦貨換算價格	二・六七六・一九七三七	四 二・六七六・一九七三七	一〇・八三八・〇四三三五	四 一〇・八三八・〇四三三五
品	九一六 <sup>3</sup> / <sub>10</sub> 位	九一六 <sup>3</sup> / <sub>10</sub> 位	九一六 <sup>3</sup> / <sub>10</sub> 位	九一六 <sup>3</sup> / <sub>10</sub> 位
造幣金一疋ヨリ鑄造シ得ル筒數	五六・三八五・六七八	一・二二七・七一一三五	二八・一九二・八三九	五・六三・三八五・六七
千筒ノ總量目	一七・七三五	八・八六七五	三・五四七	一・七七四
純分一疋ヨリ鑄造シ得ル筒數	六一・五一一・一六	一一・三〇・二二三	三〇・七・五五八	六一・五一一・一五
千筒ノ純量目	一六・二五七・〇八三	八・二八五	三・二五一・四	一六・二五七・〇七

平均品位 (一九一二年鑄造ノ分)  
 (一八五四—一九一二年鑄造ノ分)  
 一九一二年以降ノ呼稱

直	公差		純量	重量
	量目	割合		
通用最輕量目	量目	割合	純量	重量
徑				

五、自由鑄造 造幣局ハ從來品位九一六<sup>3</sup>/<sub>10</sub>位ノ金塊總量目一疋ヲ五六三ミルレイス八五六ヲ以テ即純金一疋ヲ六一五ミルレイス一一五ニテ購入セリ  
 鑄造料ハ一%、但シ之ヲ徴セサルコトヲ得

六、補助貨幣

(1) 銀貨ニハ次ノ四種アリ、但シ一九一三年一月以降少額ノ五〇セントタツ貨ノ流通ヲ見ルノミ

種類	一九一二年以降鑄造ノ分		一九一一年迄鑄造ノ分	
	新	舊	新	舊
一 エスキュード一貨	一ミルレイス即一〇トスタオ	二五 <sup>瓦</sup>	二五 <sup>瓦</sup>	二二・九一・六七
五〇 センタツタツ貨	五〇〇レイス即五トスタオ	一二・五〇	一二・五〇	一一・四五・八三
二〇 センタツタツ貨	二〇〇レイス即二トスタオ	五・	五・	四・五八・三三
一〇 センタツタツ貨	一〇〇レイス即一トスタオ	二・五〇	二・五〇	二・二九・一七
總量目				
品				
位				
純量目				

(2) 白銅貨 四、二、一及三センチタヅ貨ノ四種但シ之ハ從來ノ一〇〇及五〇レイイス白銅貨竝ニ二

〇、一〇及五レイイス青銅貨ニ代リテ發行セラル、モノトス

七、法貨竝ニ外國貨幣トノ法定換算率 金貨ハ本位貨幣トス、銀貨ハ五ミルレイイス迄法貨トシテ

通用ス但シ「リッサボン」ノ取引慣習ニ依レハ一口支拂ニツキ三分ノ一迄銀貨ヲ使用スルヲ得

然レトモ前敘ノ如ク葡萄牙ニハ自國鑄造金貨流通セスシテ英國金貨流通ス其法定比價ハ次

ノ如シ

ツヴェレン貨 但總量目七・九八一瓦以上ヲ有スルモノ 四・五ミルレイイス

三ツヴェレン貨 但總量目三・九九瓦以上ヲ有スルモノ 一・二五ミルレイイス

而シテ品位ニ三位ノ金一瓦ハ二・五〇三七志ナルヲ以テ一コロア貨(總量目一・七)ハ四四・四志ニ當

リ、更ニ一磅ニ四・五ミルレイイスニ當ルモノトス

八、補助貨ノ鑄造分頭額 規定ナシ

九、貿易貨幣及舊單位 貿易貨幣ナシ又舊單位ハ前敘第三ヲ見ルヘシ

一〇、法定平價 (注意ハ次掲數字ノ最後ニ附シタル符號中(印)

國別(單位)	葡萄牙金貨ニ對スル外國貨幣	外國金貨ニ對スル葡萄牙貨幣
日 本(圓)	一〇〇エスキードーニ對シ 二二六・七〇八六〇(四六三三)	單位一〇〇ニ對シ 四六・一三七八八五二八六七五
英 吉 利(磅)	一〇〇エスキードーニ對シ 一・一〇一八〇〇三三三三三	二〇圓貨 九・三六七七七〇
	二二六・七〇八六〇(四六三三)	一〇圓貨 四・四〇九四九九七
	一・一〇一八〇〇三三三三三	一ツヴェ 四・五〇四一三九二四
	二二六・七〇八六〇(四六三三)	
	一・一〇一八〇〇三三三三三	

佛 蘭 西(法)	獨 逸(麻)	露 西(留)	埃 太 利 匈 牙 利(冠)	和 蘭(富)	ス カ ン デ イ ナ ヴ ァ (冠)	土 耳 古(土耳其古比)	北 米 合 衆 國(弗)
五五九・九六三三八(二六九六七)	四九三・五七〇二九(九九六三三)	二〇九・九七五七一(七七四九九)	五三三・三二九六八(五二六九九)	二六八・七九九〇(三七四六三)	四〇三・一七八八(四九六〇)	二四九・七六三三五(三六三三)	一〇八・〇四三九四(三六三三)
五五九・九六三三八(二六九六七)	四九三・五七〇二九(九九六三三)	二〇九・九七五七一(七七四九九)	五三三・三二九六八(五二六九九)	二六八・七九九〇(三七四六三)	四〇三・一七八八(四九六〇)	二四九・七六三三五(三六三三)	一〇八・〇四三九四(三六三三)
一七五・五三〇(一五五五)	二二・〇四七(九八五九九六)	四七六・四六七(六六三三)	一八七・五三六(四四八八六)	三七・〇(四三三三)	二四・八〇三(二二二八)	四〇・六八八(九四九一)	九・五五九(四三六三)
二〇法貨 三五七・一六六〇(八二)	二〇麻貨 四・四〇九四九九七	一五五ペリア貨 七・二四三(七〇一七四)	二〇冠貨 三・七五〇(七二八九)	一〇富貨 三・七〇(四三九九)	一〇冠貨 二・四八〇(三三〇九)	二五ピア 一・〇一七(三八七三)	一〇一貨 九・五五九(四三六三)

第二、政府紙幣 ナシ

第三銀行券 葡萄牙銀行ノ發行スル次掲五種ノ銀行券アリ、共ニ強制通用力ヲ有ス

金貨ヲ以テ兌換スルモノ 一〇、二〇、五〇及一〇〇ミルレイイス券

銀貨ヲ以テ兌換スルモノ 五ミルレイイス券

葡萄牙銀行 (Banco de Portugal) ハ一八四六年十一月十九日ノ勅令ヲ以テ創立セラレタル銀行ニシテ株式會社トス、其資本金ハ一三、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇ニナリトス、準備金ハ一九一〇年末ニ於テ三〇、四九二、〇〇〇、〇〇〇ニナリトス

銀行本店ハ「リッサボン」ニ在リ、十九箇ノ支店ヲ有ス

銀行ハ當初「二七、〇〇〇、〇〇〇」ノ銀行券ヲ發行スルヲ得ルノミナリシカ一八九七年ニハ之ヲ七二、〇〇〇、〇〇〇「コントス」ニ増額シ、更ニ其後假政府ハ之ニ銀貨兌換ノ銀行券ヲ發行スルヲ得シメ、其

額ヲ保有銀貨ノ三倍以下即其當時ノ狀況ヨリ察スレハ約一〇、〇〇〇—二〇、〇〇〇「コントス」トシ其半額ヲ借上ケタリ

本銀行ハ當初葡萄牙全國ニ對スル發券權ヲ獨占セシカ一八五〇年ニハ「リッサボン」區ニ限極セラレ更ニ一八八七年七月二十九日ニ全國ニ對スル發券權ヲ賦與セラレタリ而シテ其特權享有期間ハ一九二七年末ヲ以テ終了スルモノトス

丁、準羅匈貨幣同盟諸國 西班牙、ブルガリア、ルーマニア、セルヴィア、モナコ

上記ノ諸國ハ其金銀貨ニ關シテハ全然羅匈貨幣同盟ニ於ケルト同一ノ規定ニ從フモノトス、故ニ今之ヲ一括シテ説明セントス

(イ) 西班牙

第一、硬貨

一、現行法 一八六八年十月十九日及一八七一年ノ貨幣法、一八七六年七月二十一日及一八七七年七月十日銀貨自由鑄造禁止ノ件、一八七六年八月二十日二五ベセタ鑄造及金貨自由鑄造再開ノ件並ニ一八九九年十二月二十六日貨幣法等

二、本位 法律上跛行本位制ナレトモ一八七六年八月以降銀本位制ナリトス

初メ一八六八年迄ハ銀本位制國ニシテ約九十七種ノ量目ノ一定セサル銀貨及銀ニ對シテ確定比率ヲ存セサル金貨存在シタリシカ一八六八年ノ法律ハ此幣制ヲ一變シテ兩本位制ヲ樹立シ次テ一八七一年ノ法律ニ於テハ金銀貨ニ關シテハ羅匈貨幣同盟ノ造幣率ヲ採用シタリキ、然レトモ金貨ハ流通場裡ヨリ其姿ヲ沒シ獨リ銀貨ノミ横溢セル有様ナリシカハ一八七三年終ニ金貨ノ鑄造ヲ停止シ(政定勅及個)更ニ一八七六及一八七七年ノ兩法ヲ以テ銀貨ノ自由鑄造ヲモ禁止シタリキ

而シテ他面一八七六年八月二十日ニハ金貨ノ自由鑄造ヲ再開セシモ金貨ハ流通セス、反テ銀貨並ニ五ベセタ銀貨ヲ以テ兌換セラルル銀行券ノ流通ヲ見ルノ實況ニ在ルモノトス、之レ前

致ノ如ク銀本位制ト稱スル所以ナリトス

III 單位 「ペセタ」 (Peseta) 一ペセタ = 100 センテイモ (Centimo)

「ペセタ」ハ純量目(金)ハ 〇・二九〇三二二四五九瓦ニシテ其價值法貨ト同一ニシテ邦貨換算價格ハ三八錢七厘〇九八、一四八、三九二、二五九ナリトス

四金貨 金貨トシテハ各種ノモノヲ鑄造シタリ但一八六八年以降ハ羅匈貨幣同盟ト同様ナル

一〇〇、五〇、二五(一八七六)一〇及五ペセタ貨ヲ有スルモノトス、即次ノ如シ

(1) 一八五四—一八六四年ヅウブロー子<sup>ン</sup>又ハ「イサベリ子<sup>ン</sup>」(Duhlonen od. Isabellinen)

種	類	品		總量目	純量目	平均量目
		法定	實際			
一〇	エスキュード貨 (一〇リール)	法定	九〇〇位	八三八七一	七・五四八三九	八・三六八
		實際	九〇〇位	三・三五四八	三・〇一九三二	三・三二三
四	エスキュード貨 (四リール)	法定	九〇〇位	一・六七七四	一・五〇九六六	一・六六一
		實際	九〇〇位	八九八・四四位		
二	エスキュード貨 (二リール)	法定	九〇〇位	八・〇六四五三	七・七八〇七七	八・〇六一
		實際	九〇〇位	三・二二五八〇	三・〇二二二〇	三・二〇〇

(2) 一八七一—一八七二及一八七六一—一八八五年、左記ノ内二五ペセタハ一八七六年八月二十日ノ法律ニヨリ定ムル所トス

種	類	品		總量目	純量目	平均量目
		法定	實際			
二五	ペセタ貨 (アルフォン ス第十三世)	法定	九〇〇位	八・九七七位	八・〇六四五三	八・〇六一
		實際	九〇〇位	八九五・八位	三・二二五八〇	三・〇二二二〇
一〇	ペセタ貨	法定	九〇〇位	八九六位	七・七八〇七七	八・〇六一
		實際	九〇〇位	八九五・八位	三・二二五八〇	三・〇二二二〇

(3) 一八八六年以降、但シ殆ント全ク鑄造セス

種	類	品		總量目	純量目	平均量目	量目	公差	直徑
		法定	實際						
一〇〇	ペセタ貨 (アルフォン ス第十三世)	法定	九〇〇位	三・二二五八〇六	二・九〇三二二五四	三・二二二	一	0/100	三五
		實際	九〇〇位	一六・二九〇三	一四・五一六一二七	三・二二二	一	0/100	二八
二〇	ペセタ貨	法定	九〇〇位	六・四五六一	五・八〇七三四九	六・四四	二	0/100	二一
		實際	九〇〇位	三・二二五八〇	二・九〇三二二	三・二二〇	二	0/100	一九
一〇	ペセタ貨	法定	九〇〇位	一・六二二九〇	一・四五一六一	一・四五一六一	三	0/100	一七
		實際	九〇〇位	一・六二二九〇	一・四五一六一	一・四五一六一	三	0/100	一七

尙金貨トシテハ英國ソヴヱレン金貨ノ流通セルヲ見ル

其他ノ點ハ本章第二節佛蘭西及第六節羅匈貨幣同盟ヲ參照スヘシ

五、自由鑄造 造幣局ニテハ地金、イサベリ子<sup>ン</sup>、オンツアス、ツヱレン、ナボレオン等ヲ購入シ

純金一疋ニ對シ三四四四・四四ペセタヲ支拂フ、此外造幣局ハ地銀ヲモ購入ス、對價ハ純銀一疋

ニ對シ自國產ニシテ銀ノミヲ輸納スルトキハ二〇六ペセタトス但金塊ト共ニスル場合ニハ

二〇八ペセタナリトス

次ニ鑄造料ハ之ヲ徵セス但對價ハ輸納後十八日ニシテ支給セラル故ニ通常西班牙銀行ニ賣

却ス、此場合ニハ利息等ノ經費トシテ $\frac{1}{100}$ 及手数料トシテ $\frac{1}{100}$ ヲ控除セラル、モノトス

六補助貨幣 (1) 銀貨 五、二、一、 $\frac{1}{2}$ 及 $\frac{1}{4}$ ペセタ貨ノ五種アリ、次ノ如シ

種	類	總量目	品位	純量目	量目		直徑
					公	單	
五	ベセタ貨	二五〇〇〇	九〇〇位	二二五〇〇〇	三	二	三七
二	ベセタ貨	一〇〇〇〇〇		八三五〇〇	五	三	二七
一	ベセタ貨	六〇〇〇〇	八三五位	四一七五〇	五	三	二三
一	ベセタ貨	二五〇〇〇		二〇八七五	七	三	一八
一	ベセタ貨	一・二五〇〇		〇・八三五〇	一〇	三	一六

(2) 青銅貨 一〇・五、二及一センチイモ貨アリ、造幣材料ハ銅九五%、錫四%、亞鉛一%、同公差ハ銅一〇%、錫及亞鉛五%、總量目ハ一〇・五、二及一瓦同公差ハ前二者ハ一〇%、後二者ハ一五%、直徑ハ三〇・二五、二〇及一五耗トス

七、法貨 金貨及五ベセタ銀貨ハ無制限法貨其他ノ銀貨ハ五〇ベセタ迄青銅貨ハ五ベセタ迄法貨トシテ通用ス

八、補助貨ノ鑄造制限額及貿易貨幣 規定ナシ

九、舊單位 舊單位タルベソ(Peso) <「ピアスター」(Plaster) 又ハ「ダラー」(Dollar) ト呼稱セラレ一七一九世紀ニ於ケル重要貨幣ノ一ナリトス、「ベソ」(Peso de plata antiguo) ノ純量目ハ三七五・六四グラム(ニ四・三四一六八瓦)ニシテ北米合衆國弗貨ノ標準タリシモノナリ(本章第九節北米合衆國「ベソ」ハ「リアル」(Real) 又「シニエド」(Senedos) ニ分ツ然ルニ其後ツウロー貨(Duro)ナル單位ヲ定メタリ之ハ「重ベソ」(Peso fuerte, Duro)トシ「リ

ル」(30 Real de vellon)ニ分ツ其總量目ハ四九八・九〇グラム(三二・三二二八九三瓦)トス而シテ之ハ前記北米合衆國弗以外墨西哥弗及中央亞米利加諸國貨幣單位ノ前驅ヲ爲スモノトス

一〇、法定平價 第二節佛蘭西ノ部ヲ参照スヘシ(第九頁參照)唯爲替相場ニ現ハレタル打歩ニ就テ一言センニ一八七六年幣制改革以來同年十一月ニ佛國法貨ニ對シ「三四一八%」ノ打歩ヲ生シ、一八七八年ニハ「〇・七〇%」トナリ一八八一年代ニハ全然打歩ノ消滅ヲ見タリレカ「一八九一年十月ニハ四二・三九二%ニ上昇シ一九〇〇年以降ニハ次ノ如キ變遷ヲ示セリ(單位%)

年次	最高	最低	平均	年次	最高	最低	平均
一九〇一年	不詳	不詳	不詳	一九〇八年	一四八〇	一〇七〇	一二七五
一九〇二年	三九〇・五	三〇・七五	三三七四二五	一九〇九年	一一八五	六八〇	一〇〇九四
一九〇三年	三七・三〇	三〇・五〇	三四六〇	一九一〇年	八一〇	六五五	七一四
一九〇四年	三九・二〇	三三・	三七・	一九一一年			
一九〇五年	三三五〇	二五・八〇	三〇・五〇	一九一二年			
一九〇六年	二五四〇	五三五	一一・一三六	一九一三年			

第二、政府紙幣 ナシ

第三銀行券 西班牙銀行(Banca de España)發行ノ二五・五〇、一〇〇・五〇〇及一〇〇〇ベセタ券流通ス、而シテ現時同國ニハ金紙間ニ打歩アルヲ以テ茲ニハ一九一二年末ノ打歩六%ヲ標準トシテ

銀行券ノ實價ヲ算出セハ次ノ如シ

$$100 \text{ 紙幣 } \times \frac{100 \times 100}{106} = 9434 \text{ 金貨 } \times \frac{1}{100}$$

本銀行ノ名稱タル西班牙銀行ト稱スルハ一八五六年以來ノコト、ス、當初本銀行ハ一七八二年ニ創立セラレシ「サン、カルロス」銀行ヨリ變更(一八二九年)モシテ當初ハ Banco Español de San Fernando ト稱セシカ後イサペラ第二世銀行ト合併シテ現在ニ及ヒシナリ、資本金ハ一億五千万ベセタ(一八九六)ニシテ準備金ハ二千万ベセタトス

本店ハ「マドリッド」ニ在リテ支店ハ國內ニ六十箇所及倫敦、拉巴里ニ在リ

本銀行ハ一八七四年三月十九日ニ初メテ獨占的發券權ヲ取得シ一八九一年七月十四日之ヲ更新シテ一九二一年末ニ終了スルモノトス、其發券額ハ一八七四年法ニ於テハ資本金ノ十倍即チ一千五百万ベセタト定メタリシカ一八九八年之ヲ二千五百万ベセタニ増加シ更ニ其翌年二千五百万ベセタトナシタリ

其準備ニ關スル規定ヲ見ルニ

(1) 正貨準備 銀行券流通高ニ依リテ同シカラス即

十二億ベセタ迄

正貨準備但其内ニハ金準備

十二億ベセタ—十五億ベセタ

六〇%ノ正貨準備但内四〇%ノ金、二〇%ノ銀

十五億ベセタ—二十億ベセタ

七〇%以上ノ正貨準備但内五〇%ノ金、二〇%ノ銀

(2) 證券準備 正貨ヲ以テ準備セラレサル部分ニハ三箇月期限ノ手形及擔保貸付證券大藏省

證券及國債ヲ以テ準備スルヲ要ス

尙一九〇八年ニハ準備ニ關シテ改正案ノ同國議會ニ提出セララル、ヲ見タリ、但シ其成否ニ關シテハ詳細ノ材料ヲ有セス然レトモ左ニ其大要ヲ示サンニ改正案ニ於テハ(1)銀行券發行總額ヲ現今ノ儘据置キテ二千万ベセタトシ(2)正貨準備規定ヲ改メテ一千万ベセタ迄ハ正貨準備ヲ設置スヘシトシ(3)其以上ノ發行ヲ爲ス場合ニハ發行稅ヲ課スモノトシ其稅率ハ十億—十五億ベセタ間ニアリテハ二%、十五億ベセタ以上ノ場合ニハ四%トセリ(4)又準備金ハ二千万ベセタヨリ一億ベセタニ増加スヘク(5)更ニ銀行保有國債在高ヲ減少シ國庫ハ特別法ニ依ルニアラサレハ借上ヲ爲スヲ得サレモノトシ(6)最後ニ支店ヲ増設シ及手形交換業務ヲ開始スヘキモノトシタルナリ

(ロ) 勃牙利

第一 硬貨

- 一 現行法 一八八〇年五月二十七日
- 二 本位 兩本位制但其後金本位制ニ轉移シツ、アルモノトス
- 三 單位 レヴァ (Lewa, Lev.) 一レヴァ $\equiv$ 一〇〇ストテイ $\equiv$ インキ (Stotinki) レヴァノ價值ハ羅甸貨幣同盟ノ「フラン」ト同一トス、故ニ實際取引上ニハ「レヴァ」ヲ呼フニ法ヲ以テシ且「レヴァ」ト書ス
- 四 金貨 羅甸同盟ニ於ケル造幣率ニ從ヒテ一〇、二〇及一〇〇レヴァ貨ヲ鑄造ス、故ニ造幣率ハ

之ヲ再録セス、但シ公差ニ就キ量目公差ハ二%以下、品位ハ一%以下トス  
而シテ二〇レヴァ貨ハアレキサンダー貨又ハナボレオン貨ト稱ス

五、自由鑄造 同國ニハ造幣局ナシ、尙銀貨ハ聖彼得堡、ブラッセル、維納、クレムニツツ及パーミン  
ガム造幣局ニテ之ヲ鑄造ス

六、補助貨幣

- (1) 銀貨 之亦羅甸貨幣同盟ト同一造幣率ニ依リ五(造セシク)二、一及レヴァ貨ヲ鑄造ス
- (2) 白銅貨 二〇、一〇、五及二%ストティンキー貨、造幣材料ハ銅七五%、白銅二五%、同公差五%、  
總量目五、四及三瓦、同公差第一ハ一〇%、後二者ハ一五%、直徑ハ二一、一九及一七耗トス
- (3) 青銅貨 ニハ二及一ストティンキー貨アリ

七、法貨並ニ外國貨幣トノ法定換算率 各種貨幣ノ通用額ニ就テハ羅甸同盟ニ於ケル規定ト同  
シ、但シ同國ニテハ自國鑄造ノ金銀貨ノ流通ハ大ナラス、而シテ目下金貨ニ對シテハ打歩ノ存  
在スルヲ見ル、例ヘハ一九一〇年ニテハ最高一%、最低〇・二五%平均〇・六二五%ナルカ如シ  
次ニ外國金貨ハ一定率ヲ以テ國庫ニ於テ受理セラル、其法定換算率ハ次ノ如シ

一ツヴェレン貨	二五〇レヴァ	一土耳其磅	二二七〇レヴァ
二〇麻貨	二四五〇レヴァ	二土耳其磅	一一三五レヴァ
五〇土耳其磅	一一三五〇レヴァ	三土耳其磅	五五七レヴァ
二土耳其古磅	五六七五レヴァ	一埃太利ツウカーテン貨	一一六〇レヴァ

三留貨 <small>(一八八八—一八八九年鑄造ノ分)</small>	一一三〇レヴァ	一五留貨	四〇〇レヴァ
一〇留貨 <small>(一八八七—一八八八年鑄造ノ分)</small>	四〇〇レヴァ	一〇留貨 <small>(一八八七年以 降鑄造ノ分)</small>	二六〇レヴァ
五留貨 <small>(一八八七—一八八八年鑄造ノ分)</small>	二一〇レヴァ	七留貨	二〇〇レヴァ
		五留貨	一三〇レヴァ

第二、政府紙幣 ナシ

第三、銀行券 勃牙利國立銀行發行ノ二〇、五〇、一〇〇及五〇〇レヴァ券以上金貨兌換並ニ五及一

〇レヴァ券以上銀貨兌換ノ六種アリ

而シテ私人銀行ニ於テ金券ヲ兌換スル場合ニハ二〇レヴァ券ニ對シテ五—一五ストティンキー  
ノ打歩ヲ徴セラル

勃牙利國立銀行 (Banque nationale de Bulgarie) ハ官營銀行ニシテ一八七九年ノ創立ニ係ル

一九一一年法律ニヨレハ公稱資本金ハ二千万レヴァトシ、毎年ノ純益金ヲ以テ拂込ムヘキモノ  
トス一九一二年九月一日舊曆未拂込資本金ハ八、六二〇、〇〇〇レヴァナリトス、又同法ニ於テ一  
九一〇年末ニ六、八五八、三四五レヴァノ準備金ヲ一千万レヴァニ増加シ是亦毎年純益金ヲ以テ  
繰入ルヘキモノトス、尙別ニ固定債權償却基金ヲ創設シタリ

銀行本店ハソフィアニ在リ又支店ハ一九一二年末ニ一三箇所、出張所五九箇所アリ

銀行ハ上叙ノ如ク金、銀貨ヲ以テ兌換スヘキ兩種銀行券ヲ發行ス但シ大藏大臣ハ銀券ノ發行ヲ  
禁止シ及其一部又ハ全部ノ回收ヲ請求スルヲ得、金券ニ對シテハ其流通高ニ相當スル金貨ヲ、



銀券ニ對シテハ其流通高ノ $\frac{2}{3}$ ニ相當スル銀貨ヲ準備トシテ保有スルヲ要ス  
(ハ)羅馬尼亞

第一、硬貨

- 一、現行法 一八九〇年四月十四日
- 二、本位 一八九〇年以降金本位制但シ實際ハ跛行本位ナリトス  
初メ一八六七年四月十四日及一八七九年四月三十日ノ法律ヲ以テ羅馬貨幣同盟條約ノ規定ニ從ヒ兩本位制ヲ樹立セシモ其後一八九〇年ニ到リテ金本位制ニ轉移セシナリ
- 三、單位 レイ(Lai, 但單數 Lei) 一レイ $\parallel$ 一〇〇バニ(Bani) 單位ノ價值ハ法貨ト同一ナリトス
- 四、金貨 一八七六年以降二〇及一〇レイ貨ヲ鑄造ス、加之一九〇六年ニハ少數ノ一〇〇、五〇、二五、二〇及一二 $\frac{1}{2}$ レイ紀念貨ヲ鑄造シタリ、但シ貯藏セラレテ流通セス
- 五、自由鑄造 同國ニハ造幣局ナシ、多クブラッセル及漢堡ニ於テ鑄造セラレ
- 六、補助貨幣
  - (1) 銀貨 ニハ五、二、一及 $\frac{1}{2}$ レイ貨ノ四種アリ、其量目、品位ハ羅馬貨幣同盟ニ於ケル規定ト同シ
  - (2) 白銅貨 二〇、一〇及五バニ貨(造幣材料銅七五%、白銅二五%、總量日六、四及二、五)
  - (3) 青銅貨 一〇、五、二及一バニ貨(造幣材料銅九五%、錫四%、亞鉛一%、同公差七%、總量日一〇、五、二〇及一、五、二〇)
- 七、法貨及外國貨幣トノ法定換算率 銀貨ハ五〇レイ迄、白銅貨及青銅貨ハ五レイ迄法貨トシテ通用ス、但シ實際取引上銀貨ハ其額ニ制限ナク通用セリ、尙目下金貨ニ對シテハ打歩ナシ又外

國金貨ニ對スル國庫受入法定換算率ハ次ノ如シ

- 一 ナポレオン貨 二〇・一レイ
- 一 ツヴェレン貨 二五・二レイ
- 一 埃太利ヅウカーテン貨 一一・七五レイ
- 一 土耳古磅 二二・七〇レイ
- 二 〇麻金貨 二四・七〇レイ

第二、政府紙幣 ナシ

第三、銀行券

羅馬尼亞國立銀行發行ノ二〇、一〇〇及一〇〇〇レイ券アリ、但シ五〇〇レイ券ヲ發行スルヲ得又二〇レイ券ハ總流通高ノ三分ノ一ニ止マルヘシ、銀行券ハ官公署ニ於テ受領セラ(其流通高種別ニ就キテハ本參考書第二卷第四五九頁ヲ参照スヘシ)

羅馬尼亞國立銀行(Banca Natională a României)ハ一八八〇年創立セラレシ株式会社、ニシテ其公稱資本金ハ三千万レイ、拂込資本金ハ一千二百万レイトス、又準備金ハ一九一〇年末ニ三〇、〇三〇、三一〇レイニ達セリ

本店ハブカレストニ在リ、二十四箇所ノ支店及四箇所ノ副支店ヲ有ス

銀行券發行高ニ對シテハ次ノ準備ヲ有スヘシ

- (1) 四〇%ノ金貨準備但シ内閣ノ認可ヲ經テ之ヲ三三%迄下ラシムルコトヲ得、尙金貨準備中ニハ其三割(即總發行高ニ對スル一割二分)ヲ限リ英、佛、獨及白ノ諸國宛ノ第一級手形ヲ加算スルコトヲ得又銀

行券ニヨル政府貸上金ニ對シテハ準備ヲ保有スルヲ要セス

(2) 六〇%ノ證券準備 次ニ銀行券ハ自國貨幣及法定通用力ヲ有スル外國貨幣ヲ以テ兌換ス、而シテ其特權期限ハ一九三〇年末ヲ以テ滿了スヘシ

(ニ) 塞爾比亞

第一、硬貨

一、現行法 一八七八年十二月十一日

二、本位 金本位制

當初ハ佛國貨幣法ニ從ヒ兩本位制ヲ採リシカ後銀貨ヲ制限法貨トシテ事實上ノ金本位制ト成リシナリ

三、單位 デイナール (Dinar) 一デイナール 100 パラ 又ハサンチム (Para or Centimes) 單位ノ價值ハ法ト同シ

四、金貨 二〇及一〇デイナール貨ヲ鑄造ス、之ヲミラン及半ミラン (Milan & Half-Milan) 貨ト稱ス

五、自由鑄造 同國ニハ造幣局ナシ、金銀貨ハ維納及巴里ニテ、白銅貨ハ、パーミンガムニテ鑄造ス

六、補助貨幣

(1) 銀貨 五、二、一及三デイナール貨、佛國貨幣法ニ於ケルト同シ但シ五法銀貨ハ久シク鑄造セス

(2) 白銅貨 二〇、一〇及五バラ貨(造幣材料七五%、白銅二五%、同公差一〇%、總量日六、四及三瓦、同公差一〇%、一三及一五%、直徑二二、二〇及一七、七)

(3) 青銅貨 一〇、五、二及一バラ貨(銅九五、錫四、亞鉛一%、同公差第一、八一%、他ハ五%、直徑三〇、二五、二〇、一五、一〇、五)

七、法貨及外國貨幣トノ法定換算率 五法銀貨ハ五〇〇デイナール迄其他ノ銀貨ハ五〇デイナール迄、白銅貨ハ五デイナール、青銅貨ハ一デイナール迄法貨トシテ通用ス而シテ金貨ニ對シテハ多少ノ打歩ヲ存ス即一九一〇年中ニ二〇レイ金貨ニ對スル打歩ハ最高〇三サンチム、最低〇〇五サンチム、平均〇一五サンチムトス外國貨ニ對スル國庫受入法定換算率ハ次ノ如シ

- 二〇法貨及之ニ準スヘキ貨幣 二〇〇——デイナール
- 二〇麻金貨 二四・五〇デイナール
- 露西亞イムベリア貨 二〇・五〇デイナール
- 英吉利ソヴレン貨 二五——デイナール
- 土耳其メッドジディエ貨(一土耳其磅貨) 二二・二六〇デイナール

但取引界ニ於テハ日々ノ相場ニヨル

第二、政府紙幣 ナシ

第三、銀行券 塞爾比亞國立銀行發行ノ二〇及一〇〇デイナール券(金貨ニテ)竝ニ一〇〇及一〇〇〇デイナール券(銀貨ニテ)流通ス、本銀行券ハ官公署ニ於テ平價ヲ以テ受領ス

塞爾比亞國立銀行 (Banque Nationale Privilegiée du Royaume de Serbie) ハ一八八三年一月六日ノ法律ニ基キ創立セラレタル株式會社ニシテ其公稱資本金ハ二千万デイナールトス、其内應募株ハ半額ニシテ且其拂込額ハ七割五分トス、而シテ其殘部ハ一九一三年三月二十五日迄拂込ムヘキヲ以テ同日ニハ一千万デイナールノ拂込資本金ヲ有スヘキモノトス、次ニ準備金トシテ一九一〇

年末ニハ通常準備金二八九、四〇七、ダイナール、配當準備金一七〇、〇〇〇、ダイナールアリ  
本店ハ「ベルグラード」ニ在リ、現今支店ハ之ヲ有セス

法律上發行シ得ル銀行券ノ種類ハ次ノ如ク、各其表記正貨ヲ以テ兌換ス

金貨兌換ノモノ 二〇、五〇、一〇〇、五〇〇、及一〇〇〇、ダイナール券(内ニ〇券及一〇〇券ノミ發行)

銀貨兌換ノモノ 一〇、五〇及一〇〇、ダイナール券(内一〇券及一〇〇券ノミ發行)

而シテ銀券流通高ハ拂込資本金ノ五倍ヲ超過スルヲ得サルモノトス、但シ政府ノ認可ヲ經テ其十分ノ一ヲ限り發行スルヲ得此超過發行額ハ必要ナル狀況ノ消滅スルト共ニ直ニ回收スヘキモノトス

銀行券ニ對シテハ次ノ準備ヲ保有スヘシ

(1) 正貨準備

金券 ニ對シテハ四割ノ正貨準備ヲ保有スヘシ、但シ内三割ハ金貨ヲ以テ成立スヘシ

銀券 ニ對シテハ四割ノ正貨準備ヲ保有スヘシ、但シ之ハ金又ハ銀若クハ此兩者ヨリ成立ス

ヘシ尙一千万ダイナールヲ限り大藏省證券ヲ正貨準備中ニ加算スルヲ得ヘシ換言セハ大藏省證券割引ニ際シテハ前記制限額以内ニテハ無準備ニテ銀券ヲ發行スルヲ得ルモノトス

(2) 證券準備 正貨ヲ以テ準備セラレサル部分ニ對シテハ九十二日以内ニ滿期ト成リ且二人又ハ三人ノ署名アル商業手形、外國拂手形、證書、大藏省證券、九十二日以内ニ滿期ト成ル國債其他

國債ノ利札、竝ニ確定國債若クハ一定公債ヲ保有スヘシ

(ホ) モナコ 此國ハ佛國貨幣ヲ使用シ且別ニ同様ノ造幣率ニ基キ二〇及一〇〇法金貨ヲ鑄造ス  
但シ佛國ノ屬領ニ非ス

附言 ルクセンブルヒ大公國ノ貨幣單位ハ「フラン」ト稱スルモ其價值ハ麻貨ト同一ナリトス

戊土耳其

第一、硬貨

一、現行法 一八四四年法律、アブダル、メツドジイディエ皇帝時代ニ施行スル所トス

二、本位 金本位制、但當初ハ兩本位制ナリシカ、其後金本位ニ轉移セシナリ

三、單位 「ピアスター」(土耳其古)又「グルーシユ」(Türkische Piaster od. Gürsch)

一、土耳其ピアスター 四〇バラ (Paras) 又ハ一〇〇セント (Cents) 一バラ 三ピアスベル (Asper) 但シ大取引ニ於テハ土耳其磅ヲ以テ單位トス、一土耳其磅又ハ土耳其リラ (オスマン Osmanly Lirası, Lira) ハ一〇〇「ピアスター」トス

略稱 ピアスター (Pt)、土耳其磅 (Lira od. ₺)

四、金貨 五〇〇(五土耳其磅)、二五〇(二土耳其磅)、一〇〇(一土耳其磅)、五〇(一エリリック)及二五(一ミッシェル)ピアスター(グルーシユ)貨アリ、而シテ五〇〇ピアスター貨ハポイテル (Beutel) プール (Bourse) キス又ハケーセル (Kis od. Keser) ト稱シ、二五〇ピアスター貨ハ半ケーセル、一〇〇ピアスター貨ハ磅、リラ又ハメツドジイディエ金貨 (Gold Medjidie od. medschidie) ト稱ス、而シテ豫算ノ費目單位ハ「ポイテル」トス

種	目	五〇〇ピアスター貨 (五土耳其磅)	二五〇ピアスター貨 (二土耳其磅)	一〇〇ピアスター貨 (一土耳其磅)	五〇ピアスター貨 (一エリリック)	二五ピアスター貨 (一ミッシェル)
邦貨換算價格		四四・〇九九五〇九七三	二二・〇四九六八二〇	八・八一九九〇一九五	四・四〇九八八四三一	二・二〇四九四二一五

種目	品位	直徑	通用最輕量目		公差	千箇ノ平均總量目	一箇ノ純量目	純金一冠ヨリ鑄造シ得ル箇數	一箇ノ總量目	造幣金一オカ(一・二八二九冠)ヨリ鑄造シ得ル箇數
			量目	割合						
五〇ピアスター貨 (五土耳其古鎊)	九一六 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> 位	三五〇	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	三三〇・七四五瓦	三六〇・八一五瓦	三〇・二三三箇	三八・七八九箇	九一六 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> 位
二五ピアスター貨 (二土耳其古鎊)	九一六 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> 位	二七 <sup>2</sup> / <sub>3</sub>	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	一六・五三七二瓦	一八〇・四〇七瓦	六〇・四六八箇	七七・五七八箇	九一六 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> 位
一〇ピアスター貨 (一土耳其古鎊)	九一六 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> 位	二二 <sup>2</sup> / <sub>3</sub>	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	六・六一四九瓦	七二・一六三瓦	一五・一七一五箇	一九三・九四五箇	九一六 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> 位
五〇ピアスター貨 (エリリク)	九一六 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> 位	一八〇	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	三・三〇七四瓦	三・六〇八一瓦	三〇・二三三箇	三八・七八九箇	九一六 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> 位
二五ピアスター貨 (ミツシル)	九一六 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> 位	一四 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	一・六五三七瓦	一・八〇四一瓦	六〇・四六八箇	七七・五七八箇	九一六 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> 位

而シテ新金貨ハ舊金貨ニ比シ八<sup>0</sup>/<sub>100</sub>輕量トス

五、自由鑄造 造幣局ハ地金ニ對シテハ純金一ドラクマ(一六カラット)ニ三・二〇七三六二五瓦ニ對シ四八・四八四八ピアスター(此ハ鑄造料ヲ控テ支拂フ)又外國金貨ハ次ノ價格ニテ購入ス

英國ツヴェレン貨 九一六<sup>2</sup>/<sub>3</sub>位 購入價格 四四・一ピアスター

種目	品位	總量目	純量目	公差	直徑
露國ニイムベリアル貨	九一六 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> 位	四四・一	四四・一	ピアスター	三・七
ナポレオン金貨(二〇法貨)	九〇〇位	四三・〇	四三・〇	ピアスター	二・七
獨國二〇麻金貨	九〇〇位	四三・〇	四三・〇	ピアスター	二・七
鑄造料ハ次ノ如シ					
五〇、〇〇〇土耳其磅迄	一%				
一〇〇、〇〇〇土耳其磅迄	三 <sup>0</sup> / <sub>100</sub> %				
一〇〇、〇〇〇土耳其磅以上	三 <sup>8</sup> / <sub>100</sub> %				
六補助貨幣					
(1) 銀貨 次ノ六種アリ					
二〇ピアスター貨	即一イルミリック	七・五〇〇	二四・〇五五二	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	三・七
一〇ピアスター貨	即一オニリック	三・七五〇	一二・〇二七六	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	二・七
五ピアスター貨	即一オニリック	一・八七五	六・〇一三八	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	二・四
二ピアスター貨	即一キルク、バラ	〇・七五〇	二・四〇五五	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	一・八
一ピアスター貨	即一キルク、バラ	〇・三七五	一・二〇二八	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	一・五
二ピアスター貨	即一イルミ、バラ	〇・一八七五	〇・六〇一四	二 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	一・三

但シ各地方ニテハメタリック(Metalliques)ト稱スル輕量ナル一〇〇、一〇〇、五〇、二〇及一〇バ

ラ貨アリ

(2) 白銅貨 一九一〇年以降四〇、二〇、一〇及五バラ貨アリ (Sechoda: Die Arbitrage, Berlin 1913, S. 631, 4 依り)

(3) 銅貨 一〇及五バラ貨アリ但流通額大ナラス (純銅二〇〇四六及一〇〇二三五純差ハ品位五%量日三%直徑一八毫米一五純トス)

七法貨 土耳其ニ於テハ多額ノ外國貨幣ノ流通セルヲ見ル殊ニ英佛金貨及露イムベリアル貨ヲ最トシ稀ニ塊太利ヅウカーテン貨ノ流通ヲモ見ルモノナリ何レモ爲替相場ニヨリテ授受スルモノニシテ大略次ノ如シ

- 一ツヴェレン貨 一〇九 $\frac{7}{10}$ 金ピアスター 但小取引ニテハ 一二〇銀ピアスター
- 一ナボレオン貨 八七 $\frac{7}{10}$ 金ピアスター 但小取引ニテハ 九五銀ピアスター
- 三イムベリアル貨 八九金ピアスター 但平價八七七 $\frac{7}{10}$ ピアスター以上ニ流通セルモノトス

一 塊太利ヅウカーテン貨 五二・〇三金ピアスター以下ニ於テ

又英佛獨塊露其他諸國ノ銀行券モ流通セリ其價格亦日々ノ爲替相場ニ依レ

次ニ銀貨ノ輸入ハ之ヲ禁止セリ

八 補助貨ノ鑄造分頭額 規定ナシ

九 貿易貨幣 ナシ

一〇 舊單位

一一 法定平價 (此部分ニ限り貨幣單位ハ比ヲ以テ示ス)

國名(單位)	土耳其金貨ニ對スル外國貨幣	外國金貨ニ對スル土耳其金貨	主タル金貨ニ對シ
日 本(圓)	八八・一九九〇(一九零六年七月五日)	一一三・三七九四(一九零六年六月九日)	二〇圓貨 二・三六七五(一九零九年五月)
英 吉 利(磅)	〇・九〇三三八(一九零七年七月)	一〇六・六九五三(一九零八年六月)	一ツヴェレン貨 一・〇〇九五(一九零九年)
佛 蘭 西(法)	〇・五八七〇八一(一九零八年七月)	四三・八八九一(一九零八年六月)	二〇法貨 八七七・八三三七(一九零九年)
獨 逸(馬)	二・二七八四六六(一九零八年七月)	四三・八八九一(一九零八年六月)	二〇法貨 八七七・八三三七(一九零九年)
露 西 亞(留)	一・八四九五五七(一九零八年七月)	五四・一八四一(一九零八年六月)	二〇法貨 一〇八・三六八三(一九零九年)
塊太利匈牙利(冠)	八・五四三七九(一九零八年七月)	一一七・〇四四〇(一九零八年六月)	一イムベリアル貨 一七五・五六六〇(一九零九年)
和 蘭(富)	二・二六九八七九(一九零八年七月)	四六・〇八九八(一九零八年六月)	二〇冠貨 九・七九一七(一九零九年)
スカンディナヴィア(冠)	一・〇九三三三三(一九零八年七月)	九一・九九九三(一九零八年六月)	一〇富貨 九・四九九五(一九零九年)
北米合衆國(弗)	一六・四〇四九(一九零八年七月)	四〇・〇一二三(一九零八年七月)	一〇富貨 六〇・九七二〇(一九零九年)
埃 及(埃及磅)	四三・九六二五(一九零八年七月)	一〇・九九〇六(一九零八年七月)	二七四・六六一(一九零八年七月)
	〇・八八九三(一九零八年七月)	〇・二二三九(一九零八年七月)	一一・四三五六(一九零八年七月)

第二 政府紙幣 ナシ

第三 銀行券

土耳其帝國銀行發行ノ五、二、一〇及一〇〇土耳其磅券流通ス

土耳其帝國銀行 (Banque Impériale Ottomane) ハ一八六三年二月四日土耳其政府ト英佛資本家トノ協約ニ基キテ創設セラレシモノトス、但シ其前身ハ素一八五六年倫敦ニ於テ「オットマン」銀行ナル名稱ヲ以テ設立セラレシモノナリキ其資本金ハ五十万磅、主タル營業所ヲ君士坦丁堡ニ置キタリ

抑、土耳其ニ於テ始メテ銀行券ヲ發行シタルハ一八三九年ナリトス、然ルニ其發行額巨額ニ達シ市場ヲ攪亂シタリキ、然ルニ偶、一八四五年君士坦丁堡銀行創立セラレシヲ以テ政府ハ之ニ補助金ヲ給シ紙幣ノ引上、相場ノ調節ヲ司掌セシメシカ、一八五二年ニ閉店シ爾後中央銀行ノ地位ヲ有スルモノナカリキ

一八六三年土國政府ハ同年有力ナル土國銀行ノ破綻ニ次テ生起シタル大恐慌ニ鑑ミ英佛資本家ト協同シ、オットマン銀行ニ依リテ中央銀行ヲ設立セントシ先ツ資本家ノ希望ヲ容レテ既發行券全部ノ引上ヲ企圖シ之レカ爲メ二億法ノ公債ヲ起シ紙幣一〇〇對貨幣四〇竝ニ紙幣一〇〇對公債五〇ノ割合ヲ以テ其銷却ヲ了シ茲ニ土耳其帝國銀行ノ設立ヲ見ルニ到リシナリ  
土耳其帝國銀行ノ公稱資本金ハ當初二百七十七萬磅ナリシカ、一八七三年埃土銀行ヲ合併シ一八七五年二月十七日ノ協約ヲ以テ之ヲ一千万磅(一、〇〇〇、〇〇〇)ニ土耳其磅又ハ二五〇、〇〇〇、〇〇〇法ニ改メタリ但シ其拂込資本金ハ五百萬磅ナリトス、本店ヲ君士坦丁堡ガフタニ置キ支店ヲスタンブール、其他一九一二年六月末八〇箇所(内埃及ニ六箇所、サイプロスニ四箇所、アルバニアニ一箇所)、並ニペラニ事務所、倫敦及巴里ニ代理店ヲ置ケリ、銀行券ニ對シテハ $\frac{3}{5}$ ノ正貨準備ヲ保有シ及金貨ヲ以テ兌換ス但シ兌換義務ハ君士坦丁堡本店ニ限ル、一九一二年六月末ニ於テ其流通高ハ一、一九一、二三五土耳其磅トス  
特權繼續期間ハ初メハ三十年ナリシカ、一八七五年ニ之ヲ五十年トシ、一八九六年更ニ二十二年ヲ延長セリ即一九三七年ニ終了スルモノトス

己、ルクセンブルヒ

第一、硬貨

- 一、單位 單位ハ「フラン」ト稱スルモ獨逸ノ「マルク」ト同價值ナリトス
  - 二、各種貨幣 同國鑄造貨幣ハ一〇及五サンチム、白銅貨竝ニ二及一サンチム、青銅貨トス故ニ金銀貨トシテハ外國貨幣ノミ流通スルノミニシテ就中羅甸貨幣同盟諸國及獨逸國貨幣ヲ主タルモノトス、目下同國政府ハ二、一及 $\frac{2}{3}$ 法銀貨ノ鑄造ヲ計畫セリ
- 第二、銀行券 ルクセンブルヒ國際銀行(Banque Internationale de Luxembourg)發行ノ二〇及五〇麻券流通ス、同銀行ノ資本金ハ二千万法郎獨貨二千万麻又ハ佛貨二千五百万法トス

庚、モンテネグロ

一、現行法 一九一〇年十二月四日及一九一一年十二月二十三日ノ兩貨幣法

二、單位 ベルバー (Perper) 一ベルバー = 一〇〇パラ (Para)

一ベルバーノ總量目ハ〇・三三八七五瓦ニシテ品位九〇〇位ナルヲ以テ其純量目ハ〇・三二〇四八七五瓦ナリ、故ニ邦貨換算價格ハ四〇錢六厘五〇一・六二六〇〇六五〇四トス

三、造幣率 各種貨幣造幣率ハ次ノ如シ

種類	總量目	品位	純量目	公差		直徑
				量	日	
金貨	一〇〇ベルバー貨	九〇〇位	三〇・四八七八	二	0/100	三七
	二〇ベルバー貨	九〇〇位	六〇・九七五	二	0/100	二一
	一〇ベルバー貨	九〇〇位	三〇・四八八	二	0/100	一九
	五ベルバー貨	九〇〇位	二一・六〇〇	一	0/100	三六
銀貨	二ベルバー貨	八三五位	八・三五〇	一	0/100	二七
	一ベルバー貨	八三五位	四・一七五	一	0/100	二三
白銅貨	二〇パラ貨					二一
	一〇パラ貨					一九
青銅貨	二パラ貨	九五位銅 四位錫				一九
	一パラ貨	一位亞鉛				一七



第八節 亞細亞諸國

序說 本節ニ於テハ左記ノ亞細亞諸國ノ幣制ヲ概説セントス

甲 英領亞細亞各地方 英領印度、亞丁、錫蘭、海峽殖民地及レプアン、香港、馬來聯邦、馬來保護領、

英領北ボルネオ州、サラウワーク、サイプラス……………次 頁

乙 波斯……………二八一頁

丙 北米合衆國領比律賓……………二八七頁

丁 暹羅……………二九一頁

戊 佛領印度……………三〇一頁

己 蘭領印度……………三〇三頁

而シテ支那ニ於テハ未タ幣制ノ確立セサルト民間ニ於テモ其事情ノ研究セラレタルモノナシトセサルニ依リ本節ニ於テハ之ヲ收録セス

甲 英領亞細亞各地方

英領印度以外ノ各地方ニ關シテハ第一節英吉利第八四頁ニ於テ概説ヲ爲シタルヲ以テ就キテ参照スヘシ

(イ) 英領印度附英領ベルチスタン及緬甸

第一、硬貨

一、現行法 現行法及其略稱ハ次ノ如シ

一九〇六年三月二日印度貨幣法(法律第一八七〇號)法ヲ以テ其略稱トス、施行區域ハ全英領印度、ベルチスタン、サントール、バルガナス及バルガナ、オプス、ビーチトス、本法ハ一八七〇年九月六日印度貨幣法(法律第一八七〇號)並ニ一八九三年印度貨幣及紙幣法(法律第一八九三號)及一八九九年同名ノ法律(法律第一八九九號)中貨幣ニ關スル規定ヲ廢止シタリ、法、二四及附表

一八七六年三月二十八日英領印度地方鑄造貨幣法(法律第一八七六號)尙紙幣ニ關シテ數種ノ法律アリ其名稱及略稱ニ就テハ第二政府紙幣ノ部ヲ參照スヘシ

又貨幣ニ關スル命令トシテ次ノ數種アリ

一八七〇年十二月十二日布告第三七六四號、ダブル、モフール貨鑄造廢止ノ件  
一八七七年十二月七日布告第二四六六號一八三五年九月一日以前鑄造銀貨ノ通用ヲ禁止スル件

一八九三年六月二十六日布告第二六六二—六四號(a)十六片<sup>ナイビー</sup>一留比ノ割合ヲ以テ留比貨ト引換フルカ爲メニ印度造幣局ニ於テ金受入ノ件(b)公課收納ニ際シツヴレン貨及半ツヴレン貨ヲ十五留比及七<sup>ナイビー</sup>留比ノ割合ヲ以テ之ヲ受理スル件(c)一留比<sup>ナイビー</sup>十六片又ハ一磅<sup>ナイビー</sup>十五留比ノ割合ヲ以テツヴレン又ハ地金ニ對シ紙幣ヲ發行スル件

一八九七年九月十一日布告第四〇七一號、カルカッタ、マドラス、ボンベイ及フングーン準備金庫ニ於テツヴレン貨及半ツヴレン貨受理ノ件

二本位 一八九九年九月十五日以降金爲替本位制

然レトモ一八三五年八月三十一日以降一八九三年六月二十六日迄ハ銀本位制ニシテ此ノ間ニ於テ金ハ一般ニ廣ク貨幣ノ職能ヲ爲シ及往々公定通用率ヲ定メタルコトアリシモ要スルニ商品タリシナリ、而シテ此制度ハ東印度會社ノ創設セシ所ニシテ一八五八年英國政府カ東印度會社ニ代リテ印度ヲ支配セシトキ及其以降モ依然其效力ヲ有シ、一八七〇、法ヲ以テ之ヲ確認セシナリ、而シテ前記一八九三年六月以降一八九九年九月迄ハ銀貨ヲ以テ價值ノ單位トナシタリシモ其ノ自由鑄造ヲ認メサリシナリ

三、單位 留比(Rupree) 一留比<sup>ナイビー</sup>一六安ナス(Annas) 六四バイス(Pice) 一九一<sup>ナイビー</sup>マイ(Pie)

一 アンナ 四バイス、一バイス 三バイス  
但尙他ニ別ノ計算單位アリ

Rx = 100 留比

ラック (Lakh, Lac) 一〇〇、〇〇〇 留比、之ヲ一、〇〇、〇〇〇 ト書ス

アレブ (Arab) 二五ラック 二五〇〇、〇〇〇 留比

クロール (Crore) 一〇〇ラック 一〇、〇〇〇、〇〇〇 留比、之ヲ一、〇〇、〇〇〇、〇〇〇 ト書ス

而シテ英國ノツヴレン貨ニ對スル法定比率ハ十五留比ナルヲ以テ一留比ノ價值ハ品位九一六・六位ノ造幣金八・二一八二九八グレイン(〇・五三二五三六<sup>ナイビー</sup>瓦)又ハ純金七・五三三四三九<sup>ナイビー</sup>グレイン(〇・四八八一五八六一<sup>ナイビー</sup>瓦)ニ相當スルモノトス、從テ邦貨換算價格ハ六五錢〇厘八八

〇七五、〇七八、五六〇ナリ而シテ又別ニ本位銀貨アリ一八三五年以降品位九一六、六位、總量目一八〇グレイン、純量目一六五グレイン(一〇六九二瓦ヲ以テ一留比トス、留比貨ハ初メハ會社留比(即東印度會社留)ト稱セシモ一八六二年ニ到リ政府留比(Government Rupee)ト改稱セリ

四、金貨

(甲)種類 「一八七〇、法、四」ニ於テ初メテ「ダブル、モフール」(三〇留比貨(Double Gold Mohur)「モフール」(一五留比)(Gold Mohur)貨)「モフール」(一〇留比貨)「モフール」(五留比)「孟買モフール」金貨鑄造ヲ認メタリ、然ルニ一八七〇年十二月十七日布告第三七六四號ハ「ダブル、モフール」貨ノ鑄造ヲ廢止シ、同日以後地金輸納者ハ一五、一又ハ五留比貨ヲ受クル事ヲ得ルモノトセリ、但シ一切ノモフール金貨ヲ鑄造セス(瓦ニ換算スルニハ一グレインニ依ル)

種類	品位	總量		純量		邦貨換算價格
		グレイン	瓦	グレイン	瓦	
ダブル、モフール(三〇留比)	三六〇	二二三・二七六二二	三三〇	二一三八三六五三二	八・五二〇五	四・七五二〇一
モフール(一五留比)	一八〇(半)	一一・六六三八一	一六五	一〇・六九一八二六八	四・二五五八二六〇	九・五〇三八八四〇
モフール(一〇留比)	一二〇	七・七七五八七四	一一〇	七・二七八八四五	三・五三九四二二	四・七五二〇一
モフール(五留比)	六〇	三・八八七九三七	五五	三・五六三九四二二		

而シテ公差ハ量目及純分トモ二%トス、「一八七〇、法、五」(注意印ハ表中四捨ヲ意味ス)又無制限法貨タルツヴェレン貨ノ品位量目ハ次ノ如シ

種類	品位	總量		純量		邦貨換算價格
		グレイン	瓦	グレイン	瓦	
ツヴェレン貨(一五留比)	九一六 <sup>2/3</sup> 位	一二三・二七四四七	七・九八八〇五	一一三・〇〇一六〇	七・三二二三七九一六	九・七六三二一一二七
半ツヴェレン貨(七 <sup>2/3</sup> 留比)	六一六 <sup>2/3</sup> 位	六一・六三七二三	三・九九四〇二	五六五〇〇七九	三・六六一一八九五八	四・八八一六〇五六三

品位ハ最初「ベンガル」ニ於テハ九九二・五位ナリシカ一八一八年ノ法律ハ之ヲ改メテ<sup>2/3</sup>位トセシモ實際ニ行ハレス次テ一八三五年ニ到リテ品位ハ之ヲ<sup>2/3</sup>位ト定ムルト共ニ爾後金貨ハ法貨タラサルモノトセリ

(乙)爲替資金 留比貨ノ價值ヲ確保センカ爲メニ留比貨鑄造ヨリ生スル利益金ヲ以テ金準備トシテ爲替資金ヲ設ク、然レトモ之ハ地金ヲ以テ印度ニ於テ保有セス、英國ノ「コンソル」ニ放資シテ英國ニ置クモノトス

(丙)英磅ノ通用力 ツヴェレン及半ツヴェレン貨ハ一五留比及七<sup>2/3</sup>留比ノ割合ヲ以テ一切ノ支拂ニ法貨トシテ通用ス其根據法ハ次ノ如シ

一八九三年六月二十六日布告第二六六三號ハ英國又ハ濠洲ニ於テ鑄造セラレタルツヴェレン及半ツヴェレン貨ニシテ完全ニ法定量目ヲ有スルトキハ公課納入ニ際シ次ノ割合ヲ以テ受理スルモノトセリ「法、一一」

ツヴェレン貨 一五留比 但一二・二五グレイン以上(即法定量目ヨリ〇・七七ノ量目ヲ有ス)

半ツヴェレン貨 七 $\frac{7}{10}$ 留比 但六一・二五グレイン以上(即法定量目ヨリ〇・五一 $\frac{1}{2}$ )ノ量目ヲ有スヘシ

之レ蓋シ金本位制樹立ニ到ル迄ノ過渡的便法トシテ採用セルモノトス

而シテ一八九七年九月十一日布告第四〇七一號ハ「カルカッタ」マドラス「ボンベイ」(上記ノ所ニ以テ)及「ラングーン」準備金庫ニ於テ上記英貨ヲ受理スルヲ得ト定メタリ次テ「一八九九法」二 $\frac{1}{2}$ 「一八七〇法」二 $\frac{1}{2}$ ヲ改メテ英國ニ於ケル王立造幣局又ハ勅令ニ基キ王立造幣支局ト定メタル所ニテ鑄造セル前記ツヴェレン及半ツヴェレン貨ハ回收セラレス又ハ通用最輕量目以上ヲ保有スルトキハ一切ノ支拂ニ於テ前記ノ割合ヲ以テ法貨トシテ使用スルモノトセリ」尙一八六八年十月二十八日布告第三二八七號ハツヴェレン貨及半ツヴェレン貨ハ一〇留比四アンナ竝ニ五留比二アンナニテ受理スルモノト定メシカ實行セラレスシテ止ミタリキ

五、自由鑄造 金貨ノ自由鑄造ハ一八三五年法律第一七號ヲ初メ「一八七〇法」ニ於テ認メシモ「一八九三法」ハ此規定ヲ廢止シテ今ハ之ヲ認メス但シ「一八九三年六月二十六日」ノ布告第二六六二號ハ造幣局(孟買所在)ニ對シ標準品位ヲ有スル貨幣及地金ヲ提供スルトキハ七五三三四四グレイン $\frac{1}{10}$ 一留比即十六片ノ割合ヲ以テ留比貨ヲ交付スヘシ一 $\frac{1}{2}$ %ノ鑄造料ヲ徴ス然レトモ政府ハ留比貨ヲ金貨ニテ兌換スルノ義務ヲ有セス但政府ハ紙幣ニ對スル金準備カ五百万磅ニ達スル迄ハ任意之ヲ行フモノトス又銀貨ノ自由鑄造亦金貨ニ於ケルト同シク之ヲ許可セス但シ香港及海峽殖民地ニ於ケル流通ニ供スルカ爲メ英弗ヲ鑄造スル場合ハ此限ニ在ラ

ス「一八九五年五月二十五日」布告第二四五七號尙「ホパール」留比貨(一〇〇 $\frac{1}{10}$ 英留比 $\frac{1}{10}$ ニ於テ)及「カシユミール」留比(五九 $\frac{1}{10}$ 英留比 $\frac{1}{10}$ 一〇〇 $\frac{1}{10}$ チルキ留比及四七 $\frac{1}{10}$ ヲ英留比貨ニ改鑄スル爲メニ輪納スル場合亦此限ニ在ラス

次ニ造幣局ハ印度産金ニ對シテハ七五三三四四グレインヲ一留比ノ割合ヲ以テ購入ス仍テ

標準金塊 一オンス 五八・四〇六 $\frac{1}{10}$ 留比  
純金一坵 二〇・四八五一二 留比

六、銀貨 鑄造スル銀貨ハ一留比(一六アンナ)半留比(八アンナ)留比(四アンナ)及 $\frac{1}{8}$ 留比(二アンナ)貨ノ四種トス「法四」「一八七〇法」「一留比貨」ハ當初會社留比(Company's Rupee)ト稱セラレシカ一八六二年法律第一三號ニヨリ政府留比(Government Rupee)ト改稱セラレ「法四」「一八七〇法」「六」其品位及量目ハ「一八七〇法」「七」ノ定ムル所ニシテ「一八三五年法律第一七號」ノ規定ト同様ナリ次ノ如シ「法五」

品 種	純 量 目	總 量 目	種 類	一 留 比 銀 貨	半 留 比 銀 貨	$\frac{1}{4}$ 留 比 銀 貨	$\frac{1}{8}$ 留 比 銀 貨
品 種			一 留 比 銀 貨	二 $\frac{1}{3}$ 即九一六 $\frac{2}{3}$ 位	二 $\frac{1}{3}$ 即九一六 $\frac{2}{3}$ 位	二 $\frac{1}{3}$ 即九一六 $\frac{2}{3}$ 位	二 $\frac{1}{3}$ 即九一六 $\frac{2}{3}$ 位
總 量 目		一八〇 $\frac{1}{10}$ グレイン(一六六四瓦)	半 留 比 銀 貨	九〇 $\frac{1}{10}$ グレイン(五八三二瓦)	四五 $\frac{1}{10}$ グレイン(二九一六瓦)	二二 $\frac{1}{10}$ グレイン(一四五八瓦)	二〇 $\frac{1}{10}$ グレイン
純 量 目		(即一トール) 一六五 $\frac{1}{10}$ グレイン	$\frac{1}{4}$ 留 比 銀 貨	八二 $\frac{1}{10}$ グレイン	四一 $\frac{1}{10}$ グレイン	二〇 $\frac{1}{10}$ グレイン	

種類	參和		公法	通用最輕量目	直徑
	純量目	差分量目			
一留比銀貨	一五 <sup>9</sup> / <sub>100</sub> グレイン	五 <sup>9</sup> / <sub>100</sub>	無制限	減量カ二%以下ニシテ但盜刷セラレサルコト	三〇純總督之ヲ定ム「法、一〇」
半留比銀貨	七 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> グレイン	五 <sup>9</sup> / <sub>100</sub>	無制限	一留比貨ニ於ケルト同シ	二四純
不 <sup>レ</sup> 留比銀貨	三 <sup>3</sup> / <sub>4</sub> グレイン	七 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	一留比迄	適法ナル磨損ノミニシテ盜刷セラレサルコト	一九純
不 <sup>レ</sup> 留比銀貨	一 <sup>7</sup> / <sub>8</sub> グレイン	一〇 <sup>0</sup> / <sub>100</sub>	一留比迄	適法ナル磨損	一五純

此他西班牙ピアスター銀貨及北米合衆國銀貨流通セリ

印度留比銀貨ハ亞細亞及阿弗利加ノ一部ニ流通スル貨幣ニシテ其流通範圍ハ世界ニ於テ最大ナルモノトス、而シテ一留比銀貨ハ「トロイ、オンス」即一八〇グレインノ量目ヲ有スルモノニシテ此ハ印度ニ於ケル貨幣量目單位一ト「ラ」(Tola)ニ該當スルモノトス  
 今留比貨ニ就キ少シク沿革ヲ示サンニ留比貨ハ「シエル、シヤ」ト稱スル「ルピアム」銀貨(Rupyam)ニ其淵源ヲ發ス、同銀貨ハ一五四二年ニ初メテ鑄造セラレシモノニシテ量目ハ英量一七六グレイントス(固有量目ハ百<sup>0</sup>/<sub>100</sub>之ニ基キテ一六七七年ニ孟買地方ニ於テ英吉利留比貨製造セラレタリ、其量目ハ一六七八グレイントス、此貨幣ハ一七五八年同地方カ英國ノ管轄ニ屬シタル以後ハ大ニ流通セシモノニシテ三種ノ形式ヲ有ス即次ノ如シ  
 「ベンガル」ニ於ケル「シッカ」留比貨(Sikka) 總量目一八〇グレイン、純量目一七六グレインニシ

テ一八三八年一月一日以降法貨タラサルモノトス

孟買ニ於ケル「シユラット」留比貨(Surat) 此ハ略英吉利留比貨ト同一ナリトス、後一八〇一年

ニ孟買ニテ鑄造セシ新留比貨ハ總量目一七九グレイン、純量目一六五グレイントス、然ル

ニ一八二四年ニ到リ孟買ハ「マドラス」ノ幣制ヲ採用セリ

「マドラス」ニ於ケル「アルコット」留比貨(Arcot) ハ初メ純量目一六六・四七七グレインヲ有セシ

ヲ一八〇六年本國政府ハ「マドラス」ニ於ケル本位貨幣タル銀貨ハ總量目一八〇グレイン、

純量目一六五グレイン、品位<sup>3</sup>/<sub>16</sub>位ト定メ一八一八年一月七日ヨリ之ヲ施行セリ

上記「マドラス」ノ「アルコット」留比貨ハ一八三五年ニ到リ東印度商會カ其本位銀貨トシテ採用シ

タル會社留比貨ノ先縱ヲ爲スモノトス

而シテ一八三五年八月末日ニハ留比銀貨ノ唯一ノ法貨ニシテ其ノ種類ハ「イボンベ」留比

(ロ)マドラス留比、(ハ)マドラス「シッカ」留比ノ外、(ニ)「ファルグ」ハバド留比、(ホ)「ナート」留比等アリシカ

一八三五年法律第一七號(九月一日施行)ハ「前敍」ノ品位及量目ヲ有スル會社留比(東印度會社)ノ鑄

造ヲ定ムルト共ニ會社留比ハ前記(イ)(ロ)ニ及(ホ)留比ト同價値ニシテ(ハ)「シッカ」留比ノ「元」ナルモノ

ト定メタリ

然ルニ一八三六年法律(第三號)ハ「シッカ」留比ハ地方稅納付以外ハ法貨タラサルモノトシ改鑄ノ

爲メ一%ノ手数料ヲ徵シテ受理シ次テ一八三八年布告(三月二十一日)ハ前記(イ)(ロ)及(ニ)留比及

英國造幣局發行ノ留比ヲ回收シ「カルカッタ」造幣局ニ於テ受理スルモノトセリ但此場合ニハ改

鑄料ヲ微セサリキ

一八七〇法ハ一切前法ノ規定ヲ承繼シ且前法竝ニ本法ニ基キテ鑄造セル銀貨ハ流通上法定  
量目ノ二%ヲ磨損スル迄法貨タルモノトセリ而シテ二%以上磨損セルトキモ正當ノ理由ニ  
ヨルトキハ國庫ハ表面價格ニテ之ヲ受理シテ改鑄スヘシ

次テ一八七七年十二月七日布告第二四六六號ハ一八七八年六月一日以降ニ於テハ一八三五  
年九月一日以前鑄造ノ銀貨ハ法貨タラスシテ國庫ハ一ト一ラ(一八〇グレイン)一六六三  
一留比銀貨ノ總量(每一留比ノ割合ヲ以テ受理スヘシト定メタリ  
目ト同量ナリトス)每一留比ノ割合ヲ以テ受理スヘシト定メタリ

又前記(四アンナ)及(二アンナ)銀貨ハ適當ナル理由ニヨリ減量スルモ依然通用カヲ有ス從  
テ不當ノ理由ニヨリ減量スルトキハ地銀トシテ取扱ハルヘシ

七、小貨 白銅貨、銅貨及青銅貨ノ三種アリ

白銅貨、一アンナ貨、總量目六〇グレイン(三・八八八瓦)量目公差ハ $\frac{1}{8}$ 以下トシ直徑ハ總督ノ定ム  
ル所ニヨル法、六、七、一〇ノ一、一九〇八年八月一日以降新貨ヲ鑄造ス、一留比迄法貨トス

銅貨及青銅貨ハ一留比迄法貨トシテ通用シ總量目ハ次表ノ如ク直徑ハ總督之ヲ定ム法、一〇  
ノ一

種 類	銅貨總量目		直 徑		銅 貨		量 目 公 差
	一八七〇法、八九 グレイン 二〇〇	一八七〇法、八九 グレイン 二〇〇	青	銅	法、八、九	量 目 公 差	
白銅貨	一〇〇	二五四〇耗	七五 (四・八六〇瓦)				二五 $\frac{1}{100}$
銅貨	五〇	二一・二五耗	三七 $\frac{1}{2}$ (二・四三〇瓦)				
青銅貨	三三 $\frac{1}{3}$	一七・四五耗	二五 (一・六二〇瓦)				

右ノ中銅貨ハ法、二四ニ於テハ同法通過當時鑄造進行中ノモノニ限り鑄造ヲ續行シ且流通セ  
シムルモノトス、又銅貨ノ量目ヲ規定スル一八七〇法、九ハ一八三五年法律ヲ繼承セルモノト  
ス、尙其公差(量目)ハ四〇分ノ一以下トス

又各地方 (Native States) 即英國皇帝ノ保護又ハ監督ニ屬シ若クハ印度政府カ共至高權ヲ保持  
セルモノト認ムル州ニ對シテ鑄造セラレタル貨幣ニシテ本法ノ規定ニ從ツテ鑄造セラレタ  
ル場合ニハ印度總督ノ布告ヲ以テ之ヲ法貨トシ特ニ明文ナキ限ハ印度貨幣法ノ規定ヲ適用  
スルモノトス一八七六法、二一四

八、法貨

金貨 一八八九法、二ヲ以テツヴェレン及半ツヴェレン貨ハ一五及七 $\frac{1}{2}$ 留比ノ割合ヲ以テ無制限  
法貨トス法、一亦之ヲ維持ス但一八七〇法、一ニハ當初ハ金貨ヲ法貨トセサリシナリ、一八  
三五年以前亦同シ但實際上ハ流通セサリシナリ

銀貨 一留比及半留比貨ハ無制限法貨トス但シ(四アンナ)及(二アンナ)貨ハ一留比以下ニ  
限リ法貨トシテ通用ス法、一二一八七〇法、一三  
尙又一八八一年法律第一七號ニ基キ一八九二年二月四日迄英葡間ニ於ケル貨幣條約ニ基



二名稱及様式 政府紙幣ハ一般政府紙幣 (Universal Currency Notes) 及特別政府紙幣 (Currency Notes) ノ二種トス前者ハ五、一〇及五〇留比竝ニ印度總督カ印度官報ニ於テ布告ヲ以テ定ムヘキ額面ヲ有スルモノトシ「政法」二、二九ノ二(a)結局其種類ハ上記ノ外一〇〇、五〇〇、一〇〇〇及一〇〇〇〇留比券ノ七種アルモノトス

一般政府紙幣以外ノ所謂特別紙幣ニハ發行地名ヲ誌シ及紙幣局長官又ハ紙幣署長若クハ其代理官之ニ署名スヘシ「政法」九ノ三、一〇、

三管理 政府紙幣發行ニ關スル最高管理機關ヲ紙幣局 (Department of Paper Currency) トシ其長ヲ紙幣局長官 (Head Commissioner of Paper Currency) ト稱ス「政法」三、四、

印度總督ハ告示ヲ以テ發行管區 (Circles of Issue) ヲ定メ其内七管區中ニハ「カルカッタ」「マドラス」「ボンベイ」「ラングーン」「ラホール」「カウンプル」及「カラチ」市ヲ包有セシメ且或發行管區中ノ一都市ヲ發行地 (Place of Issue of Paper Currency) トシ之ニ發行署 (Office or Offices of Issue) ヲ置キ其他ノ場所ニ紙幣出張所 (Currency Agency) ヲ置ク而シテカルカッタ發行署ハ長官ノ直轄トシ他ノ發行署ニハ紙幣署長 (Commissioner of Paper Currency) ヲ紙幣出張所ニハ紙幣代理官 (Currency Agent) ヲ配置ス「政法」五、六其系統ハ次ノ如シ「政法」七、



四發行 政府紙幣ハ紙幣局長官之ヲ作製シ紙幣署長及カルカッタニ限り紙幣代理官ニ之ヲ交付シ紙幣署長ハ之ヲ紙幣代理官ニ交付ス「政法」九ノ一及二而シテ紙幣署長又ハ紙幣代理官ハ個人ノ請求ニ基キ(イ)一九〇六年貨幣法ニ基キ法貨タル一留比及半留比貨又ハ金貨竝ニ(ロ)一八七六法ニ於テ法貨トセル地方留比ト引換ニ之ヲ發行スヘシ「政法」一、一、二、

紙幣署長ハ一九〇六年貨幣法ニ於テ法貨トセザリシ金貨若クハ純金七、五三三四四グレイン當リ一留比ノ割合ヲ以テ政廳ニ對シ紙幣ヲ發行スルコトヲ得「政法」一、三、

但シ印度事務大臣カ金銀貨地金又ハ地銀若クハ有價證券(後條第六)ヲ以テ發行紙幣額ノ準備ト爲スヘキ旨ノ認可ヲナス時ハ總督ハ之ニ準據シテ紙幣ヲ發行スヘキモノトス「政法」一、四、一、九、

政府紙幣發行種別ニ關シ最近ノ數字ナキヲ以テ一九〇八年三月三十一日現在四六八、八五〇、三四五留比中其内譯ヲ示セハ次ノ如シ

五留比券	七、九八六、七七五留比	總高ニ對スル割合(%)	一・七
一〇留比券	九一、四一一、七三〇留比		一九・五
二〇留比券	九、七五〇、〇四〇留比		二・一
五〇留比券	一三、四八三、四〇〇留比		二・九
一〇〇留比券	一二四、一三六、四〇〇留比		二六・五
五〇〇留比券	三一、七四二、〇〇〇留比		六・八



一〇〇〇〇留比券 七二、一三〇、〇〇〇留比 總高ニ對スル割合(%) 一五・三  
 一〇〇〇〇〇留比券 一一八、二一〇、〇〇〇留比 同 二五・二

五通用力竝兌換 一般政府紙幣ハ如何ナル場所ニ於テモ、特別政府紙幣ハ發行管區ニ於テ公私共法貨トシテ使用スヘシ但シ發行署ニ於テハ此限りニ在ラス、政法、一五」  
 次ニ兌換ニ付キ一般政府紙幣ハ如何ナル發行署ニテモ、特別紙幣ハ該券ヲ發行シタル官署ニテ之ヲ行フ、政法、一六」  
 或發行署ヲ廢止シタルトキハ其廢止シタル日ヨリ告示ヲ以テ定メタル發行署ニ於テ發行シタルモノト看做ス、政法、一八」

六、發行準備 發行準備タルモノハ印度事務大臣及印度總督ノ保管スル一及半ツヅエレン金貨、一及半留比銀貨、地金及地銀竝ニ證券ニシテ發行額ト同額ナルモノトス但地銀及證券ノ換算額ハ買入額トス即紙幣ハ政府ノ信用及上記準備ヲ擔保トシテ發行スルモノナリ而シテ政府紙幣ニシテ發行ニ續ク四月一日以降次掲ノ期間兌換ノ爲メ提供セラレサルモノハ流通セサルモノト看做ス  
 一〇〇〇留比券以下ノモノニ在リテハ 四十年  
 一〇〇〇〇留比券以上ノモノニ在リテハ 百年  
 而シテ上記期間經過後兌換ノ請求ヲ受ケタルトキハ一般公金ヲ以テ之ニ應ス、政法、一九、二〇」  
 印度事務大臣及印度總督相互間ニ於テ回送中ノモノモ亦準備トス、政、二」

而シテ證券ハ英國ノ諸證券印度政府公債竝ニ印度事務大臣カ法律ニ基キ印度政府ノ計算ニ於テ發行セル證券ニシテ總額ハ一億三千万留比以下ニ限り且印度政府公債以外ノ證券ハ二千万留比以下ナルヘシ、政法、二二」  
 印度總督ハ自ラ又ハ紙幣局長官ニ依リ印度政府公債ヲ限り購入シ長官又ハ造幣局長ヲシテ之ヲ保管セシメ及長官ヲシテ之ヲ賣却セシム、政法、二三、二四」  
 準備證券ニヨル損益勘定ハ毎年紙幣局長官ヨリ總督ニ上申シ且印度官報ニテ公表スヘシ、政法、二五」  
 而シテ一九一三年十二月末ニ於ケル政府紙幣發行高ハ六四五、八七八、三七五留比ニシテ其準備金ハ次ノ如シ(單位留比) 六五錢一厘

種 類	印度ニ於テ保有スル分	英國ニ於テ保有スル分	合 計
銀 貨	一七二、〇四五、七〇七 <small>留比</small>	—	一七二、〇四五、七〇七 <small>留比</small>
金 貨 及 地 金	二二七、五六九、六六五	九一、五〇〇、〇〇〇	三一九、〇六九、六六五
銀 塊	一五、七六三、〇五七	—	一五、七六三、〇五七
公 債	九九、九九九、九四六	四〇、〇〇〇、〇〇〇	一三九、九九九、九四六
合 計	五一四、三七八、三七五	一三一、五〇〇、〇〇〇	六四五、八七八、三七五

尙此點ニ就テ印度證券(Bills of India)ニ關シテ一言スヘシ印度證券ハ印度事務大臣(倫敦)ノ發行

スル證券ニシテ額面一〇、〇〇〇留比以上（電信爲替ハ一〇、〇〇〇留比以上）カルカッタ、ボンベイ及マドラス  
所在ノ印度政府金庫ニ宛振出サレタル一覽拂ノモノトス、之ニ通常ノ證券即狹義ノ印度證券  
（Council Bills）及電信爲替（Telegraphic Transfers）ノニアリ、而シテ前者ハ發行後十四日乃至二十六  
日以内ニ支拂ハルヘク之レニ反シテ後者ハ即刻ニ支拂ハルヘキヲ以テ電信爲替ハ通常  
五片高價ナリトス

發行ノ實際ノ事務ハ英蘭銀行之ヲ司掌ス、從前ハ毎水曜日ニ限り之ヲ發行セシカ當時ハ水曜  
日ニモ之ヲ賣出スモノトス、發行年額ハ約一千六百万磅トス

第三銀行券 ナシ、一八六二年以降之ヲ禁ス

違説トシテ印度銀行（Bank of India）ハ五留比券ヲ發行スルト云フモノアルモ採ルヲ得ス

（ロ）亞丁及錫蘭 ハ英領印度ト同シク留比銀貨ヲ以テ本位貨幣トス、其英磅ニ對スル比率ハ一八九  
九年以降ハ一留比ニ一志四片トス、尙錫蘭ニ於テハ一八九二年二月六日ノ貨幣法ヲ以テ現行法  
トス

附言 英貨ニ對スル比率ハ第一節英吉利ノ部ニ併載セリ參照スヘシ（第八四—五頁）

（ハ）海峽殖民地其他

序説 英吉利ハ海峽殖民地香港及レブアンニ流通セシムル目的ヲ以テ一八九五年二月二日法律  
印度孟買造幣局ニ於テ英弗銀ヲ鑄造スヘキ地銀及銀貨受入規則（附言之ニ關スル關稅）ヲ以テ英  
弗（British Dollar）ノ鑄造ヲ開始シタリ

其ノ造幣率ハ次ノ如シ

總量目	四一六グレイン（二六九六七瓦）
品位	九〇〇位
純量目	三七四・四グレイン（二四・二七〇三瓦）
通用最輕量目	四一・一グレイン（二六・六三三瓦）
公差	二グレイン（〇・二二九六瓦）
直徑	一 $\frac{1}{8}$ インチ

蓋シ當初ハ四一七グレイント定メントセシモ當時日本圓銀貨ノ量目ハ四一六グレインニテ尙  
總量目四一七・七四グレイン、純量目三七七・〇九グレインヲ有スル墨西哥弗銀貨ト並ヒ流通セル  
ニ鑑ミ且英弗ヲ流通セシムルニハ寧ロ其量目ヲ減少シテ（即二六九〇グレインノ減量）グレシヤ  
ム法則ノ適用ヲ見ルヲ必要トシテ前敘ノ如ク定メタリシナリ

孟買造幣局ハ毎日（休日ヲ）地銀及銀貨（輸納材料ニ對シテ）ニシテ鑄造ニ適スルモノヲ一〇〇〇ト  
一ラ（第二六）以上ニ限り受領セラルヘシ、其造幣手数料ハ一％トス（同法二二四）

地銀ノ鑄解分析ヲ完了シ鑄造ニ適スルモノト認ムル時ハ正貨證書ヲ交付スヘシ  
正貨拂渡期日ハ別ニ之ヲ定ム、若シ鑄造ニ適セサルトキハ溶解前ノ總量目一ト一ヲ毎ニ一％ノ  
鑄解料及分析料トシテ一回毎ニ二留八アンナノ手数料及關稅ヲ徵スルコト、ス（同法五一一〇）

及關稅規則一、二、四

造幣局決定ノ品位ニ異議アルモノハ一定ノ手数料並ニ關稅ヲ支拂ヒ之ヲ引出スコトヲ得同法、  
一、一、二及關稅規則一、二、四

輸出ノ包裝費及運送費ハ輸納者ノ負擔トス同法、一六「關稅規則六」  
以下海峽殖民地(ヨリ本國政府管轄トナル)其他ニ就キ分説スヘシ

海峽殖民地ノ部分ニ於テハ後印度交趾支那ニ於ケル王領殖民地タル新嘉坡マラッカ、彼南ウエレス  
レイ、ケーリリング及クリスマス諸島ヲ含ムモノトス

第一、硬貨

一、現行法 一九〇六年十月二十二日海峽殖民地貨幣法

二、本位 前記ノ日ヨリ金兌換本位制

一八九五年二月二日ノ法律(以下「八九九」ヲ以テ英弗鑄造ヲ定ムルト共ニ墨西哥弗英舊香港  
弗、日本圓貨ヲ以テ法貨トセリ其量目ハ次ノ如シ

英	種	類		品	位	純		最	
		單位	量			單位	量	單位	量
弗	圓	四一六・〇〇	二六・九六七	九〇〇位	三七四・四〇	二四・二七〇	四一一	二六・六三三	

墨	西	香	日	類		品	位	純		最	
				單位	量			單位	量	單位	量
哥	弗	弗	圓	四一七・七四	二七・〇七〇	九〇二・七位	三七七・〇九	二四・四三六	四一一	二六・六三三	
港	弗	弗	圓	四一六・〇〇	二六・九六七	九〇〇位	三七四・四〇	二四・二七〇	四一一	二六・六三三	
本	圓	圓	圓	四一六・〇〇	二六・九六七	九〇〇位	三七四・四〇	二四・二七〇	四一一	二六・六三三	

備考

「グレイン」ヨリ瓦ニ對スル換算額ハ英國度量衡法ニヨレハ四一六グレインニ二六・九五六三  
六三二瓦トナリ前記ニ多少ノ疑團アルモ暫ク原文ニ從フコト、ス、因ニ此部分中特説セサ  
ルモノハ英度量衡法ニ據レルモノト知ルヘシ

然ルニ一九〇三年六月二十五日海峽殖民地貨幣法ニ基ケル一九〇三年十月五日ノ布告ハ海  
峽殖民地弗ヲ鑄造シ次テ一九〇四年八月二十四日ノ布告ヲ以テ同年八月三十一日以降墨弗  
英弗及香港弗ヲ法貨タラサルモノトシタリ

次テ一九〇六年十月二十二日法律ハ英ソヴェレン貨ヲ以テ法貨トスルト共ニ海峽殖民地弗銀  
貨ハ依然本位貨幣タルモノトシ次テ一九〇六法、一海峽殖民地弗品位九〇〇位ヲ改メテ八〇  
〇位トシ「一九〇六法、二且五〇仙以下ノ補助貨ノ通用力ヲ無制限トシテ「一九〇六法、三現今ノ  
制度ニ推移セシナリ

三、單位

「ダラー(Dollar)」一ダラーニ一〇〇セント(Cents)海峽殖民地弗又ハ「弗」ヲ以テ其略稱トス  
一九〇八年二月十九日法定一ダラーノ一ツヴェレン貨ニ對スル法定換算率ハ次ノ如シ

二八片(二志四片)一海峽殖民地弗

貨幣制度

第八 亞細亞諸國 (甲)英領亞細亞各地方 (ハ)海峽殖民地

一磅||八五七<sup>7</sup>/<sub>8</sub>海峽殖民地弗  
 七磅||六〇海峽殖民地弗一九〇六法一  
 而シテツヴェレン金貨ハ品位九一六<sup>6</sup>/<sub>16</sub>位標準量目一二三<sup>2</sup>/<sub>17</sub>四グレイン又ハ七九八八瓦通  
 用最輕量目一二二五〇〇グレイン又ハ七九三七八七瓦トス  
 故ニ之ヨリ見タル海峽殖民地弗ノ法貨換算價格ハ一圓一三錢九厘〇四一三一四三八七四八  
 〇トス

四銀貨 一九〇七年二月十一日ノ布告ヲ以テ一及<sup>2</sup>/<sub>3</sub>弗ノ量目ヲ輕減セリ蓋七磅||六〇弗ノ比  
 率ニ一致セシメントスルナリ

造幣率ハ次ノ如シ

一海峽殖民地弗 總量目三一<sup>2</sup>/<sub>2</sub>グレイン||二〇<sup>2</sup>/<sub>1</sub>一七<sup>2</sup>/<sub>2</sub>瓦 品位九〇〇位

二海峽殖民地弗 總量目一五六グレイン||一〇<sup>2</sup>/<sub>1</sub>八六瓦 品位九〇〇位

但シ其以前ニ於ケル造幣率ハ次ノ如シ

種	類	總	品	純
種	類	量	位	量
目	目	目	目	目
一	弗	四一六グレイン 二六九六七瓦	九〇〇位	二四二七〇三瓦
五〇セント貨( <sup>2</sup> / <sub>3</sub> 弗)	*	一三・五七六瓦	八〇〇位	一〇・八六一〇瓦
二〇セント貨		五四三〇瓦	八〇〇位	四・三四四〇瓦
一〇セント貨		二七一七瓦	八〇〇位	二・一七四〇瓦

五 セント 貨

一・三五七瓦

八〇〇位

一・〇八六瓦

備考

\* 印ノ換算率ニ就キテハ第二段記載表ニ對スル備考ヲ見ルヘシ(第三頁)

五青銅貨

種	類	總	量
種	類	量	目
一	セント 貨		九・三三五
二	セント 貨		四・六五瓦
三	セント 貨		二・三三五

六法貨 補助銀貨ハ二弗迄法貨トシテ通用ス

又弗貨ノ英磅トノ換算率ニ就キテハ前敘第三段及第八頁ヲ參照スヘシ

七舊單位 一八六七年四月一日留比貨ヲ廢シ香港弗ヲ初メ其他ノ弗銀ヲ法貨トシ一八七四年

一月十日米弗及日本圓銀ヲ法貨トシ次テ一八九〇年十月二十一日改正法ニ於テ墨西哥弗ヲ  
 本位貨幣トスルト共ニ米弗日本圓及香港一及半弗銀ヲ無制限法貨トシ海峽殖民地半弗以下  
 品位八〇〇位ノモノ竝銅貨ヲ制限法貨トシ更ニ一八九一年法律ヲ以テ上記以外ノ貨幣ノ輸  
 入ヲ禁シタリ次テ一八九五年二月二日ノ法律ヲ以テ米弗ヲ一八九八年十月二十日法律ヲ以  
 テ日本圓貨ヲ法貨タラサルモノトシタリシナリ因ニ其後ノ變遷ニ就キテハ前敘第二段ヲ參

照スヘシ

第二、政府紙幣 銀貨ヲ以テ兌換スヘキ一、五、一〇、二〇、五〇及一〇〇海峽殖民地弗券アリ其額ニ制限ナク強制通用力ヲ有ス但シ一弗券ハ十弗迄法貨トシテ通用スルモノナリシカ未タ發行セラ

レシテ一九〇六年銀價騰貴ノ時ニハ二志四片一海峽殖民地弗ノ割合ヲ以テ金貨ヲ以テ兌換スルモノト定メタリ

而シテ本銀行券ハ馬來ニモ法貨トシテ通用ス

尙其關係法規トシテハ一八九九年(法律第四號)紙幣條例(The Currency Note Ordinance, 1899)及之ニ對

シ一九〇五年三月十七日、一九〇六年一月二十九日、二月十六日、九月十四日及十月二十二日、一九

〇八年十二月二日等ノ改正條例アリ

第三銀行券 渣打銀行(Chartered Bank of India, Australia & China)及香上銀行(Hongkong & Shanghai Banking Corporation)カ銀行券ヲ發行ス、強制通用力ヲ有セス、而シテ此種銀行券ハ馬來地方ニモ通用ス

(ニ)レフアン

一九〇五年九月九日布告第二二號ヲ以テ海峽殖民地弗ヲ以テ本位貨幣トシタリ補助貨トシテハ五〇、二〇、一〇及五セント貨アリ、二弗迄法貨トシテ通用ス

弗銀ノ英磅ニ對スル換算比率ニ就キテハ海峽殖民地ニ於ケルト同一ナルヲ以テ其部分第八六及二七三頁ヲ見ルヘシ

又同時期以前ニハ墨弗英弗、日本圓及香港弗銀通用シタリキ

(ホ)香港 (一八四二年以降英領トナリタ)

第一、硬貨

一、現行法 一八九五年二月二日、香港貨幣規則

二、本位 銀本位制

三、單位 ダラー(Dollar)1ダラー=100セント(Cents)1セント=10ミル(Millie)香港弗又ハ「弗」以テ其略稱トス

其總量目ハ四一六ダレン即二六、九五六三六七二瓦、品位九〇〇位ナルヲ以テ純量目ハ三七

四、四ダレン即二四、二六〇七三瓦トス

四、銀貨 一、二、三、四、五種ヲ鑄造ス

種類	總量目	品位	純量目
一、弗貨 100仙貨	二六、九五六瓦	九〇〇位	二四、二六〇瓦
二、弗貨 50仙貨	一三五七六瓦	八〇〇位	一〇、八六一瓦
三、弗貨 20仙貨	五四三〇瓦	八〇〇位	四、三四四瓦
四、弗貨 10仙貨	二七一五瓦	八〇〇位	二、一七二瓦
五、青銅貨 1仙貨	一三五七瓦	八〇〇位	一〇、八六瓦

六、法貨 補助銀貨即チ五〇、二〇、一〇及五仙貨ハ二弗迄青銅貨ハ一弗迄法貨トシテ通用ス

弗貨ノ英磅トノ換算率ニ就テハ前敍第八七頁ヲ参照スヘシ

墨西哥弗、英弗又ハ香港總督ノ認可シタル之ト同等ノ價格ヲ有スル其他ノ弗銀竝ニ之ニ應當スル補助貨幣(セント、銀貨又ハセント、銅貨又ハセント)ヲ法貨トス、一八九五、法

而シテ一九一三年七月十日ノ一九一三年外國銅貨及ニツケル貨輸入及流通禁止規則ニヨレ

ハ前記一八九五、法ニ記載セサル以外ノ貨幣(銀貨又ハ)ニシテ全部又ハ一部ヲ銀又ハニツケル

若クハ銀以外ノ白色金屬ニテ作レル各種貨幣ヲ香港ニテ輸入又ハ流通スルコトヲ禁ス、但レ

五十弗以下ニ限り民政長官ノ免許狀許可ノ條件ニテ又ハ十弗以下ヲ保有スルハ此ノ限ニ在

ラス

第二、政府紙幣 ナシ

第三、銀行券 一九一三年外國紙幣流通禁止規則第三條ニヨリ一九一三年八月一日以降次掲ノ諸

銀行ノ發行スル一、五、一〇、二五、五〇、一〇〇、五〇〇及一〇〇〇弗券ニ限り流通スヘシ、但シ一弗券

ハ香港銀行ニ限り二二六、〇〇〇弗迄發行スルヲ得ルノミトス

(1) 渣打銀行麥加利銀行 (The Chartered Bank of India, Australia & China)

本銀行ハ一八九四年十二月二十九日特許書ニ基キ五〇〇、〇〇〇弗ヲ限り香港ニ於テ銀行券

ヲ發行スルコトヲ得但法定認許發行額ノ $\frac{2}{3}$ ニ相當スル額ハ證券ヲ以テ信託人又ハ殖民地代理

官ニ提出スルコトヲ要ス、又法定認許發行額以上ノ發行高ニ對シテハ全部正貨ヲ以テ準備スル

ヲ要ス

(2) 香港銀行匯豐銀行 (The Hongkong & Shanghai Banking Corporation)

本銀行ハ一八六六年命令第五號及一八八七年命令第一五號ニ基キ其拂込資本金額ト同額ノ銀

行券ヲ發行シ得ルモノニシテ銀行券ノ全額ニ對シ貨幣又ハ證券ヲ保持スルヲ要ス、但シ其資本

金ノ五五 $\frac{1}{2}$ %ニ相當スル額ハ信託人又ハ殖民地代理官ニ提出スルヲ要ス

(3) 有利銀行 (The Mercantile Bank of India, Limited)

但シ上記以外ノ銀行ト雖政府ノ特許又ハ法律ニヨリ許可セラレタル場合ハ銀行券ヲ發行スル

コトヲ得、同法、五

香港ニテハ概シテ銀行券ヲ使用ス、從テ銀貨ニ對シテハ打歩ヲ有ス、尙小切手ノ使用亦盛ナリト

而シテ前掲法律以前ニハ右ノ外德華銀行 (Die Deutsche Asiatische Bank) 東方滙理銀行 (Banque de Indo-

China) 花旗銀行 (The International Banking Corporation) 和蘭銀行 (De Nederlandsche Handel Maatschappij)

(此譯名支那ニ於ケル通稱ニ從フ)ノ諸銀行モ銀行券ヲ發行シタリシモ、一九一三、法、三ヲ以テ其發行ヲ禁シタリ

(ハ) 馬來聯邦 一九〇三年海峽殖民地弗銀ヲ以テ本位貨幣トス、而シテ英弗及墨弗銀ハ一九〇四年

八月三十一日迄法貨トシテ通用セリ

又海峽殖民地政府紙幣ハ法貨トシテ通用シ、竝ニ同地所在銀行發行ノ兌換券モ通用ス

(ト) 馬來保護領 通用貨幣ハ海峽殖民地弗貨トス、但シ「ケランタン」ニ於テハ一九一〇年議定第一五

號ヲ以テ之ヲ本位貨幣トス

(子) 英領北ボルネオ及サラウワーク 海峽殖民地弗貨ヲ限り本位貨幣トシ英弗及墨弗其他ノ弗銀ハ法貨ニ非ス

又海峽殖民地弗銀貨ニ對スル補助銀貨ハ一九一二年布告第九號ヲ以テ一〇弗ヲ限り法貨トシテ通用ス

(リ) サイフラス 土耳其幣制ニ準シピアスター $\parallel$ 四〇バラヲ以テ單位トス、英貨ニ對スル比率ハ一磅 $\parallel$ 一八〇ピアスター、一ピアスター $\parallel$ 一 $\frac{1}{3}$ 片五錢四厘二四〇〇六ナリ

貨幣ニハ一八ピアスター銀貨アリ其價格ハ $\frac{1}{3}$ 磅ニシテ總量目一七四・五四グレイン(一一・三一〇

〇一瓦)品位九二五位純量目一六一・四四九五グレイン(二〇・四六一七六瓦)トス補助貨幣ハ之ニ準ス

乙波斯

第一、硬貨

一、現行法

二、本位 兩本位制但シ實際上銀本位ニシテ金ニ對シテハ銀價ニ準シテ打歩ヲ附ス尙又波斯帝國銀行發行ノ銀行券ハ銀貨ヲ以テ兌換ス

三、單位 トーマン (Tomān) 一トーマン $\parallel$ 一〇クラン (Kran, Kerān, Gharān, Sahibghiran) 一トーマン

(金)ノ總量目ハ三・四五瓦、品位九五%トス故ニ純量目ハ三・二七七五瓦ナリ從テ邦貨換算價格ハ四圓三七錢〇厘〇一七・四八〇、〇六九・五二〇トス

然レトモ實際上ノ單位ハ銀「クラン」ニシテ之ヲバナブート (Panabut, Penebut) ンヤール (Schahi, Shahis) 及ダイナール (Dinar) ニ分ツ

一 銀フラン $\parallel$ 二バナブート $\parallel$ 二〇シャール $\parallel$ 一〇〇〇ダイナール

一 バナブート $\parallel$ 一〇シャール $\parallel$ 一シャール $\parallel$ 五〇ダイナール

四、金貨 金貨ノ造幣率ハ數回改正ヲ經タリ但シ金貨ハ商品トシテ通用スルコト前敘ノ如シ

(イ) 一八七九年前 一トーマン貨總量目三四五二五瓦、品位九〇〇位、純量目三・一〇七二五瓦トス

(ロ) 一八七九年中 一トーマン貨總量目三・二五瓦、品位九〇〇位、純量目二・九二五瓦トス

(ハ) 其以降 次ノエシシュレフイ (Ahrsai, Eschrehi) ンパンツアール (Pandschazari, Penzozaris) ン

ハツアアリー (Dohazari, Dolozaris) ノ二種金貨ヲ鑄造ス

種目	クラン單位	總量目	品位	純量目
一 トーマン貨(エシユレフイ)貨	一〇	二・八七七瓦	九〇〇位	二・五八九三五
二 トーマン貨(バンヅアーツアアリー貨)	五	一・四三八瓦	九〇〇位	一・二九四二瓦
三 トーマン貨(ドハツアアリー貨)	二	〇・五七五瓦	九〇〇位	〇・五一七五瓦

(ニ) 一九〇四年以降 二〇法金貨ニ準シニトーマン貨ヲ鑄造ス、總量目六・四五一六瓦品位九〇

〇位純量目五・八〇六四四瓦トス

又別ニ外國金貨亦商品トシテ通用ス

五、自由鑄造 「テヘラン」造幣局ニ於テ金銀貨ノ自由鑄造ヲ許ス

金貨ニ對スル鑄造料ハ次ノ如シ

- 二及一 トーマン貨 三四%
- 二 トーマン貨 四二%
- 三 トーマン貨 四九%

銀貨ニ對シテハ各箇ノ場合ノ協定ニヨルモノニシテ通常純銀一〇〇ミスカル(四六〇・三三三瓦)

ニ對シ一〇・二七一〇五クランノ對價ヲ受ク

六、銀貨 次掲六種銀貨アリ

種類	總量目	品位	純量目
五 クラン貨	二・三〇一五瓦	九〇〇位	二・〇七一三五瓦
二 クラン貨	九・二〇六瓦	九〇〇位	八・二八五四瓦
一 クラン貨即 二〇 シャーヒ	四・六〇三瓦	九〇〇位	四・一四二七瓦
三 クラン貨即 一〇 シャーヒ	二・三〇六瓦	九〇〇位	二・〇七五四瓦
四 クラン貨即 五 シャーヒ	一・一五〇瓦	九〇〇位	一・〇三五〇瓦
五 クラン貨即 三 シャーヒ	〇・二一九瓦	九〇〇位	〇・一九七一瓦

尙國內ニハ舊クラン銀貨多量ニ流通ス、之ハ重量大ナルト且品位優秀ナル爲メ多年ノ流通ニ依リ大ニ磨損シ又ハ剪除セラレタルモノトス

七、白銅貨其他ノ貨幣

(1) 白銅貨 一及二 シャーヒ貨アリ

(2) 銅貨 チョラツサン州(波斯北境)ニ於テハ一〇及五 シャーヒ銀貨及白銅貨ニ代フルニ舊銅貨流通セリ

尙此ノ地方ニハ外國貨ノ流通ヲ見ル

八、外國貨幣

(イ) 外國金貨中 露西亞イムベリアル貨(最輕量目ハ三十四ナリトス)露西亞及奧太利ヅウカーテ



ン貨商品トシテ通用ス、從テ其價格ハ銀價ニヨリテ決セラル、モノトス  
 (ロ) 外國銀貨中 波斯北境部殊ニ「チョラッサン」州ニテハ露西亞留銀貨、南部ニ於テハ印度留比  
 貨通用ス

第二、政府紙幣 ナシ

第三、銀行券 波斯帝國銀行ノ發行スル十一種即一、二、三、五、一〇、二〇、二五、五〇、一〇〇、五〇〇及一〇〇〇クラン券流通ス、銀行券ハ銀貨ヲ以テ兌換ス

銀行券ノ發行總額ハ八〇、〇〇〇磅即二〇、〇〇〇、〇〇〇銀クラントス而シテ正貨準備トシテハ銀ヲ保有スルノミ

波斯帝國銀行 (Imperial Bank of Persia, Ltd.) ハ一八八九年法人トナリシ株式會社ニシテ本店ハ「テ」ランニ在リ支店ハ十四箇所トス其營業年次ハ毎年九月二十日ニ終ルモノトス  
 其資産狀況ヲ見ルニ現時資本金ハ六十五万磅(全部拂込)トシ之ヲ十萬株(通常株九萬八〇〇株、發)ニ分チ一株ハ六之磅トシ其他ノ點ハ次ノ如シ(單位、磅) 九圓七六錢三厘

第一、借方

營業年度	資本金	準備金	銀行券流通高	預金倫敦	預金(波斯)	預金合計	手形在高	損益勘定	合計
一九〇九年	六五〇,〇〇〇	一八五,〇〇〇	六三三,六五〇	三〇,六〇九	六五九,九三二	六八六,五四一	二四三,〇六四	四九,四七九	二,四四八,七三四
一九一〇年	六五〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	六八三,九四五	四四,四三三	七〇二,四四一	七四六,八五四	四一九,三九〇	五三,九二五	二,四八八,七三四
一九一一年	六五〇,〇〇〇	二二〇,〇〇〇	八〇五,一三三	七〇,七六八	七五,七九三	五五九,四九六	六〇,九六五	三,〇〇四,四二五	三,〇〇四,四二五
一九一二年	六五〇,〇〇〇	二二〇,〇〇〇	八五九,〇六四	七,五九二	七二五,〇一〇	四九九,三八六	六二,一一四	三,三〇五,〇二九	三,三〇五,〇二九
一九一三年	六五〇,〇〇〇	二二〇,〇〇〇	九六二,四一九	六五,八六七	八四〇,一一八	九〇五,九九五	五二四,五〇一	三,三〇五,〇二九	三,三〇五,〇二九

第二、貸方

營業年度	手許在高、預入及運送中(モ)	貸付高	證券放貸高(當日相場ニヨル)	貸付及割引高	満期手形	建物	合計
一九〇九年	六四九,七九七	二四三,〇一六	三二一,九〇一	一,一三三,六四五	八三,〇〇四	三七,三七二	二,四四八,七三四
一九一〇年	六九六,〇三三	八〇,〇〇〇	三五四,九五二	一,四二六,九五六	一五二,二九五	四二,八七八	二,七五三,一一四
一九一一年	七二四,四七八	二二〇,〇〇〇	六七七,一〇三	一,一五〇,〇九四	二四五,四八六	五〇,六八七	三,〇五七,八四八
一九一二年	一,二八六,六四四	五四二,〇〇〇	六七七,〇三六	七三三,七八二	二〇九,六三五	五三,一一八	三,〇〇四,四二五
一九一三年	一,一五六,五八七	六四,〇一六	六六三,〇八五	一,一二五,一七三	二四〇,八九九	五五,三〇九	三,三〇五,〇二九

第三、損益勘定

營業年度	政府納付金	所得稅	株主配當金	後期繰越金	合計	總益金	銀行經費	前期繰越金	純益金	一株當配當金額
一九〇九年	四,〇〇〇	四,一三九	四〇,〇〇〇	二四,四七八	七二,六〇七	一一五,一三七	五九,〇二四	一六,四九四	五六,一一三	八志
一九一〇年	四,〇三六	四,七八五	四五,〇〇〇	二二,九二五	九一,七四六	一三四,三六四	六七,〇九六	二四,四七八	六七,二六八	九志
一九一一年	四,四二四	四,八〇八	五〇,〇〇〇	二七,四二六	九六,六五八	一四三,一五六	六九,四二五	二二,九二五	七三,七三三	一〇志
一九一二年	四,〇〇〇	五,九八三	五〇,〇〇〇	三〇,九六四	九〇,九四七	一三四,八八八	七一,三〇七	二七,四二六	六三,五二二	一〇志
一九一三年	四,〇〇〇	六,六一七	五〇,〇〇〇	三二,一一四	九二,七三一	一三七,〇三七	七五,二七一	三〇,九六五	六一,七六六	一〇志

備考

\* 印ハ準備金繰入額トス

丙、比律賓

第一、硬貨

- 一、現行法 一九〇三年<sup>(明治三十六年)</sup>三月二日法律第九八〇號比律賓ニ於ケル價格ノ單位及貨幣鑄造ヲ規定スル件及一九〇六年六月二十三日法律第三五二一號前記貨幣法改正條例法及一九〇六、法ヲ以テ其略稱トス
- 本島ハ一八九八年<sup>(明治三十一年)</sup>八月北米合衆國ノ領有ニ歸シ爾後暫ク西班牙領有時代ノ幣制ヲ用ヒシカ前記ノ年ニ到リテ幣制ヲ確立セシナリ
- 二、本位 金兌換本位制、但シ銀ベツ貨五百万弗以上ヲ鑄造シテ後金ベツ貨ヲ單位トスルモノトス、法、一尙第六段參照
- 三、單位 金ベツ(Gold Peso)「ペソ」一〇〇センチタヴォ
- 金ベツノ總量目ハ一二九グレイン(〇・八三五九三瓦)品位九〇〇位ナルヲ以テ純量目ハ一一・六一グレイン(〇・七五二三三瓦)トス、故ニ其價值ハ三米弗ニシテ、法、二、邦貨換算價格ハ一圓〇三厘一一四、四一一、四五七、六五〇トス
- 四、金貨 鑄造セス
- 但シ北米合衆國金貨ハ一弗、二ベツノ割合ヲ以テ法貨トス、法、一
- 五、銀貨 銀ベツ貨ヲ本位貨幣トシ他ニ三種ノ補助銀貨アリ、法、二、四、一九〇二年七月一日比律賓政廳ノ行政竝ニ其他ノ事項ヲ規定スル暫定條例、七七

種類	總量		品位	純量		法貨
	グレイン	瓦		グレイン	瓦	
一 ペツ貨	四一六・〇〇	二六・九五六四	九〇〇位	三七四・四〇〇	二四・二六〇八	特定ノ場合ノ外無制限法貨トス「法三」
五〇センチタヴオ貨	二〇八・〇〇	一三・四七八二	九〇〇位	一八七・二〇〇	一一・二一三〇四	
二〇センチタヴオ貨	八三・一〇	五・三八四八	九〇〇位	七四・七九〇	四・八四六三	一〇弗迄法貨トス「法五」
一〇センチタヴオ貨	四一・五五	二・六九二四	九〇〇位	三七・三九五	二・四二二二	

右ノ内一九〇六法、一ハ銀貨ノ品位ヲ改メ之ヲ七〇〇位トスルコトヲ得ト定メタリ  
 而シテ一ペツ銀貨ハ七千五百万ペツ以下ヲ限リ「法二」其他ノ銀貨ハ總督ノ必要トスル額ヲ限  
 リ軍務卿ノ認可ヲ經テ購入地銀又ハ同政廳ニ於テ受領セル舊銀貨ヲ以テ鑄造スルコトヲ得  
 造幣ハ「マニラ」又ハ北米合衆國(通常桑港造幣局ニ於テ)ニ於テ之ヲ行フ「法一〇」  
 銀貨鑄造高及現在高ハ次ノ如シ(一九一二年六月末現在)

一、鑄造高量目

種類	地銀ヨリ鑄造ノ分		舊銀貨ヨリ鑄造ノ分		合計	
	箇	純銀量(オンス)	箇	純銀量(オンス)	箇	純銀量(オンス)
一 ペツ貨	九三、四四五	四八、〇六八・一一	四二、五三〇・〇五九	二一、九二九・二七二・七八	四二、六二三・五〇四	二一、九七七・三四〇・八九
五〇センチタヴオ貨	三、三四二・一二六	八〇五・八七〇・二三	二、一三六・〇〇〇	五三四・三八二・二五	五、四七八・一二六	一、三四〇・二五二・三八
二〇センチタヴオ貨	三、六六六・一五二	三五三・六〇〇・三六	三、二七〇・七五九	三三九・五一・二四	六、九三六・九一一	六九三・一一・一六〇
一〇センチタヴオ貨	六、〇七七・三九二	二九三・〇八二・二一	四、〇五五・〇〇〇	二二三・六〇七・九六	一〇、一三二・三九二	五〇六・六九〇・一七
合計	一三、一七九・一一五	一、五〇〇・六二〇・八一	五一、九九一・八一八	二二三、〇一六・七七四・二三	六五、一七〇・九三三	二四、五一七・三九五〇・四

二、現在高

種類	類	箇	數		價格(ペツ)
			純銀量	總量	
一	ペツ貨		二、一九〇、三八五	二、一九〇、三八五・〇〇	
五〇	センチタヴオ貨		五四六、一一八	二七三、〇五九・〇〇	
二〇	センチタヴオ貨		二、〇七三、七六八	四一四、七五三・六〇	
一〇	センチタヴオ貨		三、八八二、五五七	三八八、二五五・七〇	
合計			八、六九二、八二八	三、二六六、四五三・三〇	

六、小貨 白銅貨ニ五センチタヴオ貨、青銅貨ニ一センチタヴオ貨アリ  
 七、法貨及金本位基金

金貨トシテハ北米合衆國金貨ハ無制限法貨トシ「法一」銀貨中一ペツ貨ハ特ニ定ムル場合ノ外  
 無制限法貨トス、但シ一九〇三年十二月末以前ニ締結セン契約ニ在リテハ其當時ノ法貨ヲ以  
 テ給付スルコトヲ得「法三」而シテ補助銀貨ハ一〇弗迄其他ノ補助貨幣ハ一弗迄法貨トシテ通  
 用ス「法五」ノ末段  
 次ニ金銀間ノ平價維持ノ手段トシテ二千万ペツヲ限リ短期證券(Temporary Certificates of Indeb-  
 tedness)ヲ發行スルコトヲ得、該證券ハ利息年四分以下、三―一二箇月期限ニシテ二五・五〇ペツ  
 又ハ其倍數ノ券面額ヲ有シ、合衆國金貨又ハ本島法貨ヲ以テ償還スヘシ、同募集金ハ一切平價  
 維持ニ使用スヘク唯三百万弗(六百万ペツ)ヲ限リ銀塊購入ニ用ユルコトヲ得「法六」

八、舊單位 墨銀弗貨及西班牙政府發行ノ貨幣ハ時々民政長官ノ定ムル公定比率ヲ以テ法貨トシテ通用ス但シ一九〇四年一月一日限り其通用力ヲ失フヘシ法七

而シテ其比率ハ北米合衆國ノ本島ヲ占領セシ當時ハ合衆國金貨一弗||比律賓銀貨二弗ナリシカ其後一九〇一年十二月二十六日ニ到リ之ヲ合衆國金貨一弗||本島銀貨二弗一〇仙トシ後數回ノ變更ヲ經テ最後ニ一九〇二年十一月二十三日ニハ之ヲ金一弗||銀二弗六〇仙トシテ舊銀貨ノ通用終了期ニ到リシナリ

第二、政府紙幣 政府紙幣ノ發行ナシ

但シ銀券(Silver Certificates)ヲ發行ス即同政廳ハ一ペソ銀貨ヲ以テ二〇ペソ以上ノ預入ヲ受ケテ二以上五〇〇ペソ以下(舊法ハ二以上一〇)ノ銀券ヲ發行ス該預入銀貨ハ之ヲ銀券兌換資金トシテ保有シ且六〇%以下ヲ限り預入銀貨ニ代フルニ金貨ヲ保有スルヲ得トシ從テ銀券ハ金貨又ハ銀貨ヲ以テ兌換スルモノトセリ法八二一九〇六法二

銀券ハ公課納入ニ使用シ且政府ニ於テ之ヲ受理スルトキハ再度發行シ又銀行ハ之ヲ法定準備金ノ一部ニ算入スルヲ得法八末段

第三、銀行券 ナシ

丁、暹羅

第一、硬貨

一、現行法 一九〇八年(暹都紀元一二七七年)十一月十一日金貨本位制法(The Gold Standard Act, R. S. 127,1308)略稱法及同法中或規定實施中止ノ件、停法ヲ以テ其略稱トス

二、本位 金兌換本位制但一九〇八年十一月十一日以降トス爲替基金ニ就キテハ第七段ヲ參照スヘシ

一九〇二年十一月二十七日以前ニ於テ同國ハ純然タル銀本位制ナリシカ一九〇二年十一月二十五日付紀元一二一年造幣局改正條例ニ於テ銀貨ノ自由鑄造(從來自由鑄造ニハ墨弗又ヲ停止シ同時ニ金本位ノ下ニテイカル貨ノ價值ヲ定ムルコト、シタリ從テ「イカル」貨ハ政府ノ定メタル比率(一英磅||何々「イカル」如シ)ニ基キ政府ニ對シ倫敦ニ於テ金貨ヲ支拂フカ又ハ倫敦宛一覽拂手形ヲ提供スルニアラサレハ之ヲ取得スルヲ得サルモノトス換言セハ當國ハ印度ノ幣制ニ準シテ金兌換本位制ニ轉移セシナリ

而シテ自由鑄造停止ノ時ハ一磅ニ對スル「イカル」貨ノ價值ハ二一「イカル」ナリシカ第一回ニ決定セシ英貨ニ對スル比率ハ二〇「イカル」トシ即一志||一「イカル」トセシカ漸次其比率ヲ昂上セシメ次テ一九〇三年銀價上騰ノ結果一九〇四年二月ニハ遂ニ一磅||一六六七「イカル」一「イカル」||一志二「イカル」トナシ一九〇六年十一月二日ニハ一磅||一三三「イカル」一「イカル」||一志六片ニ改メ遂ニ一九〇八年ニ於ケル幣制改革ニ於テハ此割合ヲ一磅||一三三「イカル」一「イカル」



銀貨ノ含有スル純銀量目即一三・五瓦ノ價格カ純金〇・五五八瓦ノ時價ヨリモ騰貴スル場合換言セハ金銀比價カ前叙二四・一九以上トナル場合ニハ銀貨ノ支拂ハ之ヲ停止スヘキモノトス  
 法、一四造幣局ハ盤谷ニ在リ法、二ノ一輸納地金ハ金貨鑄造又ハ地銀(銀貨鑄造)購入其他本法ノ目的ニ反セサル支途ニ使用スルモノトス法、一三  
 但シ上記ノ自由鑄造ニ關スル規定ハ當分ノ内其施行ヲ停止シ大藏大臣ハ從前ノ如ク外國ニ於テ金ヲ受取リ(第二段)一量目テイカル(一五瓦)一三・二六六二テイカル又ハ一磅一三・テイカルノ割合ヲ以テ盤谷ニ於テ貨幣ヲ發行スヘシ(停法、二)  
 而シテ從前銀貨ノ自由鑄造ヲ許容セシ場合ニハ三英弗又ハ三墨弗一五テイカルノ割合ヲ以テ之ヲ受領セシモノトス

六補助貨幣

(1) 銀貨 次ノ三種アリ法、四

種類	總量目	品位	公		直徑
			量	差	
一 テイカル貨	一五・瓦	九〇〇位	一箇ニテ	一・二・五	三〇耗
二 サルング貨	七・五瓦	八〇〇位	四 <sup>〇</sup> / <sub>〇〇</sub>	一・二・五	二五耗
三 サルング貨	三・七五瓦	八〇〇位	四 <sup>〇</sup> / <sub>〇〇</sub>	六・瓦	二〇耗

(2) 白銅貨 次ノ二種アリ法、四但シ有孔トス孔ノ直徑ハ次掲貨幣ニ於テ五竝ニ四耗トス

種類	總量目	品位	量目公差	直徑
一	三・五瓦	一〇〇位	〇・〇二〇瓦	二〇耗
二	二・五瓦	一〇〇位	〇・〇一五瓦	一七・五耗

(3) 青銅貨 一サルング貨トシ法、四此亦有孔トス孔ノ直徑ハ六耗ナリ

種類	總量目	品位	量目公差	直徑
一 サルング貨	五瓦	九五位銅 四五位錫 一位亞鉛	〇・〇二五瓦	二二・五耗

七、法貨改鑄貨幣ノ交換並ニ爲替基金

金貨及一テイカル銀貨ハ無制限法貨トス補助銀貨ハ五テイカル迄白銅貨及青銅貨ハ一テイカル迄法貨トシテ通用ス法、一六

外國貨幣ハ法貨タラス但シ特ニ法律又ハ條約ヲ以テ定ムルトキハ此限ニ在ラス

本位貨幣タル金貨及一テイカル銀貨ト補助貨幣トノ相互交換ハ盤谷ニ於ケル大藏省ニ於テ一〇〇テイカル又ハ其倍數毎ニ之ヲ行フ法、一五

而シテ金貨又ハ一テイカル銀貨ハ流通ニ依リ表彰カ磨損シ又ハ其量目カ金貨ニ於テ量目公差ノ二ニ倍以上減少シ銀貨ニ就キテハ五倍以上減少セルトキ竝ニ補助貨幣ハ多年ノ流通ニヨリ其表彰カ磨滅セルトキハ何レモ改鑄スヘキモノトス法、一八

改鑄費ハ國庫ノ負擔トス法、一九

前記通用量目以下ニ磨損セル貨幣又ハ別種ノ刻印アルモノハ法貨タラス仍テ之ヲ交換シ又

ハ公課トシテ收納スルヲ得ス、官署ニ於テ之ヲ受取リタルトキハ破毀スヘシ法、一〇、二一一  
但シ舊貨ニシテ本條ノ規定ニ該當スルモノハ本法公布後一箇年間ハ依然官署ニ於テ之ヲ其  
名價ニテ受領スヘシ「停法」三尙第八段ヲ参照スヘシ

爲替基金 大藏大臣ハ外國爲替相場ノ平價ヲ維持センカ爲メ特別基金ヲ設クヘシ、本基金ハ  
次ノ項目ヨリ成立スヘシ「法」二二三

(1) 一二、〇〇〇、〇〇〇 テイカル、此ハ最初一般會計ヨリ繰越シタルヘキモノトス但シ大藏大  
臣ハ勅裁ニ依リ之ヲ増額スルコトヲ得

(2) 鑄造總益金

(3) 本基金ヨリ生スル利益金

本基金設定ノ目的遂行上必要ナル經費ハ造幣局ニ關スル經費ヲ除キ本基金ノ負擔トス「法」二二

四

本基金ノ一部ハ之ヲ外國ニ保有シ大藏大臣ノ定ムル銀行ニ預入スルカ又ハ第一級證券ニ放  
資スヘシ而シテ國內保有部分ハ金貨一テイカル銀貨又ハ鑄造材料タル金銀地金ヨリ成立スヘ  
シ而シテ本基金中ニ在ル銀テイカル貨ハ金貨ト引換、地銀購入又ハ外國ニ於ケル政府ニ對スル  
金貨拂手形購入ニノミ使用スヘシ「法」二二五

八、舊貨幣 次掲舊貨幣ノ通用力ハ次ノ如シ「停法」一(前條第三)

銀貨 テイカル、サルング貨ハ依然法貨トス

銀貨及青銅貨 フアング、青銅貨中シツク(Silber)シノ、アト(Alt)ソロト(Solot)ハ引換ノ完了ス  
ル迄法貨トシテ使用スヘシ

白銅貨 二〇、一〇、五及二ニサルング貨ニシテ一八九八年遷都紀元一一七年(八月二十一日)  
布告ニ基キ發行シタルモノハ別ニ定ムル引換終了期迄法貨タルモノトス

九、法定平價

國別(單位)	暹羅金貨ニ對スル外國貨幣		外國金貨ニ對スル暹羅貨幣	
	一〇〇テイカルニ對シ	一ドス(一〇〇テイカル)金貨ニ對シ	單位一〇〇ニ對シ	主タル金貨ニ對シ
日 本(圓)	七四・四〇〇(一九二〇年六月)	七四・四〇〇(一九二〇年六月)	一三・四〇〇(一九二〇年六月)	二六・八八二(一九二〇年六月)
英 吉 利(磅)	七六・二〇〇(一九二〇年六月)	七六・二〇〇(一九二〇年六月)	一〇・七六二(一九二〇年六月)	二〇・四九二(一九二〇年六月)
佛 蘭 西(法郎)	七三・二〇〇(一九二〇年六月)	七三・二〇〇(一九二〇年六月)	一三・三三三(一九二〇年六月)	二五・四三三(一九二〇年六月)
和 蘭(富)	九二・二〇〇(一九二〇年六月)	九二・二〇〇(一九二〇年六月)	一〇・九二二(一九二〇年六月)	二〇・四九二(一九二〇年六月)
北米合衆國(弗)	三三・〇〇〇(一九二〇年六月)	三三・〇〇〇(一九二〇年六月)	一〇・八三三(一九二〇年六月)	二〇・四九二(一九二〇年六月)

備 考

本表中ニ用ヒタル符號中◎印ハ五入、△印ハ四捨、●印ハ循環小數ヲ意味スルモノトス

第二、政府紙幣

(1) 總括 一九〇二年六月二十四日紀元一一一年暹羅政府紙幣條例略稱「幣法」及「幣法」一七ニ基キ  
發布セラレタル同九月七日ノ大藏省令略稱「省令」ヲ其基本法トシ一九〇二年九月二十三日ヨ  
リ紙幣局(Department of Paper Currency)ヲ設置シ「省令」一政府紙幣ヲ發行ス其種類ハ五、一〇、二〇、

- 一〇〇及一〇〇〇（タイカ）券ニテ法定最低額ハ五（タイカ）券トス（幣法二ノ一）省令三ノ一紙幣ハ強制通用力ヲ有ス（幣法八、二九一四年）（佛陀紀元）三月末發行高二八、七〇七、六〇五（タイカ）アリ
- (2) 管理 紙幣ニ關スル事務ハ大藏大臣ノ指揮監督ノ下ニアル紙幣局長（Director of Paper Currency）之ヲ管理ス（幣法二ノ二及三）而シテ大藏大臣ハ各地ニ紙幣支局（Agencies）ヲ設置ス（法三）
- (3) 發行及兌換 大藏大臣ハ紙幣用紙ヲ作成シ之ヲ紙幣局長ニ交付シ局長ハ之ヲ支局ニ交付ス（幣法四、五）紙幣ノ發行ハ紙幣局長及同支局ニ於テ個人ノ請求ニ基キ暹羅國貨幣又ハ他種政府紙幣ト引換ニ之ヲ發行スルモノトス（幣法六、七）國庫亦之ヲ發行ス（幣法九ノ一）省令三
- 又紙幣ニハ額面價格ハ暹羅語、英語、阿刺比亞語、支那語及馬來語ヲ以テ示ス（省令四）
- 兌換ハ盤谷ニ於ケル紙幣局（勤務時間ハ午前十時）又ハ國庫ニ於テ之ヲ行フ（幣法九）省令三
- (4) 紙幣準備 紙幣發行ト引換ニ受納シタル正貨ハ全部ヲ準備トシテ保有ス（幣法二五）但シ其二五%以下ノ額ニ限り大藏大臣ノ適當ト認ムル證券ニ放資スルコトヲ得換言セハ紙幣ハ上記通貨有價證券及歳入ヲ擔保トシテ發行セラル、モノトス、尙本證券ハ大藏大臣及勅任委員一人ヨリナル委員會ニ於テ之ヲ保管シ其ヨリ生スル利息又ハ利益金ハ之ヲ紙幣利益金トシテ一般歳入ニ繰入ルヘシ之ニ關シテハ毎年一回官報ニ於テ公告ス（幣法一〇—一五）
- (5) 公告及附則 大藏大臣ハ毎月官報上ニ於テ(1)紙幣流通高合計(2)正貨在高(3)證券保有高ヲ公表ス（幣法一六）
- 尙大藏大臣ハ官報上ニ於テ(1)紙幣發行總高(2)發行所(3)本法ニ規定セサル發行規則ノ制定(4)

本法公布以前ノ諸命令ノ廢止變更等ニ關シテ命令ヲ發ス（幣法一）而シテ紙幣局長ニ關スル命令ハ本法ノ委任ニ基キ發セラル、モノニシテ命令中ニ示セル日ヨリ施行セラル、モノトス（幣法一七—一九）

### 第三銀行券 ナシ

但シ以前ハ發券銀行トシテ次ノ三行ヲ數フルコトヲ得タリ

- (1) 佛領印度支那銀行（東方匯理銀行）（Banque de l'Indo-Chine）ノ發行スル五、二〇、五〇及一〇〇（タイカ）券流通スルモ其額大ナラス蓋シ同行ハ一九〇二年幣制改革ニ到ルマテ銀貨兌換ノ銀行券ヲ發行シテ其流通高大ナリシカ前記幣制改革及同年ニ於ケル政府紙幣ノ發行ニ伴ヒ大ニ其流通額ヲ減シ遂ニ全ク其跡ヲ絶ツニ到レリ

- (2) 香上銀行（Hongkong & Shanghai Banking Corporation）及渣打銀行（Chartered Bank of India, Australia & China）ノ二英國銀行トス、此亦前記ト同一理由ニヨリ其流通高ハ減減セシモノトス

附言 以下幣制ニ關係スル事ニ非レトモ財政經濟上計數ノ時日ヲ知ル場合ニ必要ナルヲ以テ殊ニ遷都紀元ノ意義ニ付キテ説明ス（幣法一）

遷都紀元ハ Patankosindr（略字 R. S.）トシメナム、チャオ、フイ、ア、河（Menam Chao Phya River）ノ西岸ヨリ東岸ヘ遷都セシ紀元トス、然ルニ一九一三—一四年度ヨリ之ヲ廢シ佛陀紀元ヲ用ユルコトトセリ依テ左ニ其對照表ヲ掲ク（幣法一）



佛陀紀元	遷都紀元	耶蘇紀元 (三月末)	佛陀紀元	遷都紀元	耶蘇紀元 (三月末)
二、四三五	一	一八九二—九三	二、四四九	一	一九〇六—一九〇七
二、四三八	一	一八九五—九六	二、四五〇	一	一九〇七—一九〇八
二、四四三	一	一九〇〇—〇一	二、四五一	一	一九〇八—一九〇九
二、四四四	一	一九〇一—〇二	二、四五二	一	一九〇九—一九一〇
二、四四五	一	一九〇二—〇三	二、四五三	一	一九一〇—一九一一
二、四四六	一	一九〇三—〇四	二、四五四	一	一九一一—一九一二
二、四四七	一	一九〇四—〇五	二、四五五	一	一九一二—一九一三
二、四四八	一	一九〇五—〇六	二、四五六	一	一九一三—一九一四

戊佛領印度

第一、硬貨

本位貨幣ハ銀貨ニシテ單位ハ之ヲ「ピアスター」(Piaster)ト稱ス、「ピアスター」ハ之ヲ「一〇〇」サンチムニ分チ、「サンチム」ハ更ニ五「サベク」(Sapègue)ニ分ツ、「ピアスター」ノ總量目ハ二七瓦品位九〇〇位トス、從テ其純量目二四・二瓦トス  
各種貨幣ノ造幣率ハ次ノ如シ

種類	總量目		法定品位	公位	直徑	法貨
	法定總量目	公目				
銀貨	一ピアスター貨	二七〇〇〇	九〇〇位	三 <sup>00</sup> / <sub>100</sub> (法定上)	三九 <sup>14</sup>	無制限
	二ピアスター貨	一三・五〇〇	九〇〇位	二 <sup>00</sup> / <sub>100</sub> (法定下)	二九	
	五ピアスター貨	五・四〇〇	八三五位	三 <sup>00</sup> / <sub>100</sub>	二六	
	七ピアスター貨	二・七〇〇	八三五位	三 <sup>00</sup> / <sub>100</sub>	一九	
青銅貨	七ピアスター貨	五・〇〇〇	銅九五〇位	一〇%	二六	二ピアスター造法貨
	一サベク貨	二・〇〇〇	錫四〇位	五%	二〇	
亞鉛貨	七ピアスター貨	二・五〇〇	純亞鉛	九八〇位造許	二五	一ピアスター造法貨

尙「ピアスター」貨ト同一ノモノタル一仙貨アリ、總量目ハ一〇瓦又ハ七<sup>14</sup>/<sub>100</sub>瓦トス、カムボデアア貨ナリトス

而シテ佛領印度支那ノ本位ハ金兌換本位ナリトス

第二銀行券 印度支那銀行(東方銀行)(Banque de l'Indo-Chine)ノ發行スル一五、二五及一〇〇ピアスター券ノ四種流通ス

銀行券ハ之ヲ兌換スヘキ支店ノ營業境域内ニ於テ強制通用力ヲ有ス(後叙「一八七五命」、「一九〇五命」、「一九〇八命」)  
印度支那銀行ハ一八七五年一月二十一日命令ヲ以テ設立ヲ許可セラレシ發券銀行ニシテ其特權繼續期間ハ再度ノ命令(一九〇八年五月二十日及「一九〇九年一月二十一日」)ニヨリ一九二〇年一月二十一日迄延長セラレタリ

公稱資本金ハ一九一二年末現在ニテ四八、〇〇〇、〇〇〇法、定款三拂込資本金一二、〇〇〇、〇〇〇法、諸準備金ハ四四、六一八、八二二法ナリトス

銀行券流通高ハ一九一二年末現在ニテ八一、七二〇、一〇九法ニシテ其流通高ハ漸次増大スルヲ見ル即一九〇三年十年前ニ比スルニ一〇割三分三厘、一九〇八年(五年前)ニ比スルニ四割三分四厘ノ増加ナルカ如キ之レナリ(本銀行ノ銀行券ハ佛領印度支那ニ限リ發行高ハ大ナラスモ此數ヲ以テ然全部印度支那ニ於テ發行セルモノト見テ可ナリ)

銀行券ニ對シテハ三ノ正貨準備ヲ保有シ且即時拂債務總高ハ資本金及準備金三倍以下ナルヲ要ス「一九〇五命」、「七八銀行券」ハ之ヲ發行シタル支店又ハ殖民大臣ト本銀行トノ協約ニヨリ指定シタル支店出張所ニ於テ即時兌換ヲナス「一九〇七命」、「六」

己蘭領印度

第一、硬貨

一、現行法 一九一二年十一月十六日法律第三二五號一九一三年印度貨幣法及一九〇一年一月十一日法律第三一號貨幣法、法及「一九〇一法」ヲ以テ其略稱トス、而シテ一九一三年印度貨幣法ノ施行期ハ別ニ命令ヲ以テ定ム法、「一九」

蘭領印度中ニハ「スマトラ」、「瓜哇」、「マデイヤ」、「ボルネオ」、「ニューギニア」等ヲ含ムモノトス

尙舊法トシテハ一八五四年五月一日法律第七五號、一八五五年四月二十日法律第一二號、一八七七年三月二十八日法律第三一號等アリ

二、本位 兩本位制、但シ其實際ハ金兌換本位制ナリトス

三、單位 ギルダ(Guilder)、「ギルダ」=「100セント(Cents)」法、「ギルダ」ハ「フロリン」又「グレン」一ギルダノ純量目ハ〇、六〇四八瓦ニシテ邦貨換算價格ハ八〇錢六厘四〇、三、二二五六、二、九〇二トス

四、金貨 一〇及五ギルダ貨アリ法、「二五、一五、一九〇一法」其造幣率ハ大體本國タル和蘭貨幣ト同様ナリ即

種 類	總量目	品 位	純量目	通用最輕量目		邦貨換算價格
				量 目	割 合	
一〇ギルダ貨	六七二	九〇〇位	六〇四八	六六八六四	五 <sup>100</sup> / <sub>100</sub>	八〇六四・〇三二二六
五ギルダ貨	三三六	九〇〇位	三〇二四	三三四三二	五 <sup>100</sup> / <sub>100</sub>	四〇三二・〇一六一三

其他ノ點ニ就テハ和蘭(二〇三頁)ヲ参照スヘシ  
 又別ニ貿易金貨トシテ「ツウカーテン」貨アリ「法、二、五、一九〇一」法此亦本國ニ於ケルト同シク總  
 量目三、四九六三瓦品位九八三位純量目三、四三六八瓦トス

五、自由鑄造 許サス

而シテ貨幣ノ鑄造益金及舊貨幣引揚等ニ關スル收支ハ特別勘定トシ且鑄造益金ヲ以テ登錄  
 國債ノ買入ヲナスヘシトシタリ「法、四」

六、銀貨及補助貨幣

(1) 銀貨 本位銀貨トシテ二、一及三、一ギルダ一貨アリ、補助銀貨トシテ二、一及三、一ギルダ一貨アリ  
 其造幣率ハ次ノ如シ「法、二、五、六、一五」(空欄ハ)

種類	總量目	品位	純量目	公差		通用最輕量目		直徑	法貨
				量目	純分	量目	割合		
二、一ギルダ一貨	二五、〇〇〇	九四五位	二、三、六二五			二四、六二五	一五、〇〇〇	無制限法貨トス「法、二、一」	
一、一ギルダ一貨	一〇、〇〇〇	九四五位	九四五〇			九、七〇〇	三〇、〇〇〇		
三、一ギルダ一貨	五、〇〇〇	九四五位	四、七二五			四、八〇〇	四〇、〇〇〇		
二、一ギルダ一貨	三、一八〇	七二〇位	二、二八九六	一〇、〇〇〇	二、〇〇〇			一、九〇〇 一〇ギルダ一迄法貨トシテ 通用ス「法、二、一」	
三、一ギルダ一貨	一、二二五	七二〇位	〇、九〇〇〇	一五、〇〇〇	二、〇〇〇				

(2) 白銅貨及銅貨 白銅貨ニ五セント貨、銅貨ニ二、一及三、一セント貨アリ

其造幣率ハ次ノ如シ「法、二、六、一一」

種類	總量目	品位	公差		直徑	法貨
			量目	品位		
五セント貨	五、〇〇〇	白銅二五%銅七五%	百箇ニツキ五瓦	一〇、〇〇〇	二、一〇〇	五ギルダ一迄法貨
二、一セント貨	二、二五〇	純			三、一〇〇	
一、一セント貨	四、八〇〇	銅			二、三、五〇〇	二ギルダ一迄法貨
三、一セント貨	二、三三〇				一、七〇〇	

七、法貨

金貨及銀貨中二、一及三、一ギルダ一貨ハ無制限法貨ニシテ他ハ總テ制限法貨トシ次ノ制限ニ  
 ヨル「法、二、一一」

銀貨、二、一及三、一ギルダ一貨 一〇ギルダ一迄  
 白銅貨五セント貨 五ギルダ一迄  
 銅貨二、一及三、一セント貨 二ギルダ一迄

補助貨幣ト本位銀貨トノ交換官署及交換最低額ハ總督ノ定ムル所ニヨル「法、二、一、一三」  
 次ニ鑄造不真貨幣、流通ニヨル磨損ノ爲メ模様ノ全部若クハ一部識別スルコト能ハサルニ到  
 レル貨幣又ハ違法原因以外ノ事由ニヨリ流通不適トナリタル貨幣及通用最輕量目以下ニ磨  
 損セル本位貨幣等ハ之ヲ改鑄スヘシ「法、一、五」

八、貿易貨幣 第四段參照

貨幣制度 第八 亞細亞諸國 (三) 蘭領印度

第二、政府紙幣 ナシ

第三、銀行券 瓜哇銀行(De Javasche Bank)ノ發行スル銀行券流通ス

同銀行ハ一八二八年創立、資本金ハ六、〇〇〇、〇〇〇ギルダ、準備金ハ約一、八〇〇、〇〇〇ギルダ  
トス、銀行券及即時拂債務ニ對シテハ四〇%ノ正貨準備ヲ保有スヘシ

第九節 北米合衆國

第一、硬貨

甲、總説

硬貨ノ種類ハ次ノ如シ

- 本位貨幣 (金貨(Gold coins))
- 本位一弗銀貨(Standard Silver Dollars)
- 補助貨幣 (補助銀貨(Subsidiary Dollars))
- 小貨 (Minor coins)

而シテ一九一三年六月末現在ニテ各種貨幣流通高ハ三、四三六、五九八、五四〇弗(\*註一)ナルカ之  
ニ對シテ硬貨及後敘紙幣(銀行券ヲ含ム)ノ占ムル割合ハ次ノ如シ(\*註二及第三四〇頁以下參照)

硬貨	八九二、二八二、四六九弗	合計ニ對スル割合	二六%
紙幣	二、五四四、三一六、〇七一弗	同	上
合計	三、四三六、五九八、五四〇弗		七四%

但此區分ハ後敘金券、銀券及一八九〇年大藏省紙幣ヲ形式上ヨリ見テ紙幣中ニ合算セルニ據ル  
然レトモ此等ノモノハ各其金、銀貨ヲ代表セルヲ以テ之ヲ實質的ニ解シテ硬貨中ニ合算シ及之  
ニ政府紙幣ニ對スル一億五千萬弗ノ金準備ヲ加フルトキハ其割合ハ略正反對ノ現象ヲ呈スル

ニ到ルヘシ(註二)

硬貨 二五、一八〇、六五四、四〇弗 合計ニ對スル割合 七三%  
紙幣 九一、八五三、三一〇〇弗 同上 二七%

次ニ各種硬貨ノ占ムル割合ハ左ノ如シ(種類欄括弧中ハ實質的ニ觀察セル場合ノ種類ヲ意味ス)

種類	形的		實質的	
	數	額	數	額
金貨(金券ヲ含ム)	六〇八、四〇〇、七九九	六八・一九%	一、六一二、三九八、五〇八	六四・〇三%
本位一弗銀貨(銀券及大藏省紙幣ヲ含ム)	七二、一二七、一九三	八・〇八%	五四三、九一二、四五五	二一・六〇%
補助銀貨	一五四、四五八、〇七〇	一七・三一%	一五四、四五八、〇七〇	六・一三%
小貨	五七、二九六、四〇七	六・四二%	五七、二九六、四〇七	二・二八%
政府紙幣金準備			一五〇、〇〇〇、〇〇〇	五・九六%
合計	八九二、二八二、四六九	一〇〇・〇〇%	二、五一八、〇六五、四四〇	一〇〇・〇〇%

備考

小貨中ニハ國庫在高一、九九七、一六七弗ヲ含マサルモノトス

註一 貨幣流通高ハ各種貨幣ノ流通高ヲ集計セルモノニシテ硬貨ニ就キテハ前敘ノ如ク又紙幣ニ就テハ後敘ノ如ク總テノ種類ヲ網羅シタリ從テ此數字ハ北米合衆國大藏省年報ニ於テ記載セル貨幣總高(Total Stock of Money)又ハ貨幣流通高(Money in Circulation)ト一致セサルヘシ蓋シ同書ニテハ硬貨中ヨリ小貨ヲ紙幣中ヨリ要求拂大藏省紙幣、小額面紙幣、一年及

二年滿期大藏省紙幣及複利付大藏省紙幣ノ四種ヲ除外セルヲ以テナリ

註二 此割合ハ過去數年間ニ於テ殆ント差違ナキモノトス

乙、各説 以下主要規定ヲ分説スヘシ

一、現行法 本調中ニ引用セル主タル法律(内\*印)及其略稱ハ次ノ如シ

\*一七九二法ハ同年四月二日法律第一六號造幣局設置及北米合衆國貨幣鑄造ノ件ノ略

\*一八三七法ハ同年一月十八日法律第三號前記ニ對スル改正法律ノ略

\*一八四九法ハ同年三月三日法律第一〇九號金弗及ダブル、イーグル貨鑄造ノ件ノ略

\*一八五三法ハ同年二月二十一日法律第一二九號半弗以下ノ銀貨ニ關スル現行法變更ノ件ノ略

ノ略

\*一八五七法ハ同年二月二十一日法律第五六號外國貨幣通用力及仙貨鑄造ニ關スル件ノ略

〔改定〕ハ貨幣制度ニ適用スヘキ改定法律(Revised Statutes)ノ略

\*一八七三法ハ同年二月十二日法律一三一號造幣局、分析局及貨幣ニ關スル諸法律改正ノ件(法定略稱、一八七三年ノ貨幣法、同法、六七)ノ略

\*一八七八法ハ同年二月二十八日法律第二〇號一弗銀貨ノ鑄造ヲ再開シ及之ヲ法貨タラシムル件所謂ブランド、アリソン條例(Bland-Allison Bill)ノ略

\*一八九〇法ハ同年七月十四日法律第七〇八號地銀購入、大藏省紙幣發行其他ノ件、所謂シャー

マン條例(Sherman Bill)ノ略



三單位 弗(Dollar) 一弗 = 100仙(Cents) 略稱弗ヲ又ハDトス而シテ一弗ノ價值ハ次ノ如シ  
 「一八三七法、一〇」ハ品位九〇〇位ノ造幣金ニ五<sup>100</sup>グレイン即一六七一、八五〇、七瓦ヲ以テ一弗ト定メ「一八七三法、一四」改定、三五一一及一九〇〇法、一」ハ共ニ之ヲ維持ス從テ其純量目ハ二三・二二グレイン即一・五〇四、六六五、六瓦トス故ニ邦貨換算價格ハ二圓六厘二二八、八二四、九一五・三〇〇トス然レトモ此以前ニ在リテ「一七九二法、九」ハ純金ノ量目二四・七五グレインヲ以テ及「一八三四法、一」ハ純金ノ量目二三・二二グレインヲ以テ一弗トセシヲ以テ其價值ハ多少變更セリト云フヘシ

抑、弗ノ價值ハ一七八六年合衆國議會ニ於テ其當時ノ通貨タル西班牙弗貨(Spanish Piaster or milled Dollar)ニ準シ純銀三七五・六四グレインヲ以テ一弗ト定メシニ其端ヲ發セリ而シテ當時ノ金銀比價ハ一四・九六ナルヲ以テ之ハ純金二五・一一グレインニ應當スヘキモノトス然レトモ上記ノ銀貨ハ實際鑄造セシテ遂ニ一八九二年ノ貨幣法ニ到リ上記ノ如ク純金ノ量目二四・七五グレインヲ以テ一弗トシ且金銀法定比價ヲ一對一五トシテ純銀三七・一二五グレインヲ以テ同價值ヲ有スルモノトセシナリ

四、金貨 現行法ハ「一八四九法、一八三七法、八、一〇、二五」改定、三五一一、三五一四、三五三五等トス  
 現今鑄造セラルル金貨ハ「ダブル、イーグル」貨(一〇弗)、「イーグル」貨(一〇弗)、「ハーフ、イーグル」貨(五弗)、「クォーター、イーグル」貨(二弗)、「ニ」貨(一弗)ノ四種ニシテ、三弗及一弗金貨ハ嘗テ鑄造セラレシコトアリシモ一八九〇年九月二十六日法律第九四五號ヲ以テ之ヲ廢止セリ但比較ノ便宜上附記スルコト

ト、セリ  
 而シテ最初ノ貨幣法タル「一七九二法、九」ニ於テ規定セル金貨ハ「イーグル」(一〇弗)、「ハーフ、イーグル」(五弗)、「クォーター、イーグル」(二弗)、「ニ」(一弗)ノ三種ニシテ之ノ鑄造ハ一七九三年二月九日法律第五號外國貨幣ニ關スル件第二條及一七九七年七月二十二日ノ大統領宣言ニ依レハ一七九五年七月三十一日ニ初メラレタルモノトス、因ニ銀貨ノ鑄造開始時期亦此宣言ニ於テ確定セリ(次掲ノ基礎ハ一三九瓦、純量目ハ二・三〇〇・九三三・二五九瓦トシテ算出セシモノトス)

種 類	ダブル、イーグル貨 (一〇弗)	イーグル貨 (一〇弗)	ハーフ、イーグル貨 (五弗)	三 弗 貨	クォーター、イーグル貨 (二・五弗)	一 弗 貨
(1) 邦貨換算價格	四〇・二四七、七三〇	一〇〇・六三三、八八五	一〇〇・三二二、四四二	六〇・一八六、八六一	五〇・一五五、七三〇	二〇・〇六三、三八二
(2) 品 位	九〇〇位	九〇〇位	九〇〇位	九〇〇位	九〇〇位	九〇〇位
(3) 造幣金一疋ヨリ鑄造シ得ル箇數	二九、九〇六、八一六	五九、八一三、六三三	一一九、六二七、六六四	一九九、三七七、七三三	二二九、五五五、二一五	五九八、一三六、三三三
(4) 一箇ノ純量目	五・一六グレイン	一〇・三二グレイン	一〇・三二グレイン	一〇・三二グレイン	一〇・三二グレイン	一〇・三二グレイン
(5) 純金一疋ヨリ鑄造シ得ル箇數	三三、四三三、七〇四	一六、七二八、五〇七	八、三九九、二五五	五、〇一五、五五二	四、一七九、六六七	一、六七、一八五、〇七五
(6) 一箇ノ純量目	三三、三三〇、六九九	六六、六六三、三九八	一三三、三三二、七九六	二二二、五三七、九九三	一六四、六四五、五九二	六六、四六一、三九八
(7) 千箇ノ平均量目	四六、四〇四、四九二	二二、二二二、二九二	一一、一六一、一六一	六九、六六六、六六六	五八、一〇七、一〇七	二二、二二二、二九二
(8) 公差	各箇ニテ	各箇ニテ	各箇ニテ	各箇ニテ	各箇ニテ	各箇ニテ
千箇ニテ	五千弗毎ニ一%オン	同	同	同	同	同

種	類	直径	重量
(9) 通用最輕量目	ダブル、イーグル貨 (二〇弗)	同	同上
	イーグル貨 (一〇弗)	同上	同上
	ハーフ、イーグル貨 (五弗)	同上	同上
	三弗貨	同上	同上
	クォーター、イーグル貨 (二・五〇弗)	同上	同上
(10) 直徑		三・四 二・七 二・三 一・八 一・三	

其沿革ヲ示セハ次ノ如シ

(一) 品位 「一七九二法、一一八三七法、八」ニヨレハ兩法何レモ標準金(Standard Gold)即造幣金ノ品位ヲ九〇〇位トシ他ノ參和金屬ニ付テハ之ヲ銀及銅トシ銀ハ其二分ノ一以上ヲ超ユヘカラサルモノトセリ又別ニ實施期間ノ短カリシ「一八三四法、一」ハ別箇ノ品位ヲ定メ八九九・二二五位トシタリ然ルニ「一八七三法、一三」及「改定、三五・一四」ハ合成物ノ割合ヲ改メ銅又ハ銀及銅トシ且後者ノ場合ニ於テ銀ハ十分ノ一ヲ超過スルヲ得サルモノトセリ

(二) 各種貨幣ニ就キ

(1) 「ダブル、イーグル貨(Double Eagles)」 「一八四九法、一」ニ依リテ始メテ鑄造ス總テノ點ニ付テ其當時ノ金貨關係法規ニ準スヘキモノトス但公差ハ各箇ニ就キテハ「一八七三法、一四」改定「三五〇五」ハキテハ「三・二」ニ止マルヘトス「同法、四」然ルニ「一八七三法、一四」改定「三五〇五」ハ大數公差ノミヲ改メテ五千弗ニ就キ一〇〇オンストシタリ又通用最輕量目ハ發行ノ年ヨリ二十年間ニ依ル磨損ヲ總量目ニ對シテ「一八七三法、一六」改定「三五・三五」止マルヘトセリ「一八七三法、一六」改定「三五・三五」

(2) 「イーグル(Eagles)半イーグル(Half-Eagles)及クォーター(Quarter-Eagles)貨」 「一七九二法」「一八三

四法「一八三七法」「一八四九法」及「一八七三法」ノ五回ノ改定ヲ經タリ次ノ如シ因ニ一印ハ變更ナキ場合ヲ意味ス但シ最輕量目ニ就キテハ此限ニ在ラス尙…印ハ規定ナキモノナリ

貨	幣	法	イーグル貨 (十弗)		半イーグル貨 (五弗)		イーグル貨 (十弗)	
			品位	純量目	品位	純量目	品位	純量目
幣	法	「一七九二法、九」	品位	二〇位	品位	二〇位	品位	二〇位
			純量目	二七〇グレイン	純量目	二七〇グレイン	純量目	二七〇グレイン
幣	法	「一八三四法、一」	品位	二〇位	品位	二〇位	品位	二〇位
			純量目	二五八グレイン	純量目	二五八グレイン	純量目	二五八グレイン
幣	法	「一八三七法、八、一〇、二五」	品位	九〇位	品位	九〇位	品位	九〇位
			純量目	二五八グレイン	純量目	二五八グレイン	純量目	二五八グレイン
幣	法	「一八四九法、四」	品位	九〇位	品位	九〇位	品位	九〇位
			純量目	二五八グレイン	純量目	二五八グレイン	純量目	二五八グレイン





スルコトヲ得一八七三法二〇但其後金棒トナスニハ五千弗以上ナルヘシトス一八八二年五月二十六日法律第一九〇號

(2) 鑄造料 鑄造料ハ現時一切之ヲ徴收セ、但精練費ハ此限ニ在ラス蓋當初一七九二法一四ハ之ヲ徴收セスシテ唯輸納者又ハ造幣局長ノ撰擇ニヨリ地金銀ト引換ヘニ貨幣ヲ交付スルトキニハ鑄造期間ニ要スル利息ヲ償ヒ且造幣收益金ニ充テシカ爲メニ輸納地金銀中ノ純金銀量ニ對スル $\frac{1}{5}$ %ヲ控除シ之ヲ以テ當該造幣局經費支辨ノ爲メニ基金ヲ組織スヘシトセリ但一八三四年六月二十八日法律第九五號金貨ニ關スル件第二條ハ輸納後五日以内ニ支拂フトキニ限リ輸納額ノ $\frac{1}{5}$ %ヲ徴收スルモノト定メタリ(此點後敘參照然ルニ一八七三法二五ハ金貨鑄造料ヲ $\frac{1}{5}$ %トシ且貿易弗ノ鑄造料ヲ始メ地金(舊法ニテハ標準品位以下)又ハ鑄造不適當ノモノヲ精練シ竝ニ標準品位以上ノ場合ニ對スル參和銅ノ價格等ハ實費以下ニ於テ造幣局長カ大藏卿ト協定シテ定ムヘキモノトス改定三五二四亦之ヲ維持ス然ルニ一八七五年一月十四日法律第一五號正貨支拂再始ノ件第二條ニヨリ金貨鑄造料ニ關スル改定三五二四ノ部分ヲ廢止シ且一八八七年三月三日法律第三九六號貿易弗回收及改鑄ノ件ニヨリ貿易弗ノ鑄造ヲ禁止セシカハ前記鑄造料ニ關スル爾餘ノ部分ハ當然消滅スルニ到リシモノトス但金棒作成ニ關シテハ最初ノ法律(一八八二年五月)ハ手數料ヲ徴セサリシカ一八九一年三月三日ノ法律第五四一號一八九一—九二年度財政法ニヨリ初メテ大藏卿ノ裁量ニ基キ手數料トシテ實費ヲ徴收スルコト、シ次テ一九〇一年三月三日法律第八六七號ノ

改正ニ依リテ大藏卿ハ手數料ヲ課シ又ハ課セサルコトヲ得ト改メ現今ニ及フ

次ニ地金銀ノ精練費及分析試驗費ヲ徴スルハ古クヨリ行ハル、所ニシテ即一七九五年三月三日法律第四七號改正貨幣法第五條造幣局出納官ハ輸納金ニ對シ一オンス毎ニ四仙銀一オンス毎ニ二仙若シ分析試驗ヲ要スルトキハ六仙ヲ徴スルモノトス其後徴收スル料金ニ差違ハアレトモ實費ヲ徴スル點ハ一貫シテ變スル事ナカリキ例ヘハ一八七三法四六改定三五四六ヲ始メ各年度財政法ニ於テ之ヲ明規セリ

(3) 輸納手續 地金銀(現今ハ地金銀輸納手續ニ關シテ舊法ヲ輸納セルトキハ)監理官ハ之ヲ秤量シ受領書ヲ交付ス、地金銀カ造幣ニ適スルヤ否ヤハ分析官之ヲ決シ鑄解ノ方法ハ鑄解官及精練官之ヲ掌ル、監理官ハ地金銀ノ一部ヲ分析官ニ交付シ分析官ハ其試驗後、品位及手數料ヲ報告スヘシ是ニ於テ局長ハ其價格ヲ算定ス之ノ算定書ニハ分析官局長ト共ニ署名スヘシ一八七三法二二—二四、二六改定三五二一—三五二三、三五二五價格算定後貨幣又ハ金銀棒カ鑄造セラレタルトキハ之ヲ輸納者ニ交付ス、交付スヘキ貨幣種類ハ輸納者ノ希望ニヨリテ定ム但不便又ハ不能ナルトキハ此限ニ在ラス而シテ各造幣局及各試金所ニ於テハ輸納ニ對スル交付貨幣ニ充テシカ爲メ資金トシテ一定金額ヲ保有スヘシ一八七三法四五、四七改定三五四四、三五四五、一八三七法三〇、一八五〇年五月二十三日法律第一二號貨幣法改正ノ件

前記一八七八年財政法

(4) 造幣利益金 尙北米合衆國ニテハ造幣利益金ヲ以テ主トシテ造幣局費及現金輸送費ニ充ツ



certificates)ヲ受クルヲ得ルモノトセリ「同法、一三」次テ「一八九〇、法、一三」ハ同年八月十四日以降地銀購入制限ニ關スル規定ヲ改メテ「同法、五」大藏卿ハ毎月四百五十万オンス以下ノ地銀ヲ純銀三七一<sup>10</sup>/<sub>100</sub>グレイン當一弗以下ノ價格ニテ購入シ之ヲ鑄造材料トシテ一八九一年七月一日迄ハ毎月二百万オンスヲ其以降ハ後敘大藏省紙幣兌換ノ爲メ必要ナル限度ニ於テ之ヲ鑄造スヘシトシ且地銀購入ニ對シ大藏省紙幣(Treasury Notes)ヲ發行スヘシトシ次テ一八九三年十一月一日法律第八號「一八九〇、法」二部改正ノ件ニヨリテ銀塊購入ヲ廢止スルコト、セリ然ルニ一八九八年六月十三日法律第四四八號戰費支辨財源ノ件第三四條ニヨリ再ヒ「一八九〇、法」ニヨリテ購入セル地銀ヲ以テ毎月百五十万弗以上ノ一弗銀貨ヲ鑄造スルコト、ス

又一八九九年三月三日ノ法律第四二四號「一八九九—一九〇〇」年財政法ニヨリ合衆國カバ里大博覽會參加紀念トシテ「ラファエット」紀念會カ建設スル「ラファエット」豫費支辨ノ爲メ「ラファエット」弗(Lafayette Dollar)五万弗ヲ鑄造ス

(2) 貿易弗貨(Trade Dollar) 「一八七三、法、一五」ヲ以テ始テ鑄造ス其品位九〇〇位、總量目四二〇グレイン其最輕量目ニ就テハ後敘半弗貨ト同レトシ五弗迄法貨トシテ通用ス、改定、三五八六亦同シ然ルニ一八七六年七月二十二日裁可ノ聯合決定第二條ニヨリ貿易弗ハ法貨ニ非ス單ニ輸出ニ應スル目的ニ於テノミ之ヲ鑄造スルモノトシ、次テ一八八七年三月三日法律第三九六號貿易弗回收及改鑄ノ件ニヨリ同年九月三日以降其鑄造ヲ停止シ且合衆國本

支金庫ニテ銀貨ヲ以テ交換シ及本支金庫竝ニ合衆國々庫金取扱銀行ニ於テ受領又ハ預託セラレタル貿易弗ハ之ヲ再ヒ發行セシテ他ノ銀貨ニ改鑄スヘキモノトス但本貨鑄解ニヨリテ生スル地銀ハ之ヲ一八七八年二月二十八日法律規定ノ地銀ト看做サス(參照段)

(3) 半弗五〇仙<sup>10</sup>/<sub>100</sub>、弗二五仙<sup>50</sup>/<sub>100</sub>、仙<sup>100</sup>/<sub>100</sub>、仙<sup>100</sup>/<sub>100</sub>、半<sup>50</sup>/<sub>100</sub>、仙<sup>50</sup>/<sub>100</sub>及三仙貨 二〇仙貨ハ一八七五年三月三日法律第一四三號二〇仙銀貨發行ノ件ニ依テ發行シ一八七八年五月二日法律第七九號ニヨリ之ヲ廢止シ、ダイム貨(Dimes)ハ「一七九二、法、九」ニ依レハデイーム(Dimes)ト稱セシヲ「一八三七、法、九」ヲ以テ現在呼稱ノ如ク改メ、半<sup>50</sup>/<sub>100</sub>、仙<sup>50</sup>/<sub>100</sub>貨ハ「一八七三、法、一五」ニ依リテ其鑄造ヲ停止シメリ、三仙貨ハ一八五一年三月三日法律第二〇號郵便料改正ノ件第十一條及之ヲ改正セル一八五三年三月三日法律第九六號「一八五二—三」年度財政法第七條ニヨリテ鑄造ヲ開始シ「一八七三、法、一五」ニヨリ之ヲ廢止ス

量目其他ノ規定ノ變更ハ次ノ如シ(基キ推算セルモノ)

貨		幣		法	
總量目	純量目	總量目	純量目	總量目	純量目
二〇八グレイン	一八五 <sup>10</sup> / <sub>100</sub> グレイン	二〇六 <sup>10</sup> / <sub>100</sub> グレイン	一八五 <sup>10</sup> / <sub>100</sub> グレイン	一九二グレイン	一七二 <sup>10</sup> / <sub>100</sub> グレイン
一〇四グレイン	一〇三 <sup>10</sup> / <sub>100</sub> グレイン	一〇三 <sup>10</sup> / <sub>100</sub> グレイン	九六グレイン	千弗ニツキ	二〇 <sup>10</sup> / <sub>100</sub> オンス
				六 <sup>10</sup> / <sub>100</sub> 瓦	

貨幣制度 第九 北米合衆國 (一)硬貨 (6)補助貨幣及本位銀貨



白銅貨 五仙、三仙、一仙ノ三種此内五仙ノミ引續キ鑄造ス  
 青銅貨 二仙、一仙ノ二種此内一仙ノミ引續キ鑄造ス  
 銅貨 一仙、半仙共ニ鑄造セス

而シテ一仙貨ノ變遷ハ次ノ順序ニ依ル

(第一)一仙銅貨 一七九二法、九ニテハ銅十一ベニウエイトナリシカ一七九三年一月十四日ノ改正法ニ依レハ之ヲ銅二〇八グレイントセリ、然ルニ一八五七法、四ハ之ヲ廢止ス

(第二)一仙白銅貨 一八五七法、四ニテハ同年二月二十一日以降ハ銅八八%、白銅一二%ヨリナル造幣材料七二グレインヲ以テ之ニ充テシカ一八六四年四月二十二日法律第六六號「一八五七法改正ノ件ハ之ヲ廢止ス

(第三)青銅貨 前記一八六四年ノ法律ハ同年四月二十二日以降ハ銅九五%、錫及亞鉛五%(但割合ハ造幣局長ノ)ヨリナル造幣材料四八グレイン又ハ $\frac{1}{2}$ トロイ・オンスヲ以テ一仙貨トシテ今日ニ及ヘリ

今現行造幣率ヲ示セハ次ノ如シ

價	格	總	量	目	品	位	公	差	直	徑
五仙白銅貨	七七・二六グレイン				三ノ四銅、四ノ白銅	一口ニ於ケル通用極限	各箇ニ就キ	三グレイン		二・一純
一仙青銅貨	四八グレイン				九五%銅、五%錫及亞鉛其割合ハ造幣局長之ヲ定ム	二五仙	各箇ニ就キ	ニグレイン		一九純

次ニ其沿革ヲ示スヘシ

(1)青銅貨 一、一仙貨ノ兩種ナリシカ二仙青銅貨ハ一八七三法、一六ニ依リ廢止セラル

價	格	關係	法	規	總	量	目	品	位	公	差	法	貨
二仙青銅貨	一八六四年四月二十二日法律第六六號、一八五七法改正ノ件第一條				九六グレイン又ハ $\frac{1}{2}$ トロイ・オンス			割合ハ造幣局長之ヲ定ム	各箇ニテ	四グレイン		二〇仙	但後一八六五年三月三日法律第一〇〇號三仙白銅貨ノ造ノ件第六條ニヨリ四仙ニ變更ス
一仙青銅貨	前記一八六四年法律				四八グレイン又ハ $\frac{1}{2}$ トロイ・オンス			割合ハ造幣局長之ヲ定ム	各箇ニテ	四グレイン		一〇仙	但後前記同様四仙ニ變更ス

(2)銅貨 一、 $\frac{1}{2}$ 仙ノ兩種ナリシカ「一八五七法、四」ニ依リ廢止ス

價	格	總	量	目	品	位	公	差	法	貨	
一仙銅貨	一七九二法、九	一ベニウエイト			二〇八グレイン	一七九五年三月三日法律四七號第八條及一七九六年一月二十六日大統領告示	一六八グレイン			一ベニウエイト毎ニ	一六八グレイン
半仙銅貨	五三ベニウエイト				一〇四グレイン		八四グレイン			一ベニウエイト毎ニ	八四グレイン

(3)白銅貨 五三、一仙貨ノ三種アリ次掲ノ法律ヲ以テ鑄造ヲ開始セリ然レトモ三仙貨ハ一八九〇年九月二十六日法律第九四五號改定三五・一〇改正ノ件ニ依リ同日以後及一仙貨ハ一八六四年四月二十二日法律第六六號「一八五七法改正ノ件第一條ニ依リ同日以後何レモ

其鑄造ヲ廢止シタリ

價 格	關 係 法 規	總 量 目	品 位	通 用 極 限	公 差	交 換
五 仙 白 銅 貨	第一八六六年五月十六日法律 第八一號五仙貨鑄造ノ件 改定三五五三三三三五 改定三五五三三三三五	七七・一六 七七一・六 七七一・六 三〇・〇 三〇・〇	銅和自銅 銅和自銅 銅和自銅 銅和自銅 銅和自銅	一 弗 各箇ニズレイン以下 二五仙 各箇三ズレイン 六〇仙 各箇四ズレイン以下	百弗以上ノ場合ニ限	
三 仙 白 銅 貨	第一八六五年三月三日法律第 一〇〇號三仙貨鑄造ノ件 改定三五五三三三三五 改定三五五三三三三五	三〇・〇 三〇・〇 三〇・〇 三〇・〇	銅和自銅 銅和自銅 銅和自銅 銅和自銅	二五仙 各箇三ズレイン 六〇仙 各箇四ズレイン以下		
一 仙 白 銅 貨	第一八七三年三月三日法律第 一〇〇號一仙貨鑄造ノ件 改定三五五三三三三五 改定三五五三三三三五	七二・〇 七二・〇 七二・〇 七二・〇	銅和自銅 銅和自銅 銅和自銅 銅和自銅	前記一八六五年ノ法 律第六條ニヨリ四 仙	各箇四ズレイン	

七、法貨補助貨ノ交換並ニ外國貨幣

各種貨幣ノ通用制限額ハ次ノ如シ

- (1) 金貨ハ法定量目ヲ有シ且最輕量目以上ヲ有スル場合ニハ如何ナル額ニテモ法貨トシテ又若シ上記量目以下トナリシ場合ニハ其實價ニテ法貨トシテ通用ス一七九二法、一六一八三七法、一〇一八七三法、一四一四改定三五八五五而シテ其鑄造ノ時ヨリ二十年間流通シテ之以下減量スルカ又ハ此割合ニテ減量セルトキハ大藏卿ノ定ムル所ニヨリ大藏省ハ其券面額ニテ之ヲ受領シ且同最輕量目以下トナリシ場合ニハ之ヲ改鑄スヘシ一八七三法、一四一四改定三五〇五三五一
- (2) 銀貨ハ一七九二法、一六一八ニ依レハ其種類ヲ問ハス無制限ニ法貨トシテ通用スルモノトシテ一

八三七法、九亦之ヲ維持セシカ一八五三法、二一八半弗以下ノ銀貨ハ五弗迄法貨トシテ通用スルモノトシテ一八七三法、一五八一弗銀貨ノ鑄造ヲ廢止スルト共ニ一切ノ銀貨ハ五弗迄法貨トシテ通用スルモノトシテ改定三五八六及前記一八七五年三月三日法律第一四三號ハ前記制限額ニ關スル規定ヲ維持シ更ニ一八七九年六月九日法律第一二號ニ於テハ之ヲ十弗ニ擴張セリ之レ現行法トス

而シテ一弗銀貨ハ一八七八法、一ニヨリテ其鑄造ヲ再開スルト共ニ特別ノ定メナキ限リ公私共無制限ノ法貨トシテ通用スルモノトセリ

- (3) 小貨中現今引續キ鑄造セラル、五仙白銅貨、一仙青銅貨ハ共ニ二五仙迄法貨トシテ通用スルモノトス一八七三法、一六一六改定三五八七

次ニ補助貨ノ交換ニ就テハ一八七一年三月三日法律第一二四號銅貨及其他ノ定位貨幣交換ノ件ニヨリテ大藏卿ハ時々其定ムル細則ニ基キ法貨ヲ以テ銅貨青銅貨白銅貨其他磨損補助貨ヲ交換スヘク其額ヲ二〇弗以上トス而シテ其交換實蹟ニ依リ補助貨ヲ饒多ナリト認ムル時ハ此發行ヲ停止スルヲ得ト定メタリ尙交換額ハ五仙白銅貨ニ就テハ一〇〇弗以上一八六六年五月十六日法律第八一號五仙貨發行ノ件第五條トセシヲ前記ノ法ニヨリ二〇弗ト改メタリ一八七三法、三〇一〇改定三五二九一九〇六年四月二十四日法律第一八六一號改定三五二九改正ノ件

又外國貨幣ハ一切法貨トシテ通用スルヲ得ス改定三五八四從テ其價值ハ純分ニヨルコト、

シ每四半季即一、四七及十月ノ一日ニ(但舊法ハ一月ニ)ニ造幣局長之ヲ定メ大藏卿之ヲ布告ス  
 ルコト、ス改定三五六四「一八九〇年十月一日法律第一二四四號歳入ヲ輕減シ及關稅ヲ公平  
 ナラシムル件第五二條及一八九四年關稅定率表第二五條」  
 但改定三五六五、三五六七「一八五七法」ノ規定ヲ維持シテ前敘改定三五六四ト同時ニ左ノ  
 換算率ヲ公表セリ即

英國ソヴェレン貨(一磅貨) 四弗八六仙六五、而シテ一八七四年一月一日以降ハ一弗 五四  
 片、一磅 四弗四四仙トセル割合ハ之ヲ禁止ス

西班牙弗(Spanish Pillar Dollar)及墨西哥弗ハ次ノ如シ

西弗即ニリール(2 Reals) 110 仙

西弗即一リール(1 Real) 10 仙

西弗即半リール(1/2 Real) 5 仙

然レトモ同國カ初メテ貨幣法ヲ制定セシ當時ニ於テハ外國貨幣ノ流通ヲ許可セシモノトス  
 即一七九三年二月九日法律第五號外國貨幣ニ關スル件(外國貨)ニ於テ此原則ヲ定メ、外國金銀  
 貨(但英吉利、葡萄牙、佛蘭西、西班牙ノ貨幣)ハ一七七三年七月一日以降合衆國內ニ於テ法貨トシ  
 テ通用スルモノトシ同法、大統領カ一七九二法ニ基キ金銀貨ノ鑄造ヲ初メシメタル時(此時  
 大統領之ヲ宣言ス)ヨリ三年ヲ經過スルトキハ西班牙弗貨(Spanish milled Dollar)以外ノ外國貨幣ハ法貨ト  
 ラサルニ到ルモノトシタリキ同法「1」

而シテ大統領ハ一七九七年七月二十二日ニ上記宣言ヲ爲シテ銀貨ハ一七九四年十月十五日  
 以降金貨ハ一七九五年七月三十一日以降之ヲ鑄造シ從テ外國貨幣ハ一七九八年七月三十一  
 日以降法貨タラサルニ到ルモノトセシカ一七九八年二月一日ニ到リテ前記第二條ノ規定(即  
 外國貨幣ヲ法貨タラ)ノ施行ヲ更ニ九八年七月一日以降三年間及ヒ爾後各一年間次期議會ノ終  
 了スル迄停止シ其後一八〇六年四月十日法律第二二號第二條ハ前記一七九三年外國貨幣法  
 第二條ノ規定執行ヲ一八〇九年四月十日迄停止シテ漸ク外國貨幣ノ整理ヲ爲スニ到リシナ  
 リ

八、補助貨ノ鑄造制限額 此點ノ規定ナシ

但一八七六年七月二十二日聯合決定第一七號銀貨鑄造ノ件第三條ニヨレハ補助銀貨ノ發行  
 總額ハ之ヲ五千万弗ト定メ次テ一九〇〇法、一八八九〇法ニヨリテ購入セル地銀ヲ以テ補  
 助銀貨ヲ鑄造スヘシ但其總額ハ一億弗ヲ超過スルヲ得スト定メタリ然ルニ一九〇三年三月  
 三日法律第一〇〇七號一九〇三—四年度雜費支辨ノ件ニヨリテ前記制限額ヲ削除セリ

九、貿易貨幣 貿易貨幣トシテ一八七三法、一五ニ基キ貿易弗ヲ鑄造シ五弗迄法貨トシテ通用セ

シメ改定三五—三、三五八六ハ之ヲ維持セシモ一八七六年七月二十二日聯合決定第一七號銀  
 貨鑄造ノ件第二條ニ依リ之ヲ法貨タラサルモノトシ單ニ輸出ノ目的ニ於テノミ鑄造スルモ  
 ノトス然ルニ一八八七年三月三日ニ到リテ其鑄造ヲ停止セリ

一〇、法定平價

貨幣制度 第九 北米合衆國 (一)硬貨 (8)補助貨鑄造制限額 (10)法定平價



國別(單位)	合衆國金貨ニ對スル外國貨幣		外國金貨ニ對スル合衆國貨幣	
	一〇〇弗ニ對シ	一イールド(十弗)貨ニ對シ	單位一〇〇ニ對シ	主タル金貨ニ對シ
日本(圓)	二〇〇六二三八八二五	二〇〇六二三八八二五	四九八四四七六六六五五	二〇圓貨 九九六八九五二五七
英吉利(磅)	二〇〇五四八八六二五	二〇〇五四八八六二五	一〇磅 四八六六四九三三三	一 磅 四八六六四九三三三
佛蘭西(法郎)	一〇〇五〇七一七九	一〇〇五〇七一七九	一〇法郎 四八六六四九三三三	二〇法貨 三八五八九六三〇八
獨逸(馬克)	五二八七三三九九九	五二八七三三九九九	一〇馬克 四八六六四九三三三	二〇馬貨 四七六四一九四一〇
露西亞(盧布)	四一九八〇七〇三六六	四一九八〇七〇三六六	一〇盧布 四八六六四九三三三	一 盧布 四七六四一九四一〇
埃太利(里拉)	一九四三三三六五五	一九四三三三六五五	一〇里拉 四八六六四九三三三	即十五倍 七七七八三三八三
和蘭(盾)	四九三三三三三三三	四九三三三三三三三	一〇盾 四八六六四九三三三	二〇冠貨 四〇五二四三三三
土耳其(里拉)	二四八七八七三〇	二四八七八七三〇	一〇里拉 四八六六四九三三三	一〇富貨 四〇一九四七七五
亞爾然(比索)	三三三三三三三三三	三三三三三三三三三	一〇比索 四八六六四九三三三	二〇冠貨 五五五九六七七
墨西(比索)	二二〇六二二〇八	二二〇六二二〇八	一〇比索 四八六六四九三三三	二五比貨 一〇九九〇六四八〇
伯刺西(比索)	一〇三六五九四四六	一〇三六五九四四六	一〇比索 四八六六四九三三三	一〇比貨 四八六六四九三三三
智倫比(比索)	一九二九三三〇三	一九二九三三〇三	一〇比索 四八六六四九三三三	一〇比貨 四八六六四九三三三
古倫比(比索)	二七三九九五七	二七三九九五七	一〇比索 四八六六四九三三三	一〇比貨 四八六六四九三三三
加奈太(比索)	二〇五四八八六二五	二〇五四八八六二五	一〇比索 四八六六四九三三三	一〇比貨 四八六六四九三三三

備考

本表中換算數ノ最後ノモノニ附シタル符號ニ就キ。印ハ整除、◎印ハ五入、印ハ四捨ヲ意  
味スルモノトス

一、正貨輸送點

- (1) 日本トノ關係  
 法定平價ハ一〇〇圓 四九八四四八弗諸經費七二八七ナリトシテ  
 正貨輸出點 橫濱ニ於ケル紐育宛電信爲替カ 五〇・二〇八弗ナルトキ  
 正貨輸入點 橫濱ニ於ケル紐育宛電信爲替カ 四九・四八一弗ナルトキ
- (2) 英吉利トノ關係  
 法定平價ハ一磅 四八六六四五弗諸經費三三ナリトシテ  
 正貨輸出點 紐育ニ於ケル倫敦宛電信爲替カ 四・八八三五弗ナルトキ  
 正貨輸入點 紐育ニ於ケル倫敦宛電信爲替カ 四・八四九四弗ナルトキ
- (3) 佛蘭西トノ關係  
 法定平價ハ一弗 五二八二七法諸經費三三ナリトシテ  
 正貨輸出點 巴里ニ於ケル電信爲替(金打歩四)カ 五・二二一法ナルトキ  
 正貨輸入點 巴里ニ於ケル電信爲替カ 五・一六四法ナルトキ
- (4) 獨逸トノ關係  
 法定平價ハ一〇〇馬 二三・八二〇八弗四馬 九五・二八三一仙諸經費三三ナリトシテ  
 正貨輸出點 紐育ニ於ケル獨逸宛電信爲替(無利息前貸ノ)九五・六五仙ナルトキ  
 正貨輸入點 紐育ニ於ケル獨逸宛電信爲替カ 九四・九二仙ナルトキ

貨幣制度 第九 北米合衆國 (一)硬貨 (10)法定平價及(11)正貨輸送點

本調北米合衆國國立銀行(本参考書第二卷第三〇三頁以下参照)ニ於テハ金銀取引ニ關シ特ニ説明セルコトナキヲ以テ此部分ニ於テ造幣局ニ於ケル金銀賣買ニ關スル條件ヲ説明スヘシ

(1) 造幣局ハ地金銀及外國金銀貨ヲ任意ニ賣買スルモ之レヲ購入又ハ賣却スルノ義務ヲ有セス、造幣局ハ「フィラデルフィア」桑港「カーソン」及「ニュー・オーレン」ニアリ又分析所ハ紐育「シャイロ」ト「ベエセイ」ヘレナイ、聖路易及「デンヴァー」ニアリ

(2) 地金銀賣買ニ關スル條件 地金ヲ輪納シタルモノニハ鑄造料ヲ徴セスシテ次ノ對價ヲ支拂フ

純金一「オンス」ニ對シ 二〇六七・一八三弗

品位九〇〇位ノ金一「オンス」ニ對シ 一八六〇・四六五弗

品位九〇〇位ノ金四三「オンス」ニ對シ 八〇〇・弗

品位九一六<sup>2</sup>/<sub>3</sub>位ノ金一「オンス」ニ對シ 一八八九・四九一七弗

又「オンス」三・一〇三四九六瓦ナルヲ以テ 六六四・六一四二弗

純金一疋ニ對シ 五九八・二五二七弗

品位九〇〇位ノ金一疋ニ對シ 六〇九・二二五九弗

品位九一六<sup>2</sup>/<sub>3</sub>位ノ金一疋ニ對シ

而シテ外國ヨリ輸入セシ地金ハ常ニ分析所ニ送附シテ試験ス輪納者ハ同分析所カ歐羅巴ニ於ケル分析所ト異リテ常ニ品位ニ於テ約<sup>1</sup>/<sub>100</sub>重量ニ於テ約<sup>1</sup>/<sub>100</sub>低ク決定スルヲ注意ス

ヘシ、試験ノ結果品位カ九〇〇位ナルトキハ其ノ試験料ヲ徴收セス然レトモ品位カ九〇〇位以下ナルトキハ四乃至五仙ヲ徴ス、對價ハ輪納シタルトキヨリ數日ノ後ニ支拂フ

(3) 外國金貨ノ品位ハ次ノ範圍内ニアルモノト定ム

種	類	品	位
二十法貨		〇・八九八 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> —	〇・九〇〇
露西亞インペリアル	新 舊	〇・九一五—	〇・九一六 <sup>2</sup> / <sub>3</sub>
ソヴェレン貨		〇・八九八 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> —	〇・九〇〇
二十麻貨		〇・九一五—	〇・九一七
埃太利冠貨		〇・八九八—	〇・九〇〇
同 ツウカーテン貨		〇・八九八 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> —	〇・九〇〇
同 ハグルテン貨		〇・八九八 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> —	〇・九〇〇
和蘭グルデン貨		〇・八九八—	〇・九〇〇
百リールス貨		〇・八九八—	〇・九〇〇
二十五ベセタス貨		〇・八九七 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> —	〇・八九八 <sup>2</sup> / <sub>3</sub>
西班牙ツウブロン貨		〇・八九四—	〇・八九六 <sup>2</sup> / <sub>3</sub>
同		〇・八六三 <sup>2</sup> / <sub>3</sub> —	〇・八七五
		〇・八九三—	〇・九〇〇

(一八七四—一八八二年)

種	類	品	位
スカンディナヴィア	一〇冠貨	〇・八九八	一〇・九〇〇
日本圓貨		〇・九〇〇	
埃及百ピアスター貨		〇・八七一	
十エスキュド	一貨	〇・八九八	
芬蘭二十麻貨		〇・八九九	ニ

第二紙幣

甲、總說

- (一) 關係法規 此部分ニ於ケル關係法規及其略稱ハ次ノ如シ
- 一八六一法<sup>ニ</sup>ハ同年七月十七日法律第五號國債募集等ノ件
  - 一八六二法<sup>ニ</sup>ハ同年二月二十五日法律第三三號合衆國政府紙幣ヲ發行及之ヲ兌換シ竝ニ流動公債償還ノ件
  - 一八六二購貨<sup>ニ</sup>ハ同年三月十七日法律第四五號貨幣購入等ノ件
  - 一八六二追法<sup>ニ</sup>ハ同年七月十一日法律第一四二號政府紙幣追加發行ノ件
  - 一八六三決<sup>ニ</sup>ハ同年一月十七日聯合決定第九號陸海軍費即時支辨ノ件
  - 一八六三法<sup>ニ</sup>ハ同年三月三日法律第七三號國債支辨ノ件
  - 一八六四法<sup>ニ</sup>ハ同年六月三十日法律第一七二號國費支辨其他ノ件

一八八二法<sup>ニ</sup>ハ同年七月十二日法律第二九〇號國立銀行ノ特權ヲ延長シ及其他ノ件

一九〇七法<sup>ニ</sup>ハ同年三月四日法律第二九一三號國立銀行條例改正ノ件

尙硬貨關係法規モ引用スルコトアリ此點ニ就イテハ第三〇九頁參照

二紙幣ノ種類 現時北米合衆國ニテハ次掲數種ノ紙幣(Paper Currency)流通セリ

- 第一、合衆國政府紙幣(United States Notes or Greenbacks)
  - 第二、一八九〇年大藏省紙幣(Treasury Notes of 1890)
  - 第三、金券(Gold Certificates)
  - 第四、銀券(Silver Certificates)
  - 第五、政府紙幣預證券(一八九〇年)<sup>以降ナク</sup>(Currency Certificates)
  - 第六、要求拂大藏省紙幣(Demand Treasury Notes)
  - 第七、小額面紙幣(Fractional Currency)
  - 第八、一年及二年滿期大藏省紙幣(One & Two Year Notes)
  - 第九、複利付大藏省紙幣(Compound-Interest Notes)
  - 第十、國立銀行券(National Bank Notes)
  - 第十一、聯邦準備銀行券(Federal Reserve Notes)
- 右ノ内金、銀券及政府紙幣預證券ヲ除ク總テノ紙幣ハ法貨(Lawful Money & Legal tender)トス但國立銀行券ハ貨幣(Money)タルノミ強制通用力ヲ有セス改定三五八八―三五九〇、五一八二、一八

八二法、一一  
 尙第十第十一ノ銀行券ハ別説スヘシ(本書後第三六一頁及本參考書第三〇三及三三七頁以下參照第  
 三各種紙幣ノ發行高及種類別 一九一三年六月ニ於ケルモノ次ノ如シ(單位 弗<sup>ダラー</sup>二圓六厘)

紙幣種類	總發行高	總償却高	未償却高	參照未償却		高(六月三十日現在)
				一九一二年	一九一一年	
政府紙幣	四,六八七,四〇〇	四,三三〇,〇〇〇	三,三六六,一〇〇	三,六六六,一〇〇	三,六六六,一〇〇	三,六六六,一〇〇
一八〇年	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
大藏省紙幣	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
金	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
政府紙幣預證券	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
要求拂大藏省紙幣	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
小額面紙幣	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
一、二年滿期	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
大藏省紙幣	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
復利付大藏省紙幣	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
國立銀行券	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
合計	三,八〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇

備考  
 國立銀行券ニ就テハ毎年十月三十一日ノ數字ヲ採ル、但一九一二年ニ限り十月一日分トス、又

(ロ) 上記第一ヨリ第四迄及國立銀行券各種別(注意)印ハ同種券ノ不存在ヲ、〇印ハ同種券現在高ノ消滅シタルヲ示ス)

此内ニハ國立銀行發行金券ヲ含マス、同金券ハ一九一三年十月末ニテ七四、三三九弗アリ(本卷第二卷發券銀行篇第三三五頁)尙總償却高ニ關シテハ原本ノ數字ニ疑義アリタルヲ以テ別ニ作成シタルモノヲ掲出セリ

(單位 弗<sup>ダラー</sup>二圓六厘)

種類別	政府紙幣	大藏省紙幣	金	券	銀	券	國立銀行券	合計
一弗券	一、八二六、九六一	三六五、九九六	一七六、八五五	二九	一七六、八五五	二九	三三三、五八七	一八一、三九一
二弗券	一、三七一、〇四一	二三五、一九九	六六一、五九六	三三	六六一、五九六	三三	一四四、三二二	六七、九三〇
五弗券	一九四、八〇七	六三、〇五〇	二九、〇六五	〇七七	二九、〇六五	〇七七	一四三、七五一	五九、八二六
十弗券	九五、九三七	七、四四二	二、八四六	二一〇	二、八四六	二一〇	三三、一〇八	七、八一四
二十弗券	一〇、〇六四	八、九二二	二、七五五	一〇四	二、七五五	一〇四	三三、〇三九	五、三二九
五十弗券	一、六八七	一、三五〇	五、八七二	二五五	三、三九四	二一〇	一九、五八七	八、三〇八
百弗券	四、〇七八	一、四七五	八、四一四	六〇〇	四、三二七	三〇	三四、八五五	一三、七八三
五百弗券	四、〇三五	九、〇〇〇	一、八二九	九五〇	二、一〇〇	〇〇〇	八九、〇〇〇	二二、四四四
千弗券	三、七三三	九、〇〇〇	六、四九五	五〇〇	三、三〇〇	〇〇〇	九八、八三二	二二、四四四
五千弗券	〇	〇	七、七三〇	〇〇〇	〇	〇	七六、七三〇	七六、七三〇
一万弗券	一、〇〇〇	〇	二、七九〇	〇〇〇	〇	〇	二、七九〇	二、七九〇
一弗以下	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五二、〇〇七	五二、〇〇七

種類別	政府紙幣	大藏省紙幣	金	券	銀	券	國立銀行券	合計
合計	三、四七、六八一、〇一六 <small>幣</small>	二、六六〇、〇〇〇 <small>幣</small>	一、〇八六、七七、一六九 <small>幣</small>	四八三、五五〇、〇〇〇 <small>幣</small>	七六〇、四六七、七二六 <small>幣</small>	二、六八一、〇八五、九二一 <small>幣</small>	二、三〇九、八二〇 <small>幣</small>	
改合計	三、四六、六八一、〇一六 <small>幣</small>	二、六六〇、〇〇〇 <small>幣</small>	一、〇八六、七七、一六九 <small>幣</small>	四八三、五五〇、〇〇〇 <small>幣</small>	七六〇、四六七、七二六 <small>幣</small>	二、六八一、〇八五、九二一 <small>幣</small>	二、三〇九、八二〇 <small>幣</small>	
内譯不詳損傷紙幣高	1,000,000							

備考

爾餘ノ紙幣ニ就キテハ各説ヲ見ルヘシ(第三四三頁以下)

而シテ一九一三年六月末現在ニ於テ各種貨幣流通高ハ三、四三六、五九八、五四〇弗(註一)ナルカ  
其ニ對シテ硬貨及紙幣(銀行券)ノ占ムル割合ハ次ノ如シ(註二及前敍第三〇七頁以下參照)

硬貨 八九二、二八二、四六九弗 合計ニ對スル割合 二六%  
紙幣 二、五四四、三一六、〇七一弗 同 上 七四%

合計 三、四三六、五九八、五四〇弗  
次ニ各種紙幣カ紙幣總高及貨幣總高ニ對シテ占ムル割合ハ次ノ如シ(一九一三年六月末)

種類	流通高(一九一三年六月末)	紙幣總高ニ對スル割合(%)	貨幣總高ニ對スル割合(%)
政府紙幣	三、三三七、二一五、一八〇 <small>幣</small>	一三・二五四	九・八一二
一八九〇年大藏省紙幣	二、六五六、六七〇	〇・二〇五	〇・〇七七
金	一、〇〇三、九九七、七〇九	三九・四六〇	二九・二一五
銀	四六九、一二八、五九二	一八・四三八	一三・六五一

要求拂大藏省紙幣	小額面紙幣	一、二年滿期大藏省紙幣	復利付大藏省紙幣	國立銀行券	合計
五三、一五三	一五、二九四、二七一	五七、一一〇	一五九、一四〇	七二五、七五四、二三六	二、五四四、三一六、〇七一
〇・〇〇二	〇・六〇一	〇・〇〇二	〇・〇〇六	二八・一三二	一〇〇・〇〇〇
〇・〇〇二	〇・四四五	〇・〇〇二	〇・〇〇五	二〇・八二七	七四・〇三六

上記ニ依リ各種紙幣ノ地位ヲト知シ得ヘク即金券ヲ第一トシ國立銀行券、銀券、政府紙幣、小額面紙幣及一八九〇年大藏省紙幣ノ順位ニ在ルヲ知ルヘシ

註一 貨幣流通高ハ各種貨幣ノ流通高ヲ集計セルモノニテ紙幣ニ就キテハ前敍ニ依リ明瞭ナルヲ以テ之ヲ省略シ、硬貨ニ就キテハ金貨、銀貨及小貨ヲ網羅セルモノトス、從テ此數字ハ北米合衆國大藏省年報ニ於テ記載セル貨幣總高(Total Stock of Money)又ハ貨幣流通高(Money in Circulation)ト一致セサルヘシ蓋シ同書ニテハ硬貨中ヨリ小貨ヲ紙幣中ヨリ(2)段記載ノ第六乃至第九ノ四種紙幣ヲ除外セルヲ以テナリ

註二 紙幣ヲ貨幣總高ニ對シ七四%ヲ占ムルモノト解セルハ之ヲ形式的ニ觀察セルニ基ク、然レトモ之ヲ實質的ニ解シテ金券、銀券及一八九〇年大藏省紙幣ハ何レモ實存ノ正貨ヲ代表シ且政府紙幣ニ一億五千万弗ノ準備金貨ノ存スルニ鑑ミ之ヲ硬貨中ニ合算スルトキハ次ノ如ク全然反對トナルモノトス

硬貨	二、五一八、〇六五、四四〇弗	合計ニ對スル割合	七三%
紙幣	九一八、五三三、一〇〇弗	同	上
合計	三、四三六、五九八、五四〇弗		二七%

四發行及兌換 政府紙幣、金券、銀券及其他政府紙幣預證券ノ發行及兌換ノ爲メニ大藏省金庫局ニ發行及兌換ノ二課ヲ設ケ且經常基金勘定ヨリ政府紙幣及大藏省紙幣ニ對スル準備金、金券ニ對スル金貨、政府紙幣預證券ニ對スル政府紙幣及銀券ニ對スル銀貨ノ帳簿及勘定ヲ上記二課ニ移スヘシ一九〇〇法、四即後敘ノ如ク國庫ニ於テハ政府紙幣其他ニ對シテ次ノ如キ準備ヲ有スルモノトス

政府紙幣ニ對スル準備金(Reserve Fund) 金貨及地金 一五〇、〇〇〇、〇〇〇弗

即準備割合ハ四割三分餘トス

金券外二種ニ對スル信託金(Trust Fund) 一九一三年六月末現在 一〇〇三、九九七、七〇九弗

金貨及地金 四六九、一二八、五九二弗

銀券ニ對シ 本位銀貨 二、六五六、六七〇弗

大藏省紙幣ニ對シ 本位銀貨 一、四七五、七八二、九七一弗

計 即其準備ハ發行額全部ニ對シテ存在スルモノトス

乙、各説 以下各紙幣ニ就テ分説スヘシ

第一合衆國政府紙幣又ハ綠背紙幣(略稱紙幣)(United States Notes or Greenbacks)

(1) 發行法規 一八六二法、一ニ基キ同年二月二十五日以降發行スル所ニ係レ、其他關係法規ハ一八六二追法、一ニ基キ一億五千万弗

(2) 法定發行總額 四億五千万弗ニシテ其内譯ハ次ノ如シ

(1) 一八六二法、一ニ基キ一億五千万弗但其内五千万弗ハ同條ニ依リテ發行シタル要求拂大藏省紙幣ト引換ニ發行スルモノトス「一八六二法、一」

(2) 一八六二追法、一ニ基キ一億五千万弗

(3) 一八六三法、三ニ基キ一億五千万弗但此内ニハ一八六三年一月十七日聯合決定第九號陸海軍費ハ至急支辨ノ件ニ基キテ發行スヘキ一億弗ヲ含メルモノトス

而シテ大藏卿カ之ヲ受理セルトキハ緊急ノ必要アル場合ニハ之ヲ再ヒ發行スヘシトシ「一八六二法、一」改定、三五七九多少ノ回收ヲ見タリシカ一八七八年五月三十一日法律第一四六號政府紙幣回收禁止ノ件ニヨリテ將來ハ國庫ニ於テ兌換又ハ受領シタルトキハ再發行スルコト、セリ

一九一三年十二月一日現在政府紙幣在高ハ三四六、六八一、〇一六弗ニシテ内國庫在高五、七七八、五三五弗、民間流通高三四〇、九〇二、四八一弗トス尙一九一三年六月末現在ノ内譯ヲ示セハ次ノ如シ

政府紙幣種類	總發行高	總償却高	未償却高
一 弗 券	一八八、三六四、一六〇	一八六、五三七、一七七・八〇	一、八二六、九八二・二〇
二 弗 券	一八六、七六三、〇四八	一八五、三九二、〇〇七・二〇	一、三七一、〇四〇・八〇
五 弗 券	一、一五五、〇一一、七六〇	九六〇、二〇四、一八〇・〇〇	一九四、八〇七、五八〇・〇〇
十 弗 券	一、五三五、七一一、二四〇	一、四三九、七七三、七四四・〇〇	九五、九三七、四九六・〇〇
二十 弗 券	五四三、三二二、四〇〇	五三三、二五七、五〇八・〇〇	一〇〇、六四、八九二・〇〇
五十 弗 券	一四七、〇一五、二〇〇	一四五、三二七、九七五・〇〇	一、六八七、二二五・〇〇
一百 弗 券	一九六、三〇四、〇〇〇	一九二、〇九六、二〇〇・〇〇	四、二〇七、八〇〇・〇〇
五百 弗 券	二二一、九二六、〇〇〇	二一七、八九一、〇〇〇・〇〇	四、〇三五、〇〇〇・〇〇
一千 弗 券	四五四、三二八、〇〇〇	四二〇、五九五、〇〇〇・〇〇	三三、七三三、〇〇〇・〇〇
五千 弗 券	二〇、〇〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇
一 万 弗 券	四〇、〇〇〇、〇〇〇	三九、九九〇、〇〇〇・〇〇	三四七、六八一、〇一六・〇〇
合計	四、六八八、七四五、八〇八	四、三四一、〇六四、七九二・〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
内譯不詳損傷紙幣	四、六八八、七四五、八〇八	四、三四二、〇六四、七九二・〇〇	三四六、六八一、〇一六・〇〇
改 計			

(3) 形式 政府紙幣ハ當初五弗券以上ニ限リ發行セラレシカ「一八六二法」其後ハ常ニ一弗券以上トシ「一八六二追法」「一八六三法」「一八六三改定三五七一」且最高ヲ一萬弗券ト定メ其間ニ前敘ノ如ク「一、二、五、一〇、二〇、五〇、一〇〇、五〇〇、一〇〇〇、五〇〇〇」及「一〇〇〇〇」弗券

ノ十一種アリ但「一八六二追法」「一」ニ依リテ發行スル紙幣ニ在リテハ五弗以下ノ紙幣發行額ハ二千五百万弗以下ニ限レリ尙此種類ハ大藏卿ノ任意決定スル所ニ係リ法律ニ於テハ前記ノ如ク最低券ノ規定アルノミナリ

尙又一九〇〇年三月十四日以後ハ小額面銀券ヲ發行スルト共ニ大券政府紙幣主義ヲ採ラントシ十弗以下ノ紙幣ヲ回收シ十弗及其以上ノモノヲ發行スヘシ「一九〇〇法」「七」トセシカ「一九〇七年三月十四日以降」「一九〇七法」「二」ハ之ヲ改メテ若シ「一九〇〇法」「七」ニ基キテ發行スル「一、二及五弗銀券」ヲ以テ一般ノ需要ヲ充スニ足ラサルトキハ「一、二及五弗政府紙幣」ヲ發行スレコトヲ得トシテ前敘ノ方針ヲ改メタリ

而シテ政府紙幣ハ無利息トス但シ政府紙幣ノ持參人ハ五千弗以上ヲ本支金庫ニ預入シテ預證券ヲ受ケ之ヲ大藏卿ニ提出シテ同額國債ノ發行ヲ受クルコトヲ得該國債ハ利札付又ハ登録國債ニシテ利息ハ年六分「二回」ニ支拂ハルヘク且元金ハ發行ノ時ヨリ五年後二十年間ニ償還スルモノトス「一八六二法」「一末段」「一八六二追法」「一但シ」「一八六三法」「三」ニ依レハ上記ノ如ク政府紙幣ト國債トノ交換ハ「一八六三年七月一日迄」トシ其以降ハ全ク行ハサルコトトス尙又本紙幣ハ同時ニ發行シタル前記ト同様ノ國債應募ニモ使用シ得タルモノトス「同法」「二」加之大藏卿ハ支金庫又ハ國庫金取扱者ヲシテ個人又ハ社團ヨリ次ノ條件ニヨリ政府紙幣ヲ受入セシメ及之ニ對シ預證券ヲ發行シテ年五分ノ利息ヲ支辨スルヲ得「一八六二法」「四」「一八六二追法」「三」

- (イ) 預入期間ハ三十日以内ナルコト
- (ロ) 一口ノ預入額ハ百弗以下トス
- (ハ) 全國ニテ預入總額ハ一億弗以下ナルコト「一八六二追法三但一八六二法四ニテハ二千五百萬弗ナリシカ」一八六二購貨三ハ之ヲ五千萬弗ニ擴張セシカ更ニ上記ノ如ク改メタルナリ
- (ニ) 預入紙幣ヲ引出サントスルニハ十日以前ノ預告ヲ要ス
- (ホ) 利息ハ大藏卿任意之ヲ廢止シ又ハ改定スルコトヲ得
- 尙此紙幣ノ形式ハ「一八六二法三」ニ詳記セルモ之ヲ略ス
- (4) 兌換 政府紙幣ハ當初通貨ヲ以テ兌換セシカ「一八六九年三月十八日法律第一號國家ノ信用ヲ増大スル件」改定「三六九三一九〇〇年三月十四日」到リ「一九〇〇法二」ヲ以テ金貨ヲ以テ兌換スルモノトシ加之同條ニ於テ此種紙幣及一八九〇年大藏省紙幣ノ兌換ニ供スルカ爲メ金貨又ハ地金ヲ以テ一億五千萬弗ノ準備金ヲ維持シ此準備金ヲ以テ上記紙幣ヲ兌換セルトキハ次ノ方法ヲ以テ準備金ヲ補充スヘシ「一九〇〇法二」
- (1) 紙幣ト國庫經常基金中ノ金貨ト交換スルコト
- (2) 本支金庫ニ於テ兌換シタル紙幣ト引換ニ金貨ヲ受入ルルコト
- (3) 「改定三七〇〇」ノ規定ニ從ヒ兌換シタル紙幣ヲ以テ金貨ヲ得ルコト「改定三七〇〇」ハ大藏卿ハ法律ノ規定ニ從ヒ且其裁量ニ依リ最モ公益ニ適合スト認ムル割合及條件ニ從ヒ公

債又ハ紙幣ヲ以テ貨幣ヲ購入スヘシト定ム蓋シ一八六二年三月十七日法律第四五號貨幣購入其他ノ件第一條ノ主旨ヲ繼承セルモノトス

上記ノ方法ヲ以テ準備金ヲ維持スルコトヲ得ス且其總額カ一億弗以下トナルトキハ借入金ヲ以テ之ヲ補充シ此借入金ニ對シテハ券面五十弗又ハ此倍數ノ利札付又ハ登錄公債ヲ發行ス之ニハ三分以下ノ利息ヲ附シ年四回ニ之ヲ支辨シ且元利ハ金貨ヲ以テ發行ノ時ヨリ一年以後ニ支拂フモノトス

上記公債募集金ハ之ヲ經常基金ニ繰入レ其後同額ノ兌換セシ紙幣ト交換ス交換後經常基金中ニ繰入レラレタル紙幣ハ金貨ト交換スルカ國債ヲ買入償還スルカ其他歳入不足額補填以外ノ目的ニ使用スヘシ而シテ兌換シタル紙幣ハ一時準備金中ニ保有スヘシ但其額ハ金貨地金ト合計シテ一億五千萬弗以下ナルヲ要ス

(5) 通用力 政府紙幣ハ關稅以外一切ノ公課納入及國債債券並ニ預證券ノ利拂以外一切政府ニ對スル債權ニ授受セラレ公私共ニ其額ニ制限ナク法貨トシテ使用セラレ「一八六二法一」一八六二追法一「改定三四七三三五八八」

(第II)金券 (Gold certificates)

- (1) 發行法規 金券ハ「一八六三法五」ヲ以テ同年三月三日以降初メテ發行セララル其他ノ關係法規ハ「一八八二法一」一八九〇法六「一九〇七法一」トス
- (2) 發行方法 本支金庫ニテ金貨「一八六三法五」ハ地金ノ預入ヲ認メス「一八八三法一」以降之ヲ認メスノ預入ヲ受ケテ發行ス



ルカ又ハ、一九〇〇年三月十四日以前ニ限り國庫ニ於ケル金貨ノ代替トシテ發行スルモノトス、一八六三法、五、一八八二法、一、二、一九〇〇法、六、但國庫ニ於ケル政府紙幣及大藏省紙幣ニ對スル金準備在高カ五千弗(一九〇〇年五月二十六日法律ハ之ヲ木文ノ如ク改メタリ)以下ニ降レル場合ニハ此發行ヲ停止スヘシ、一八八二法、一、二、加之國庫經常基金中ニ於ケル政府紙幣及銀券カ六千万弗以上ニ達スルトキ亦此發行ヲ停止スヘシ、一、一九〇〇法、五、

(3) 形式 金貨又ハ一八八二年以前ニ限り地金ハ二十弗以上ニ限リ預入スルモノニシテ大藏卿ハ之ニ對シ十弗以上、一九〇七法、以前ハ最低券二十弗トス、一、万弗以下ノ預證券ヲ發行スルモノトス、一八六三法、五、一八八二法、一、二、一九〇〇法、五、二、九〇七法、一、其種類ハ一〇、二〇、五〇、一〇〇、五〇〇、一〇〇〇、五〇〇〇及一〇〇〇〇弗券ノ八種トス而シテ金券發行額ノ四分

ノ一以上ハ五十弗及其以下ノミナルヘシ而シテ之ハ從來ノ政府紙幣預證券(Currency certificate)ニ代フルモノトス、一、一九〇〇法、六、改定、五、一九三參照

(4) 準備及法定發行總額 金券ノ代表セル金貨、金地金ハ常ニ國庫ニ保有シテ其準備ニ充ツルコトヲ要ス而シテ其發行額ハ如何ナル場合ニ於テモ國庫現金在高ヲ二割以上超過スルヲ得ス、一八六三法、五、一八八二法、一、二、

一九一三年十二月一日現在ノ金券發行高ハ一、一一一、九八四、九六九弗ニシテ内國庫在高ハ九五、七八一、五七一弗、民間流通高ハ一、〇一六、二〇三、三九八弗トス尙一九一三年六月末現在

ノ内譯ヲ示セハ次ノ如シ

金券種類	總發行高 <small>(一九一三年六月末現在)</small>	總價却高	未價却高
十弗券	六五一、六六八、〇〇〇 <small>弗</small>	三六三、二六一、八九〇 <small>弗</small>	二八八、四〇六、一一〇 <small>弗</small>
二十弗券	九六〇、八〇〇、〇〇〇	六八三、二四八、七九六	二七七、五五一、二〇四
五十弗券	二〇七、八〇〇、〇〇〇	一四九、〇七四、七四五	五八、七二五、二五五
一百弗券	二九九、四三四、三〇〇	二一五、二八四、七〇〇	八四、一四九、六〇〇
五百弗券	一一九、四四四、〇〇〇	一〇一、一四四、五〇〇	一八、二九九、五〇〇
一千弗券	三五三、八八一、〇〇〇	二八八、九三五、五〇〇	六四、九四五、五〇〇
五千弗券	七三六、五四〇、〇〇〇	六五九、八一〇、〇〇〇	七六、七三〇、〇〇〇
一万弗券	一、八九四、九五〇、〇〇〇	一、六七七、〇三〇、〇〇〇	二一七、九二〇、〇〇〇
合計	五、二二四、五一七、三〇〇	四、一三七、七九〇、一三一	一、〇八六、七七七、一六九

(5) 使用方法 金券ハ法貨ニ非ス但關稅其他一切ノ公課納付ニ關シテハ券面額ニテ受領セラレ又一九〇〇年以前ニ於ケル國庫現在高ノ代替物タル金券ハ國債利拂ニ就テノミ發行スルモノトス、一八六三法、五、一八八二法、一、二、而シテ國立銀行カ金券(銀券又同シ)ヲ保有セルトキハ其法定準備金ノ一部ニ算入スルヲ得、且國立銀行ハ金券ヲ以テ交換尻決済ニ使用スルヲ得ストセル手形交換所ニ加入スルヲ得ス、一八八二法、一、二、但國立銀行ハ貸付擔保トシテ金券ヲ受領スルヲ得ス、改定、五、二〇八、一八八二法、一、二、(本參考書第二卷第三一七、三二六頁等參照)

(第三) 銀券 (Silver certificates)

(1) 關係法規 一八七八年二月二十八日ヨリ「同法」三ヲ以テ發行スルコト、ス其他ノ關係法規ハ一八八六年八月四日法律第九〇二號一八八六—七年度財政法「一九〇〇、法、五」

(2) 發行方法 「一八七八、法、一」ニ依リテ鑄造セラル、本位一弗銀貨ヲ本支金庫ニ預入セル者ハ之ニ對シ銀券ノ發行ヲ受クルモノトス「一八七八、法、三」

國庫ニテ受入レタル銀券ハ再ヒ之ヲ發行スヘシ「一八七八、法、三」

次テ「一九〇〇、法、五」ニ依レハ大藏卿ハ「一八九〇、法、一」及「一八九八年六月十八日ノ法律」ノ規定ニ基キテ本位一弗銀貨ヲ鑄造シテ「一八九〇年大藏省紙幣」ヲ回收スルト共ニ前記銀貨ニ對シテ銀券ヲ發行スヘシトセリ

(3) 形式 十弗以上ノ一弗銀貨ノ預入ニ對シ發行スル銀券ハ一弗以上(當初「一八七八、法、三」ニテハ十弗券ヲ以テ最低トセシカ「一八八六、法、二」依リテ「一、二」及「一、五」ノモノニシテ「一、二、五、一〇、二〇、五〇、一〇〇、五〇〇」及「一〇〇〇」弗券ノ發行ヲ認ムルコトナル)ニシテ「一、二、五、一〇、二〇、五〇、一〇〇、五〇〇」及「一〇〇〇」弗券ノ九種アリ

而シテ「一、二」及「五」弗券ハ大券ト交替ニ發行スヘク且其限度ニ於テ大券ハ廢棄スヘキモノトス「一八八六、法、然ルニ「一九〇〇、法、七」ニ依レハ同年三月十四日以降政府ハ十弗及其以下ノ銀券ノミヲ發行スヘク唯銀券發行總額ノ一割ニ相當スル額以下ニ限り「二〇、五〇」及「一〇〇」弗券ヲ發行スルヲ得ルモノニシテ若シ大藏省ニ於テ十弗以上ノ銀券ヲ受入レタルトキハ前記場合ノ外之ヲ回收且廢棄シテ十弗及其以下ノ銀券ヲ更代發行スヘシ而シテ此ト同時ニ

十弗以下ノ政府紙幣ヲ回收シ之ノ代リトシテ十弗及其以上ノ政府紙幣ヲ發行スヘシトシテ小額面銀券主義ヲ採リ且大券政府紙幣ヲ流通セシムルモノトセリ然ルニ「一九〇七年三月四日」ニ到リテ又モヤ小額面政府紙幣ノ發行ヲ認メテ前記ノ方針ヲ一變スルニ到レリ

(4) 法定發行總額 規定ナシ、一九一三年十二月一日現在ノ發行總額ハ「四九一、五二四、〇〇〇」弗ニシテ內國庫在高ハ「一三、八三四、七三一」弗民間流通高ハ「四四七、六八九、二六九」弗トス尙一九一三年六月末現在ノ內譯ハ次ノ如シ

銀券種類	總發行高 <small>(一九一三年六月末現在)</small>	總償却高	未償却高
一 弗券	一、七五三、六〇七、六〇〇	一、五七四、七五二、四七一・九〇	一七八、八五五、一八・一〇
二 弗券	七五七、八八四、〇〇〇	六九一、七二四、三七六・六〇	六六、一五九、六二三・四〇
五 弗券	二、三九四、六九〇、〇〇〇	二、一七五、六二四、九二二・五〇	二一九、〇六五、〇七七・五〇
十 弗券	六三一、〇三四、〇〇〇	六一九、二二八、七二九・〇〇	一一、八〇五、二七一・〇〇
二十 弗券	二九九、八二六、〇〇〇	二九六、〇二一、〇三〇・〇〇	三、八〇四、九七〇・〇〇
五十 弗券	八六、六五〇、〇〇〇	八三、二五五、七九〇・〇〇	三、三九四、二一〇・〇〇
百 弗券	八一、五四〇、〇〇〇	八一、一一七、二八〇・〇〇	四二二、七二〇・〇〇
五百 弗券	一六、六五〇、〇〇〇	一六、六二九、〇〇〇・〇〇	二一、〇〇〇・〇〇
千 弗券	三二、四九〇、〇〇〇	三二、四六八、〇〇〇・〇〇	二二、〇〇〇・〇〇
合計	六、〇五四、三七一、六〇〇	五、五七〇、八二一、六〇〇・〇〇	四八三、五五〇、〇〇〇・〇〇

(5) 準備 銀券ノ代表セル銀貨ハ之ヲ國庫ニ保有シテ銀券支拂ノ準備ニ供スヘシ一八七八法三且

(6) 使用方法 銀券ハ法貨ニ非ス但シ關稅其他一切ノ公課納入ニ使用セララル一八七八法三且

銀券ハ國立銀行法定準備金ノ一部ニ算入スルコトヲ得ルモノニシテ國立銀行ハ銀券ヲ交換尻決濟ニ使用スルヲ得ストセル手形交換所ニ加入スルヲ得サルモノトス一八八二法一  
二之レ當時各銀行カ銀券ヲ厭ヒテ之ト反對ノ規約ヲ爲セシヲ以テナリ(前條三一頁及  
第二卷三一頁及)

(第四)一八九〇年大藏省紙幣(Treasury Notes of 1890)

(1) 發行法規 此紙幣ハ一八九〇法即所謂シャーマン條例タル一八九〇年七月十四日法律第七〇八號地銀購入及大藏省紙幣發行ノ件ニ依リ同年八月十三日ヨリ發行セラレタルモノトス

(2) 發行方法種類兌換等 木位一弗銀貨鑄造ノ爲メ毎月銀塊四百五十万オンスヲ三七一、四、九、九、法一且兌換セルモノ竝ニ公課トシテ受入タルモノハ再度之ヲ發行ス而シテ其發行總額ハ地銀購入費ヲ超過スルヲ得サルモノトス一八九〇法二此紙幣ノ種類ハ大藏卿ノ定ムル所ニヨリ一弗以上千弗以下ノ範圍内ニ於テ一、二、五、一〇、二〇、五〇、一〇〇及一〇〇〇弗券ノ八種ヲ含ムモノトス一八九〇法一但銀塊購入ハ一八九三年十一月一日法律第八號ノ改正法ニヨリテ廢止セリ從テ爾後此紙幣ノ發行モ生起セサルモノトス尙又一九〇〇法八ニ

依レハ一八九〇法ニ依リテ購入セル地銀ヲ以テ補助貨ヲ鑄造シ同額ノ大藏省紙幣ヲ回收且廢棄スヘシトス

大藏省紙幣ハ大藏省又ハ支金庫ニ於テ要求ニ應シ金貨又ハ銀貨ヲ以テ兌換ス一八九〇法二然ルニ兌換ハ金貨ヲ以テスルコトニ改メ同時ニ國庫ニ一億五千万弗ノ金準備ヲ設ケタリ(政府紙幣)一九〇〇法二而シテ銀貨鑄造ニ應シテ大藏省紙幣ハ之ヲ回收シテ廢棄スヘキモノトス一九〇〇法五

(3) 法定發行總額 法定發行總額ハ購入地銀價格ヲ超過スルヲ得サルモノトス其總發行高實蹟ハ四四七、四三五、〇〇〇弗ニシテ一九一三年十二月一日現在高ハ二、五七四、〇〇〇弗内國庫在高ハ七七八六弗ニシテ民間流通高ハ二、五六六、二一四弗トス尙一九一三年六月末現在ニテ其内譯ヲ示セハ次ノ如シ

種	一八九〇年大藏省紙幣類	總發行高	總償却高	未償却高
一	弗券	六四、七〇四、〇〇〇 <small>弗</small>	六四、三三八、〇三九 <small>弗</small>	三六五、九六一 <small>弗</small>
二	弗券	四九、八〇八、〇〇〇	四九、五七二、八〇一	二三五、一九九
五	弗券	一一〇、七四〇、〇〇〇	一一〇、一〇七、九五〇	六三二、〇五〇
十	弗券	一〇四、六八〇、〇〇〇	一〇三、八九二、五八〇	七八七、四二〇
二十	弗券	三五、七六〇、〇〇〇	三五、三八〇、六三〇	三七九、三七〇
五十	弗券	一一、七五〇、〇〇〇	一一、六一、五〇〇	一三、五〇〇

一八九〇年大藏省紙幣種類	總發行高	總償却高	未償却高
千 弗 券	一八、〇〇〇、〇〇〇	一七、八五二、五〇〇	一四七、五〇〇
百 弗 券	五二、五六八、〇〇〇	五二、四六九、〇〇〇	九九、〇〇〇
合 計	四四七、四三五、〇〇〇	四四四、七七五、〇〇〇	二、六六〇、〇〇〇

(4) 法貨「一八九〇法」ニ依レハ此紙幣ハ公私共一切ノ支拂ニ於テ即關稅其他公課納入ニ法貨トシテ使用スルコトヲ得但特ニ反對ノ定メヲナシタルトキハ此限リニ在ラス而シテ此ハ國立銀行ニ於テ法定準備金ノ一部ニ算入スルヲ得「一八九〇法」(本卷第二卷第三二六頁參照)

(第五)要求拂大藏省紙幣(Demand Treasury Notes)但現時ハ舊要求拂紙幣(Old Demand Notes)ト稱ス

(1) 發行法規「一八六一法」ニ基キ同年七月十七日以降發行スルモノニシテ其他ノ關係法規ハ「一八六一年八月五日法律第四六號」「一八六一法」改正ノ件第五條「一八六二購貨」ニ等トス  
 (2) 法定發行總額 六千万弗但實際ニ發行シタル額ハ再發行高ヲ加ヘテ六〇、〇三〇、〇〇〇弗ニシテ一九一三年十一月末ニテ流通高五三、一五二弗五〇アリ一九一三年六月末現在ノ内譯ヲ示セハ次ノ如シ

要求拂大藏省紙幣種類	總發行高	總償却高	未償却高
五 弗 券	二一、八〇〇、〇〇〇	二一、七七八、六九二、五〇〇	二一、三〇七、五〇〇
十 弗 券	二〇、〇三〇、〇〇〇	二〇、〇一〇、二九五、〇〇〇	一九七〇、五〇〇

二 十 弗 券	一八、二〇〇、〇〇〇	一八、一八七、八六〇、〇〇〇	一二、一四〇、〇〇〇
合 計	六〇、〇三〇、〇〇〇	五九、九七六、八四七、五〇〇	五三、一五二、五〇〇

(3) 發行方法 此紙幣ハ「一八六一法」及「一八六二年二月十二日ノ法律」ニ基キテ總額六千万弗ニ限リ(1)貨幣ト引換ヘニ(2)同法ニ依リテ發行スルニ億五千万弗ノ公債ノ一部トシテ又ハ(3)俸給其他ノ債務支辨ノ爲メニ發行スル所ニ係ル、尙「一八六一法」ニヨリテ發行シタル證券ハ當大藏省紙幣以外イ、登錄又ハ利札付公債(利率年七分以下、發行後二十年据置)(ロ)大藏省證券(額面五十弗以上ニシテ二種アリ(甲)利息年七分三厘、發行後三年据置其後償還(乙)利息三分、六五發行後一年ニテ満期トナリ且百弗以上ヲ提供スルトキニ限リ何時ニテモ甲種大藏省證券ト交換セ)ノ二種アリキ又兌換シタル紙幣ハ再ヒ之ヲ發行ス但「一八六二年十二月末迄」ニ限ル

(4) 形式及兌換 此紙幣ハ無利息ニシテ其種類ハ五、一〇、二〇弗券ノ三種トス要求スルトキハ即時、費府、紐育、ポストン支金庫ニテ兌換セラル而シテ「一八六二法」ニ依レハ此紙幣ハ政府紙幣ヲ以テ引換ヘラル、モノトス  
 (5) 通用力 法貨ニシテ關稅其他一切ノ公課納付ニ使用セラルヘシ「一八六二法」「一八六二購貨」ニ改定三五八九

(第六)小額面紙幣(Fractional Currency)

(1) 發行法規 「一八六二年七月十七日法律第一九六號切手ニヨル支拂開始及一弗以下ノ銀行券發行禁止ノ件略稱「一八六二法」及前記「一八六三法」「四」「一八六四法」「五」

(2) 發行方法及通用力等 小額面紙幣ノ先驅ヲ爲スモノハ「一八六二法、一」ヲ以テ發行セラレタル郵便切手及其他ノ切手トス即大藏卿ハ一八六二年八月一日以降上記切手類ヲ作成シ之ヲ支金庫又ハ選定セラレタル國庫金取扱銀行ニ交付シ請求ニ依リ五弗以上ノ額ヲ限り政府紙幣ト交換セシメ且五弗以内ノ額ニ限り合衆國政府ニ對スル公課納付ニ使用スルヲ得シメタリ然ルニ「一八六三法、四」ハ前記切手通貨ニ代フルニ小額面紙幣ヲ發行スルコト、シ三弗以上ニ限り政府紙幣ト交換セシメ且五弗以下ノ額ニ限り公課納付(但關稅納付ニ就テ)ニ使用シ得ルコト前ト同シ尙本紙幣ハ大藏省ニテ兌換セラレ

(3) 法定發行總額 小額面紙幣ハ既發郵便切手又ハ歲入切手ト共ニ總額五千万弗ヲ超過スルヲ得ス「一八六三法、四」「一八六四法、五」但シ實際上ハ再發行ヲ合シテ三六八、七二〇、〇七九弗五ニ達シ一九一三年十一月二十九日現在ニテ六、八五三、八三九弗九〇、但此數字ハ損失又ハ破壊セラレタリト見ルヘキ八、三七五、九三四弗ヲ控除シタルモノトス、今一九一三年六月末現在ノ内譯ヲ示セハ次ノ如シ

小額面紙幣種類	總發行高	總償却高	未償却高
三 仙 券	六〇一、九二二・九〇	五一、七二四・三五	九〇、一九九・五五
五 仙 券	五、六九四、七一七・八五	三、八三六、二五九・三四	一、八五八、四五八・五一
十 仙 券	八二、一九八、四五六・八〇	七七、一四三、三七三・八三	五、〇五五、〇八二・九七
十 五 仙 券	五、三〇五、五六八・四〇	五、〇六五、六二〇・八四	二、三九、九四七・五六

二十 五 仙 券	一三九、〇三一、四八二・〇〇	一三四、七六五、四四二・九一	四、二六六、〇三九・〇九
五 十 仙 券	一三五、八九一、九三〇・五〇	一三二、一三九、一〇九・九五	三、七五二、八二〇・五五
合 計	三六八、七二四、〇七九・四五	三五三、四六一、五三一・二二	一五、二六二、五四八・二三
内譯不詳ノ損傷高	—	三二、〇〇〇・〇〇	三二、〇〇〇・〇〇
改 合 計	三六八、七二四、〇七九・四五	三五三、四二九、五三一・二二	一五、二九四、五四八・二三

備考

總發行額内譯ハ前掲ト多少差違アルモ暫ク原本ニ從フテ改メス

(4) 償却方法 一八六五年三月三日法律第一〇〇號三仙貨鑄造等ノ件第三條ニヨリ同日以後ハ三仙券ノ發行ヲ禁シ且國庫其他指定セラレタル場所ニテ之ヲ受入レタルトキハ廢棄スヘシトシ、次テ一八六六年五月十六日法律第八一號五仙貨鑄造ノ件第三條ハ又五仙券ノ回收ヲ命シタリ

(第七)利息付大藏省紙幣 (Interest-Bearing Notes)

(1) 發行法規 「一八六三法、二」「一八六四法、二」ノ兩法ニ基キ一八六三年三月三日以降發行セラレルモノトス但其根據法規ノ異ルニ從ヒ規定ニ差違アルヲ以テ「一八六三法、二」ニ依リテ發行スルヲ前者、「一八六四法、二」ニ依リテ發行スルヲ後者ト略稱スヘシ

(2) 法定發行總額 十四億弗ニシテ其内譯ハ次ノ如シ

(イ)「一八六三法、二」規定ノモノ三種即

一箇年滿期五分利付 (One Year Notes) 四〇〇,〇〇〇,〇〇〇 弗  
 二箇年滿期五分利付 (Two Year Notes) 四〇〇,〇〇〇,〇〇〇 弗  
 三箇年滿期六分利付又ハ複利付紙幣 (Compound-Interest Notes) 四〇〇,〇〇〇,〇〇〇 弗  
 (ロ) 一八六四法、二規定ノモノ 二〇〇,〇〇〇,〇〇〇 弗  
 一八六三法、二ハ最長滿期々限(三年)及最高利率(六分)ヲ規定スルノミニシテ大藏卿ノ裁量ニ依  
 リ各種ノ紙幣ヲ發行セシメタルモノトス次ニ一八六三法、二ニ基キテ發行セラレタル各種紙  
 幣ノ實際發行高(一九一三年六月末現在)ヲ示スヘシ但後者ニ就テハ詳細ノ數字ナキヲ以テ暫  
 ク記載スルヲ得ス

甲、複利付大藏省紙幣—發行額

二六六、五九五、四四〇 弗

種	類	總發行高	總償却高	未償却高
十	弗券	二二,三八五,二〇〇	二二,二六五,五三〇	一九六七〇
二十	弗券	三〇,一二五,八四〇	三〇,〇九四,二七〇	三,一五七〇
五十	弗券	六〇,八二四,〇〇〇	六〇,七六二,九〇〇	六,一〇〇
百	弗券	四五,〇九四,四〇〇	四五,〇六二,六〇〇	三,八〇〇
五百	弗券	六七,八四六,〇〇〇	六七,八三五,〇〇〇	一,〇〇〇
千	弗券	三九,四二〇,〇〇〇	三九,四一六,〇〇〇	四,〇〇〇
合計	計	二六六,五九五,四四〇	二六六,四三六,三〇〇	一五九,一四〇

乙、一年滿期及二年滿期大藏省紙幣

一年滿期紙幣 四四,五二〇,〇〇〇 弗  
 發行高、二年滿期紙幣 一六六,四八〇,〇〇〇 弗  
 合計 二一一,〇〇〇,〇〇〇 弗

種	類	總發行高	總償却高	未償却高
十	弗券	六,二〇〇,〇〇〇	六,一九四,〇〇〇	六,〇〇〇
二十	弗券	一六,四四〇,〇〇〇	一六,四二七,八四〇	一二,一六〇
五十	弗券	二〇,九四五,六〇〇	二〇,九三二,三五〇	一三,二五〇
百	弗券	三七,八〇四,四〇〇	三七,七八八,六〇〇	一五,八〇〇
五百	弗券	四〇,三〇二,〇〇〇	四〇,三〇〇,五〇〇	一,五〇〇
千	弗券	八九,三〇八,〇〇〇	八九,二八九,〇〇〇	一九,〇〇〇
合計	計	二一一,〇〇〇,〇〇〇	二一〇,九三二,二九〇	六七,七一〇
改	計	二一一,〇〇〇,〇〇〇	一〇,五九〇	一〇,五九〇
合計	計	二一一,〇〇〇,〇〇〇	二一〇,九四二,八八〇	五七,二二〇

(3) 形式及性質

大藏省紙幣ハ前叙ノ如ク十弗以上大藏卿ノ定ムル六種ノ種類ヲ有シ、一八六  
 三法、二ニヨルモノハ發行ノ時ヨリ三年以内ニ償還セラル及一八六四法、二ニ依ルモノハ三  
 年以内又ハ以後ニ償還スルモノトス利率ハ前者ハ年六分以下後者ハ年七分三厘以下トス、

尙本紙幣ハ大藏省其他法定ノ場所ニテ同額ノ政府紙幣ト交換セラレ此際大藏省ノ紙幣ニ在リテハ滿期利息及交換當時ニ於ケル次期利息モ券面額ニ合算セラレ、モノトス而シテ此交換ノ爲メニ政府ハ一億五千万弗ノ政府紙幣ヲ發行スルヲ得タリ、一八六三、法、二ニヨル大藏省紙幣ハ政府紙幣ト交換スルヲ得タレトモ、一八六四、法、二ニヨル紙幣ハ同法ニ於テ發行セル公債(發行ノ時ヨリ五年以後四十分以下)ト交換スルヲ得タリ

(4) 通用力 大藏省紙幣ハ政府紙幣ト同様法貨ナリトス但シ利息ハ法貨ニ非ス、一八六三、法、二「改定、三五九〇」一八六四、法、二但「一八六四、法、二」ニヨル紙幣ハ銀行券ノ支拂又ハ兌換ニ就テハ法貨ニ非ス「改定、三五九〇」

(第八)政府紙幣預證券(Currency Certificates)

- (1) 發行法規 一八七二年六月八日法律第三四六號銀行準備ノ擔保ヲ良好ニシ及手形交換所殘高決濟ヲ容易ニスル件略稱、一八七二、法、及改定、五一九三
- 紙幣券ハ前記法律ニ基キ發行セラレ、一九〇〇、法、六ヲ以テ廢止シ且一九〇一年中ニ全部回收セラレタリ從テ現存セル制度ニ非サルノミナラス本預證券ハ貨幣ト目スルヲ得サレトモ比較ノ便宜上附説スル所アルヘシ
- (2) 發行方法 本預證券ハ大藏卿カ國立銀行ヨリ政府紙幣一万弗以上ノ預入ヲ受ケコレニ對シテ發行スルモノニシテ無利息トス預證券ノ種類ハ五千弗及一万弗ノ兩種トス、一八七二、法、一

- (3) 兌換及使用方法 本預證券ハ預入場所ニテ政府紙幣ヲ以テ兌換ス從テ政府ハ此預證券ニ對シ同額紙幣ヲ準備トシテ保有スヘシ又本證券ハ國立銀行ニテ法定準備金ノ一部トシテ算入シ且手形交換所交換尻ノ決濟手段タルモノトス、一八七二、法、二
- (4) 法定發行總額 規定ナシ其發行總額ハ一、四七三、六二五、〇〇〇弗ナリトス

第三、銀行券

法制上銀行券ヲ發行スルモノハ個人、商會、會社、銀行等殆ント其制限ヲ見サルモノトス、唯此等ヨリ發行スル銀行券ニ對シテハ其券面額ノ一割ニ相當スル發行稅ヲ課セラル、ヲ以テ「一八七五年二月八日法律第三六號、關稅及內國收入ニ關スル法律改正ノ件第一九、二〇條及改定、三四〇八、三四一一」實際上此等ノモノハ銀行券ヲ發行セサルモノトス

從テ現時發券銀行トシテ舉示スルヲ要スルハ一八六三年二月二十五日法律第一〇八號國立銀行條例ニ依リテ設立セラレタル無數ノ國立銀行(The National Banks)及一九一三年十二月二十三日法律聯邦準備條例ニ依リテ將來設立セラルヘキ聯邦準備銀行(The Federal Reserve Banks)ノ二トス(本參考書第二卷補遺參照)

其發行スル銀行券ノ種類ハ國立銀行券ニ在リテハ「一、二、五、一〇、二〇、五〇、一〇〇、五〇〇及一〇〇〇弗券ノ九種、聯邦準備銀行券ニ在リテハ五、一〇、二〇、五〇及一〇〇弗券ノ五種トス

尙國立銀行及聯邦準備銀行ニ關シテハ第二項發券銀行ヲ參照スヘシ(本參考書第二卷第三節(追書)聯邦準備銀行ハ一九一四年十一月十六日ヨリ其營業ヲ開始スヘシ)

第十節 上記以外ノ北亞米利加諸國

序説 本節ニ於テハ北米合衆國以外ノ北亞米利加諸國ノ貨幣制度ヲ概説セントス、即次ノ如シ

甲 墨西哥……………次 叙

乙 加奈太及英領ホンヂユラス……………三七七頁

丙 中央亞米利加諸國「コスタリカ」「グアテマラ」「ホンヂユラス」「ニカラガ」「パナマ」

「エルサルヴァドル」……………三九六頁

丁 西印度諸島「ヘイチ」「サントドミンゴ」「玖馬及英領西印度諸島」……………四〇七頁

尙本節ノ記事中材料不足ノ爲メ精確ナル説明ヲ爲ス能ハサル場所尠ナラス、他日ノ補正ヲ期スルモノナリ

甲 墨西哥

第一、硬貨

一、現行法 一九〇四年十二月九日基本貨幣法略稱「基法」及一九〇五年三月二十五日貨幣法但シ本法ハ同法附則第一條ニヨリ同年五月一日ヨリ施行略稱「法」

二本位 一九〇五年五月一日以降金兌換本位制

一八六七年十一月二十七日ノ法律ニ於テハ兩本位制ヲ採用セシカ墨西哥合衆國議會ハ一九〇四年十二月九日ノ基本貨幣法第一條(a)及(b)ヲ以テ從來ノ銀ベソ貨ヲ依然無制限法貨タラ



シムルト共ニ新ニ純金〇七五瓦ヲ有スル金ベツヲ價值單位トシテ茲ニ金兌換木位制ヲ形成スルニ到リシナリ(第七段)

而シテ次掲ノ如ク金〇七五瓦ハ銀二四四三八瓦ト同價值ナルヲ以テ基法、(b)法、(c)金銀比價ハ金一對銀三二五八五〇六(此ハ倫敦ニ於ケル銀塊相場カニナリトス)

三單位 ベツ(Peso)墨弗ヲ以テ其略稱トス、一ベツ——一〇〇センチタヅオ(Centavo)法(1)

略語ベツヲ又ハPト書ス  
墨弗ノ價值ハ純金〇七五瓦トス法、(一)從テ我國ノ貨幣單位圓ト同價值ナリトス、唯木調ニ於テハ前叙ノ如ク我單位ノ實價ヲ〇七四九九七瓦ト定メタルヲ以テ(第八)其邦貨換算價格ハ一圓〇錢〇厘〇〇四、〇〇〇、〇一六、〇〇一トナルモノトス

而シテ舊單位タル銀墨弗ハ二四四三八瓦ヲ有シタルモノトス、基法、(一)法、(一)但レ此點ニ就キテハ違説アリ第六段ヲ參照スヘシ

四金貨 一〇及五墨弗貨ノ二種アリ法、(二)然レトモ舊法ニ於テハ二〇、一〇、五、二、一及一ベツ貨ノ五種ヲ鑄造セシモノトス、但シニ墨弗貨ノ鑄造ハ之ヲ停止ス、其造幣率ハ次ノ如シ

種目	幣法ノ規定	
	舊貨	新貨
一〇墨弗貨	一〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇,〇〇〇
五墨弗貨	五〇,〇〇〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇,〇〇〇
二〇墨弗金貨	三九,〇四八・一三四五九	三九,〇四八・一三四五九
一〇墨弗貨	一九,七四〇・七八九六	一九,七四〇・七八九六
五墨弗貨	九,八七〇・三九四八	九,八七〇・三九四八
二五墨弗貨	四,九三四・九三三七	四,九三四・九三三七
一墨弗貨	一九七四・〇七九〇	一九七四・〇七九〇
邦貨換算價格	一〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇,〇〇〇
品位	九九〇位	九九〇位
造幣金一冠ヨリ鑄造シ得ル箇數	一一〇,〇〇〇,〇〇〇	一一〇,〇〇〇,〇〇〇

種目	幣法ノ規定	
	舊貨	新貨
一箇ノ總量目	一三三,三三三・三三三	一三三,三三三・三三三
一箇ノ純量目	七五瓦	七五瓦
千箇ノ平均總量目	三三,七五瓦	三三,七五瓦
公差	一〇・〇〇五瓦	一〇・〇〇五瓦
通用最輕量目	三瓦	三瓦
直徑	二二・三ミ	二二・三ミ

貨幣ハ其表面ニ墨西哥合衆國(Estados Unidos Mexicanos)ト誌スヘシ、以下ノ各種貨幣亦之ニ同シ  
法、(八)尙金貨ノ鑄造ハ舊金貨ト引換ノ目的ノ爲メニ發行スルモノトス法、(一〇)ノ一  
五自由鑄造 一九〇四年四月十六日以降金銀貨ヲ通シテ之ヲ許サス(基法、(e)法、九、一八)但レ執行部ニ於テハ其定ムル命令ニ依リ金貨ノ自由鑄造ヲ許可スルコトヲ得尙貨幣法第十一條ハ  
一九〇五年五月一日ヨリ純金〇七五瓦金貨又ハ金塊共ヲ銀一墨弗ノ割合ヲ以テ購入スルヲ得ルモノトス換言セハ地金ニ對シテ銀貨各種ヲ發行スルモノトセルヲ以テ此限度ニ於テハ自由鑄造ヲ許可セルモノト認ムルヲ得然レトモ上記地金ノ對價トシテ新銀貨ヲ發行スヘキ義務ハ銀價カ騰貴シテ一墨弗貨ノ含有スル純銀ノ價格カ純金〇七五瓦一墨弗ヨリ高價ト

ナレル場合ニハ停止スレモノニシテ其他ノ場合ニ關シテハ造幣規則ノ定ムル所ニ依ル法、一  
 二  
 而シテ外國產金屬ハ本貨幣法公布以後ハ之ヲ輸入スルヲ得ス貨幣法附則第一條  
 又貿易貨幣タル墨弗ノ自由鑄造ハ依然之ヲ認ム、即大藏卿ハ輸出ニ供スル目的ヲ以テスル銀  
 貨ノ自由鑄造ヲ許可スルヲ得、但シ此場合ニハ其造幣率ハ一八九八年以前ノ規定ニ準シ且輸  
 納者ト鑄造料及輸出證明書提出方法ニ就キテ協定スル所アルヘシ「基法、二(c)」「法、一七」  
 舊法ニ於テハ金銀貨ノ自由鑄造ヲ認メタリ、其鑄造料ハ關係價格ノ二〇トス

六補助貨幣

(1) 銀貨 一墨弗貨五〇・二〇及一〇センチタヴオ貨ノ四種ヲ鑄造ス「基法、一(c)」「法、二」

種	目	一墨弗貨	五〇センチタヴオ貨	二〇センチタヴオ貨	一〇センチタヴオ貨
品	一箇ノ總量目	銅銀 九〇・二七位 <small>(註)</small> 九七・三三位	銅銀 二八〇〇位 二〇〇〇位	銅銀 八〇〇〇位 二〇〇〇位	銅銀 八〇〇〇位 二〇〇〇位
	一箇ノ純量目	「法、五」 二七・七三瓦 二四・四三八七九七一瓦	一〇〇・〇〇瓦 四%	五・〇〇〇瓦 四・〇〇〇瓦	二・五〇〇瓦 二・〇〇〇瓦
公差	量目	「法、四」 三%	〇・〇八瓦 一〇・〇瓦	〇・〇八瓦 七・五〇瓦	〇・〇八瓦 五・〇〇瓦
	直徑	「法、六」 三九純	三〇純	二二純	一八純

備考

\*註本文ニ記載セル一墨弗貨ノ品位ハ法條ノ字句ヲ引用セルモノトス而シテ其淵源ハ  
六五/七三位即九〇・二七位ニアルモノトス  
 而シテ銀貨ハ金貨又ハ地金ト引換ニ發行スル場合ノ外ハ現行銀貨ヲ鑄潰シテ鑄造スルノミ  
 トス「法、一三」  
 尙第三段ニ於テ略說セシカ如ク舊一墨弗銀貨ノ純量目ハ法條ノ明文ニ依リ之ヲ二四・四三八  
 八瓦トセシモ之ニ就キテハ違說アリ即其品位ヲ九〇・二七位トセルモノト九〇・二七七七位  
 (0.902+0.777 of 0.001)トスルモノトノ二アリ、從テ之ニ基キテ其總量目二七・〇七三瓦ヨリ純量  
 目ヲ算出スルトキハ二四・四三八八〇瓦又ハ二四・四四〇八八瓦トナル又基法、一(a)ハ之ヲ純銀  
 二四・四三八八瓦及一〇厘トセリ、參考ノ爲メニ掲出ス  
 (2) 白銅貨 五センチタヴオ貨「法、二」一種トス、純白銅ヨリ鑄造ス「法、三」其純量目ハ五瓦「法、五」ニシ  
 テ量目公差ハ一箇ニテ〇・二五瓦「法、六」又直徑ハ二〇「法、七」トス  
 (3) 青銅貨 二及一センチタヴオ貨「法、二」造幣材料ハ九五位ノ銅、四位ノ錫、一位ノ亞鉛ヨリ成ル「法、三」

種	類	品	位	法	總量目	一箇ノ量目公差	直徑
二センチタヴオ貨	九位	五位	銅	「法、三」	六瓦	〇・三〇瓦	二五純
一センチタヴオ貨	一位	四位	錫	「法、三」	三瓦	〇・一五瓦	二〇純

上記ハ一九〇五年以降ノ幣制ナレトモ前法ニ於テハ銀貨ニハ一墨弗貨ノ外ニ五〇、二〇、一〇及五セントヴ貨アリ左ニ其造幣率ヲ示スヘシ

種目	一墨弗貨	五〇セントヴ貨	二〇セントヴ貨	一〇セントヴ貨	五セントヴ貨
品位	九〇・二七位	九〇・二七位	九〇・二七位	九〇・二七位	九〇・二七位
一箇ノ總量目	二七・〇七三〇瓦	一三・五三六〇瓦	五・四一四六瓦	二・七〇七三瓦	一・三五三六瓦
一箇ノ純量目	二四・四四〇八瓦	一二・二二〇四瓦	四・八八八一瓦	二・四四四〇瓦	一・二二二〇瓦
公差	三%	三%	三%	三%	三%
量目一箇ニテ	〇・一〇〇瓦	〇・〇七五瓦	〇・〇五〇瓦	〇・〇五〇瓦	〇・〇二五瓦

尙墨弗銀貨(Mexican Dollar)ニ就テハ後敘第十段ヲ参照スヘシ

七法貨 金貨及一墨弗銀貨ハ無制限法貨トス而シテ其他ノ銀貨ハ二〇墨弗迄白銅貨及青銅貨

ハ一墨弗迄法貨トシテ通用ス「基法、一(a)」「法、二一」

但シ舊法ニヨレハ一切ノ銀貨ハ無制限法貨ニシテ新法モ現下流通セル舊銀貨ニハ依然其效

力ヲ認メタリ外國貨幣ハ法貨タラス但シ法律ヲ以テ特ニ規定スルトキハ此限ニ在ラス「基法、二(c)」「法、二二」

舊金貨ハ一九〇六年七月一日以降通用力ヲ有セサルモノトス「法、一〇ノ一」而シテ其新貨ニ對スル換算率ハ次ノ如シ「貨幣法附則第二條」

- 舊金貨二〇墨弗 三九・四八墨弗
- 舊金貨一〇墨弗 一九・七四墨弗
- 舊金貨五墨弗 九・八七墨弗
- 舊金貨二・五墨弗 四・九三墨弗
- 舊金貨一墨弗 一・九七墨弗

國庫ハ金貨及一墨弗銀貨カ流通ニヨリ表彰ノ磨減シ又ハ量目カ量目公差ノ規定ニ比シ金貨ハ四倍以上銀貨ハ十倍以上磨損シタルトキ竝ニ補助銀貨、白銅貨及青銅貨ノ表彰カ磨減シタルトキハ之ヲ回收スヘク「法、二四」且磨損貨幣改鑄ヨリ生スル損失ハ國庫ノ負擔トス「法、一五」補助貨ハ大藏卿所定ノ取扱所ニ於テ一墨弗銀貨ト交換スルヲ得此反對ノ場合亦同シ但シ交換額ハ何レノ場合ニ於テモ一〇〇墨弗又ハ其倍數ナルコトヲ要ス「基法、一(d)」「法、二六」

尙貨幣調整基金トシテ別箇ノ勘定ニ於テ次ノモノヲ國庫ニ保有シ貨幣ノ流通高ヲ調整シ以テ外國爲替相場ノ變動ヲ少カラシムルノ目的ニ供スヘシ、本基金ハ次ノモノヨリ成立スヘシ「基法、二(II)」「法、二七、二八」

- (1) 最初ノ繰入額トシテ國庫現金在高ヨリ本基金ニ繰入レタル一千万墨弗但シ此ハ大藏卿ノ意見ニ依リ一千五百万墨弗迄増加スルコトヲ得
- (2) 貨幣改鑄ニ依ル國庫ノ損失補填金トシテ豫算ニ計上セル分
- (3) 造幣材料購入代金ト鑄造シタル貨幣名價トノ差額及一墨弗銀貨ヲ補助貨幣ニ改鑄スルニ

貨幣制度 第十 上記以外ノ北亞米利加諸國(甲墨西哥)

依リテ生スル差額

(4) 外國爲替業務ヨリ生スル利益金

(5) 輸出用墨弗貨鑄造ニヨル純收入

(6) 本基金運用上本基金ニ歸屬スヘキ諸利益金

本基金ノ一部タル在外資金ハ第一級銀行ニ預入スヘク又國內ニ於テ保有スルモノハ硬貨鑄造材料タル金銀塊ヲ以テ墨西哥國立銀行又ハ第一級銀行ニ於テ信託預金ト爲スヘシ、本基金ニ在ル銀貨ハ金トノ引換、他種銀貨トノ引換、外國金貨拂手形買入又ハ輸出ニ依ル場合ノ外支出スルコトナカルヘシ〔法三〇〕

尙本基金ノ管理及ヒ貨幣ノ鑄造發行竝ニ交換事務管理ノ爲メ命令ヲ以テ交換及貨幣委員會 (Comission de Combiros y Moneda) ヲ設置ス〔法三二〕其主タル目的ハ本基金ノ運用ニヨリテ貨幣流通高ヲ調節シ及爲替相場ヲシテ變動ナカラシムルニアルモノトス而シテ其實蹟ハ極メテ良好ニシテ爲替相場ハ略平價ニ在ルモノトス但シ此點ニ就キテハ素ヨリ多額ノ外國資本ノ同國ニ放資セラレタルニモ由ルハ當然ナリトス殊ニ一九〇八年初ニ於テハ該委員會カバリ及和蘭銀行等ノ資本團ト契約シ之ニ二千五百万法ノ國立墨西哥銀行指圖一覽拂手形ヲ振出サシメタルカ如キ其著名ナル例トス

八、補助貨幣鑄造制限額 規定ナシ

九、貿易貨幣 墨弗銀貨ニ付テハ次段ヲ參照スヘシ

一〇、舊單位 茲ニハ一九〇五年五月一日新貨幣法實施以前ノ單位貨幣タリシ一墨弗銀貨 (Mexican Dollar) ニ就テ略說スヘシ

墨弗銀貨ハ數世紀以來亞米利加、亞細亞及阿弗利加ニ於テ流通シ其流通範圍ハ極メテ廣汎ニシテ印度留比銀貨ニ亞クノ地位ヲ占ムルモノトス、墨弗銀貨ノ量目ハ其發行スル造幣局ニ依リ異同アルモノニシテ法定量目ハ次ノ如シ

品 位	六五 <sup>7</sup> / <sub>16</sub> 位即九〇・二七位
總量目	四一七・八〇グレイン(二七・〇七三六一瓦)
純量目	三七七・一四グレイン(二四・四三八八三瓦)

然レトモ其平均量目ハ之ト差違アルモノニシテ	
品 位	八九八位
總量目	四一六・五グレイン(二六・九八九三七瓦)
純量目	三七四・〇グレイン(二四・三二五三五瓦)

尙同國カ幣制改革上利益ヲ得タルコトアリ他ナシ幣制改革當時ニ於ケル倫敦銀塊相場ノ上昇ナリトス、銀塊相場ハ一九〇二年十一月ニハ最低二一<sup>1</sup>/<sub>16</sub>片ニ下落セシカ一九〇五年三月幣制變更決定ノ時ニハ二五<sup>1</sup>/<sub>16</sub>片ニシテ片内外ニ在リ、次テ同十月ニハ二八<sup>1</sup>/<sub>16</sub>片トナリタリ此レ前敘ノ如ク現時同國ノ金銀比價ナリ

而シテ同國ハ幣制變更當時一億墨弗ノ銀貨ヲ賣却シテ同額ノ金貨ヲ鑄造スルヲ得シカ其後